茨木市のまちづくりに関するアンケート 報告書

平成 25 年(2013 年) 3 月 茨木市

《目次》

I.	は	じめに
		調査の目的
II.	集	計結果の概要
	1.	回答者の属性
	2.	今後の定住意向について
	3.	茨木市の現状への満足度と今後の充実への期待度について1
	4.	市政における役割分担と市民参画について 4-
	5.	市政に関する情報の入手方法について5
	6.	地域活動への参加状況について 58
	7.	主要な政策分野ごとの取り組みについて6
	8.	茨木市のプロジェクトについて9
	9.	環境に関する取り組みについて9
[参考	行資料】アンケート調査票

I. はじめに

1. 調査の目的

「第4次茨木市総合計画」が平成27年度に目標年次を迎えるにあたり、これに続く「(仮称)第5次茨木市総合計画」の策定に向け、市民が日頃まちづくりについて考えていることや、まちづくりに対する率直な意見を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

茨木市に居住する 20 歳以上の市民 5,000 人。

(2) 調査時期

平成 25 年 1 月 29 日 (火) ~平成 25 年 2 月 12 日 (火)。

(3) 調査方法

調査対象を無作為に抽出し、郵送により調査票を配布・回収。

(4) 回収率等

発送数	5,000票
回収数	2,429 票
有効回収数	2,423 票
有効回収率	48.5%

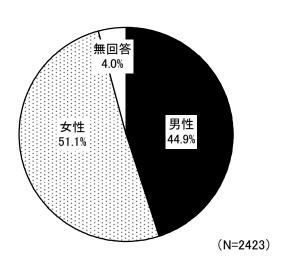
Ⅱ. 集計結果の概要

1. 回答者の属性

(1) 性別·年齢 [問 1]

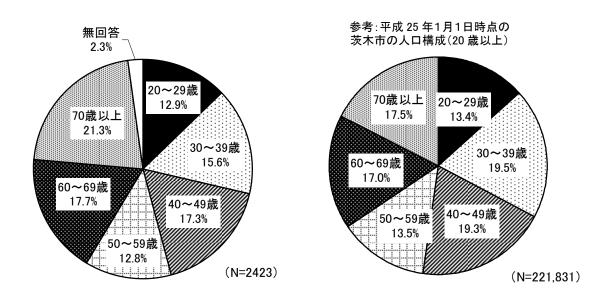
回答者の性別は、「男性」44.9%、「女性」51.1%で「女性」のほうがやや多くなっている。

図表Ⅱ-1 性別



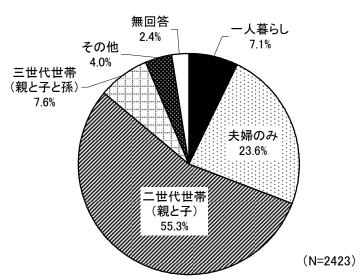
回答者の年齢は、「70歳以上」が21.3%で最も多く、ついで「60~69歳」が17.7%、「40~49歳」が17.3%となっている。

図表Ⅱ-2 年齢



(2) 家族構成 [問 2]

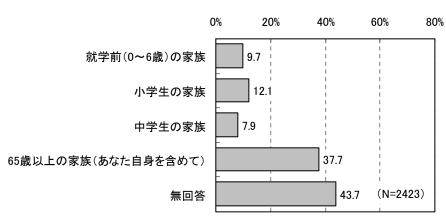
家族構成は「二世代世帯 (親と子)」が 55.3%で最も多く、ついで「夫婦のみ」が 23.6%、「三世代世帯 (親と子と孫)」が 7.6%となっている。



図表Ⅱ-3 家族構成

(3) 同居する子ども・高齢者 [問3]

同居する子ども・高齢者は、無回答以外では「65 歳以上の家族」が 37.7%で最も多い。また、就学前、小学生、中学生の子どもがいる回答者は、それぞれ概ね1割前後である。



図表II-4 同居する子ども・高齢者

(4) 住宅形態 [問 4]

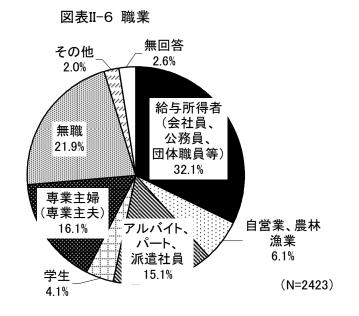
住宅形態は「持ち家 (一戸建て)」が53.8%で最も多く、ついで「持ち家 (集合住宅)」が23.4%、「賃貸 (集合住宅)」が16.0%となっており、持ち家の回答者が約8割である。

その他 無回答 0.7% 2.4% 社宅·寮 0.8% 賃貸 (集合住宅) 16.0% 賃貸 (一戸建て) 持ち家 2.9% (一戸建て) 持ち家 53.8% (集合住宅) 23.4% (N=2423)

図表Ⅱ-5 住宅形態

(5) 職業 [問 5]

職業は「給与所得者(会社員、公務員、団体職員等)」が 32.1%で最も多く、ついで「無職」が 21.9%、「専業主婦(専業主夫)」が 16.1%となっている。



4

(6) 居住する地区と小学校区 [問 6]

居住する小学校区は「大池小学校」が 6.4%で最も多く、ついで「水尾小学校」が 5.4%、「中条小学校」が 5.2%となっている。

図表II-7 居住する地区と小学校区

地区	小学校区	回答数	構成比
山地部	清溪小学校	13	0.5
	忍頂寺小学校	16	0.7
	小計	29	1.2
丘陵部	安威小学校	39	1.6
	福井小学校	58	2.4
	豊川小学校	37	1.5
	山手台小学校	67	2.8
	彩都西小学校	38	1.6
	小計	239	9.9
周辺部1	郡山小学校	36	1.5
	太田小学校	101	4.2
	郡小学校	54	2.2
	沢池小学校	89	3.7
	西小学校	50	2.1
	西河原小学校	42	1.7
	耳原小学校	70	2.9
	小計	442	18.2
中心部	茨木小学校	118	4.9
	春日小学校	108	4.5
	春日丘小学校	71	2.9
	三島小学校	86	3.5
	中条小学校	126	5.2
	玉櫛小学校	54	2.2
	大池小学校	155	6.4
	中津小学校	89	3.7
	水尾小学校	130	5.4
	庄栄小学校	79	3.3
	畑田小学校	40	1.7
	穂積小学校	83	3.4
	小計	1,139	47.0
周辺部2	玉島小学校	51	2.1
	東小学校	81	3.3
	天王小学校	120	5.0
	葦原小学校	59	2.4
	白川小学校	89	3.7
	東奈良小学校	90	3.7
	小計	490	20.2
わからなし	١	14	0.6
無回答		70	2.9
	合計	2,423	100.0

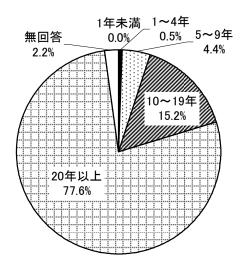


2. 今後の定住意向について

(1) 居住年数 [問7]

居住年数は「20年以上」が77.6%で最も多く、ついで「 $10\sim19$ 年」が15.2%、「 $5\sim9$ 年」が4.4%となっており、長期にわたって居住している人が多いことがわかる。

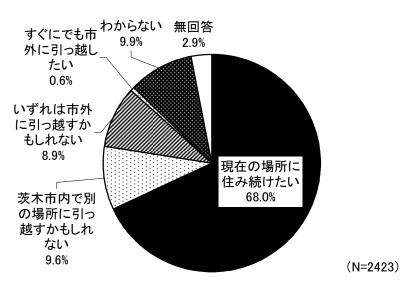
図表II-8 居住年数



(N=2423)

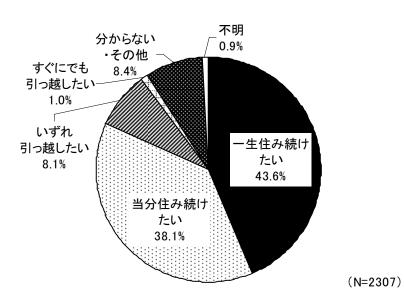
(2) 定住意向 [問8]

定住意向については、「わからない」を除くと、「現在の場所に住み続けたい」が 68.0%、ついで「茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない」が 9.6%となっており、 回答者の約8割は、茨木市内に住み続けたいと考えている。



図表Ⅱ-9 定住意向

平成15年3月に実施した前回調査(以下「前回調査」とする)では、「一生住み続けたい」が43.6%、「当分住み続けたい」が38.1%であり、今回と同様、約8割が茨木市内に住み続けたいとする結果であった。



図表Ⅱ-10 [参考:前回調査結果]定住意向

(注)前回調査で類似の内容を尋ねている設問については、前回調査結果を参考として掲載しているが、設問の内容や選択肢が全く同じではないため、単純な比較ができない点について、注意が必要である。(以下同様)

年齢別にみると、60歳代以上では「現在の場所に住み続けたい」の割合が市全体より も高いが、20歳代と30歳代では低くなっている。また、20歳代では「いずれは市外に 引っ越すかもしれない」の割合が全体よりも高くなっている。

図表II-11 定住意向(クロス集計)

		調査数	たい現在の場所に住み続け	引っ越すかもしれない茨木市内で別の場所に	すかもしれないいずれは市外に引っ越	越したいすぐにでも市外に引っ	わからない	無回答
市金	全体	2423	1648	233	216	14	241	71
	HI UL	100.0	68. 0	9.6	8.9	0.6	9. 9	2. 9
性	男性	1088	759	100	122	6	93	-
	女性	100. 0 1237	69. 8 850	9. 2 129	11. 2 92	0.6	8. 5 145	0. 7 13
73.3	女压	100. 0	68. 7	10. 4	7.4	0.6	11. 7	1. 1
	20~29歳	312	139	40	72	1	56	4
		100.0	44. 6	12.8	23. 1	0. 3	17. 9	1. 3
	30~39歳	379	212	67	55	5	40	0
		100.0	55. 9	17.7	14.5	1.3	10.6	0.0
	40~49歳	420	260	54	45	2	54	5
年		100.0	61. 9	12. 9	10.7	0.5	12. 9	1.2
齢	50~59歳	311	217	36	23	1	34	0
		100.0	69.8	11.6	7.4	0.3	10.9	0.0
	60~69歳	430	369	15	13	3	29	1
	= - IB 0 / I	100.0	85. 8	3. 5	3.0	0.7	6. 7	0. 2
	70歳以上	516	448	19	8	2	27	12
\vdash	10年土港	100.0	86. 8	3. 7	1.6	0.4	5. 2	2. 3
F	10年未満	120	57	13	24 20. 0	1	21	4
居住	10~19年	100.0	47. 5	10.8	20. 0	0.8	17. 5 42	3. 3
年	10~19年	369 100. 0	218 59. 1	51 13. 8	14. 6	4 1. 1	11. 4	0.0
数	20年以上	1881	1370	169	137	9	178	18
~	2 0 十 <u>以</u> 工	100. 0	72.8	9. 0	7.3	0. 5	9. 5	1. 0
		100.0	14.0	<i>9.</i> 0	۱. ا	υ. υ	<i>9.</i> 0	1.0

(注)上段:件数、下段:%

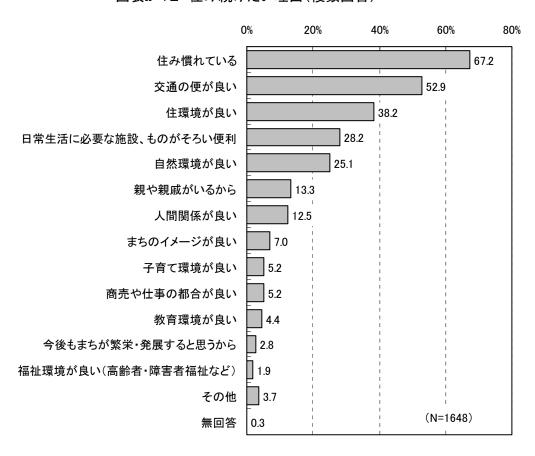
黒地の白文字は市全体の割合を 10 ポイント以上上回るもの、グレーの網掛けは市全体の割合を 10 ポイント以上下回るものである。(以下の図表も同様)

居住地区別にみると、回答者数は少ないものの、山地部で「茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない」の割合が市全体よりも高くなっている。

		調査数	み続けたい 現在の場所に住	かもしれない 場所に引っ越す	い越れ すは か市	に引っ越したいすぐにでも市外	わからない	無回答
市金	全体	2423	1648	233	216	14	241	71
		100.0	68.0	9.6	8.9	0.6	9. 9	2.9
	山地部	29	22	6	0	0	1	0
		100.0	75. 9	20. 7	0.0	0.0	3. 4	0.0
	丘陵部	239	158	19	35	1	23	3
		100.0	66. 1	7.9	14.6	0.4	9. 6	1.3
居	周辺部 1	442	309	42	31	3	52	5
住		100.0	69.9	9.5	7.0	0.7	11.8	1. 1
地	中心部	1139	810	128	90	7	98	6
区		100.0	71.1	11.2	7.9	0.6	8.6	0.5
	周辺部 2	490	334	36	56	1	57	6
		100.0	68.2	7.3	11.4	0.2	11.6	1.2
	わからない	14	4	2	3	1	3	1
		100.0	28. 6	14. 3	21. 4	7. 1	21.4	7. 1

(3) 住み続けたい理由 [問9]

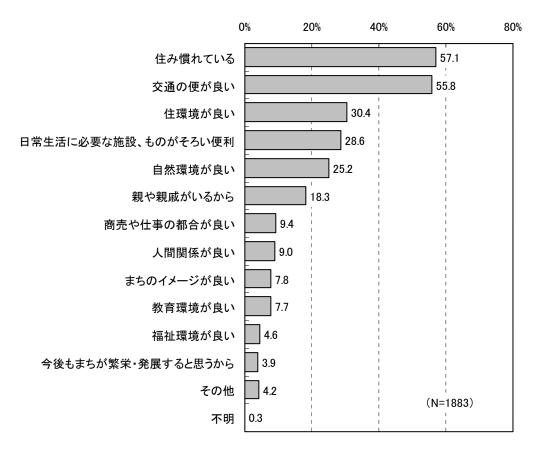
問8で「現在の場所に住み続けたい」と回答した人に、茨木市内に住み続けたい理由を訪ねたところ、「住み慣れている」が67.2%で最も多く、ついで「交通の便が良い」が52.9%、「住環境が良い」が38.2%となっている。



図表Ⅱ-12 住み続けたい理由(複数回答)

前回調査でも、「住み慣れている」(57.1%)と「交通の便が良い」(55.8%)が上位となっているが、今回調査とは異なり、割合がほぼ同じになっている。

図表II-13 [参考:前回調査結果]住み続けたい理由(複数回答)



年齢別にみると、20歳代で「親や親戚がいるから」、30歳代で「親や親戚がいるから」 に加えて「子育て環境が良い」の割合が高くなっている。

また、居住地区別では、山地部、丘陵部、周辺部1で「自然環境が良い」の割合が、中心部で「交通の便が良い」と「日常生活に必要な施設、ものがそろい便利」の割合が高くなっている。

図表II-14 住み続けたい理由(クロス集計)

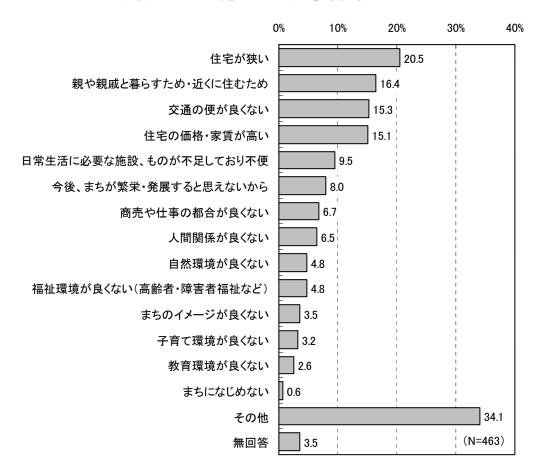
		調査数	自然環境が良い	住環境が良い	交通の便が良い	子育て環境が良い	教育環境が良い	者・障害者福祉など)福祉環境が良い(高齢	商売や仕事の都合が良い	ものがそろい便利日常生活に必要な施設、	住み慣れている	まちのイメージが良い	親や親戚がいるから	人間関係が良い	すると思うから 今後もまちが繁栄・発展	その他	無回答
市	全体	1648	414	630	871	86	73	32	85	464	1107	115	220	206	46	61	5
-	男性	100. 0 759	25. 1 190	38. 2 292	52. 9 416	5. 2 27	4. 4 32	1.9	5. 2 44	28. 2 191	67. 2 513	7. 0 66	13. 3 86	12. 5 78	2. 8	3. 7	0.3
性	为1生	100.0	25. 0	38. 5	54.8	3. 6	32 4. 2	0.9	5.8	25. 2	67.6	8. 7	11. 3	10. 3	3. 4	4.6	0. 1
	女性	850	212	322	438	5.0	39	24	40	261	569	48	131	126	18	25	3
/33	ДЕ	100.0	24. 9	37. 9	51. 5	6.8	4.6	2.8	4. 7	30. 7	66. 9	5. 6	15. 4	14. 8	2. 1	2. 9	0.4
	20~29歳	139	31	48	72	7	6	3	9	43	94	15	37	9	6	4	0
		100.0	22.3	34. 5	51.8	5.0	4.3	2.2	6.5	30.9	67.6	10.8	26.6	6.5	4. 3	2. 9	0.0
	30~39歳	212	25	94	114	37	16	3	16	59	119	12	56	22	7	6	1
		100.0	11.8	44.3	53.8	17. 5	7.5	1.4	7.5	27.8	56. 1	5.7	26. 4	10.4	3. 3	2.8	0.5
	40~49歳	260	48	105	159	23	19	3	23	88	143	24	57	19	5	8	0
年齢	= 0 = 0 IB	100.0	18.5	40.4	61. 2	8.8	7.3	1. 2	8.8	33.8	55.0	9. 2	21. 9	7.3	1. 9	3. 1	0.0
田市	50~59歳	217	49	86	111	6	14	5	16	55	159	19	26	30	7	13	0
	60~69歳	100. 0 369	22. 6 107	39. 6 128	51. 2 192	2.8	6. 5 9	2. 3	7. 4	25. 3 111	73. 3 269	8. 8 22	12. 0 28	13.8	3. 2	6.0	0.0
	ひひ~りり成	100. 0	29. 0	34. 7	52. 0	2. 4	2. 4	0.8	3. 5	30. 1	72. 9	6. 0	28 7. 6	48 13. 0	-	3.0	0.3
	70歳以上	448	153	167	222	3	2.4	15	ა. ა 8	108	322	23	15	77	13	19	3
	1 0 // / / _	100.0	34. 2	37. 3	49. 6	0.7	2. 0	3. 3	1.8	24. 1	71. 9	5. 1	3.3	17. 2	2. 9	4. 2	0. 7
	10年未満	57	19	31	30	14	4	1	2	11	19	9	10	5	3	2	0.1
居	1 -1-11-4	100.0	33. 3	54. 4	52. 6	24. 6	7. 0	1. 8	3. 5	19. 3	33. 3	15. 8	17. 5	8.8	5. 3	3. 5	0.0
住	10~19年	218	29	104	142	31	23	5	20	81	94	18	31	20	5	7	0
年		100.0	13. 3	47.7	65. 1	14. 2	10.6	2.3	9. 2	37. 2	43. 1	8.3	14. 2	9. 2	2. 3		0.0
数	20年以上	1370	364	495	699	41	46	26	63	372	991	88	178	181	38	52	5
		100.0	26.6	36.1	51.0	3.0	3.4	1.9	4.6	27. 2	72.3	6.4	13.0	13.2	2.8	3.8	0.4

		調査数	自然環境が良い	住環境が良い	交通の便が良い	子育て環境が良い	教育環境が良い	者・障害者福祉など)福祉環境が良い(高齢	商売や仕事の都合が良い	ものがそろい便利日常生活に必要な施設、	住み慣れている	まちのイメー ジが良い	親や親戚がいるから	人間関係が良い	すると思うから 今後もまちが繁栄・発展	その他	無回答
市	全体	1648 100. 0	414 25. 1	630 38. 2	871 52. 9	86 5. 2	73 4. 4	32 1. 9	85 5. 2	464 28. 2	1107 67. 2	115 7. 0	220 13. 3	206 12. 5	46 2. 8	61 3. 7	5 0. 3
-	山地部	22	15	2	02.9	2. 2	0	0	0. 4	20. 2	17	0	3	12. 5	2. 0	3. 1	0. 3
	тамери	100.0	68. 2	9. 1	0.0	9. 1	0.0	0.0	4. 5	0. 0	77. 3	0. 0	13. 6	22. 7	0. 0	18. 2	0. 0
	丘陵部	158	102	64	13	10	4	4	3	11	108	13	27	34	3	10	2
		100.0	64.6	40.5	8. 2	6.3	2.5	2.5	1.9	7.0	68.4	8.2	17.1	21.5	1.9	6.3	1.3
居		309	118	118	86	15	15	7	14	41	222	23	50	44	10	12	1
住		100.0	38. 2	38.2	27.8	4. 9	4. 9	2. 3	4. 5	13. 3	71.8	7.4	16.2	14. 2	3. 2	3. 9	0.3
地		810	105	323	579	44	44	16	51	318	514	55	92	77	23	23	2
区		100.0	13.0	39.9	71.5	5. 4	5. 4	2.0	6.3	39. 3	63. 5	6.8	11.4	9. 5	2.8	2.8	0.2
	周辺部 2	334	68	122	188	15	10	5	16	92	236	24	47	42	9	11	0
		100.0	20.4	36. 5	56.3	4. 5	3.0	1. 5	4.8	27.5	70.7	7. 2	14. 1	12.6	2.7	3.3	0.0
	わからない	4	2	1	3	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0
		100.0	50.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(4) 引っ越したい理由 [問 10]

問8で「茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない」、あるいは「いずれは市外に引っ越すかもしれない」、「すぐにでも市外に引っ越したい」と回答した人に、引っ越したい理由を訪ねたところ、「その他」を除くと、「住宅が狭い」が20.5%で最も多く、ついで「親や親戚と暮らすため・近くに住むため」が16.4%、「交通の便が良くない」が15.3%となっている。

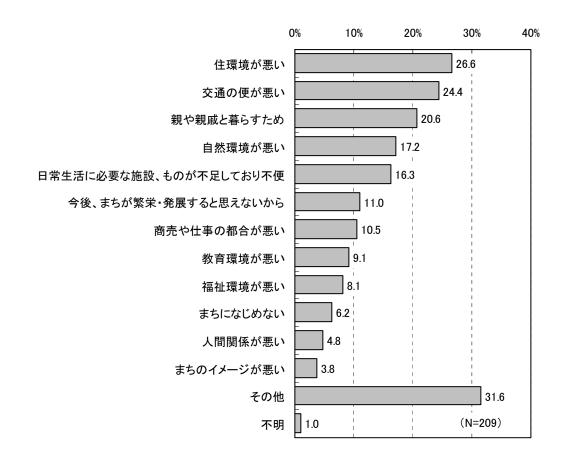
なお、「その他」の具体的な内容については、結婚、就職、転勤に伴う転居の可能性に 触れた回答が多い。



図表II-15 引っ越したい理由(複数回答)

前回調査では、上位の項目は概ね同様であるが、「日常生活に必要な施設、ものが不足 しており不便」(16.3%)の割合がやや高くなっている。

図表II-16 [参考:前回調査結果]引っ越したい理由(複数回答)



年齢別にみると、30歳代で「住宅が狭い」の割合が高くなっている。 居住地区別にみると、山地部、丘陵部、周辺部1で「交通の便が良くない」の割合が、 中心部で「住宅が狭い」、「住宅の価格・家賃が高い」の割合が高くなっている。

図表II-17 引っ越したい理由(クロス集計)

		調査数	自然環境が良くない	住宅が狭い	住宅の価格・家賃が高い	交通の便が良くない	子育て環境が良くない	教育環境が良くない	齢者・障害者福祉など)福祉環境が良くない(高	ない商売や仕事の都合が良く	ものが不足しており不便日常生活に必要な施設、	まちになじめない	いまちのイメージが良くな	近くに住むため親や親戚と暮らすため・	人間関係が良くない	すると思えないから今後、まちが繁栄・発展	その他	無回答
市	全体	463 100. 0	22 4. 8	95 20, 5	70 15. 1	71 15. 3	15 3. 2	12 2. 6	22 4. 8	31 6. 7	44 9. 5	3 0, 6	16 3, 5	76 16. 4	30 6. 5	37 8. 0	158 34. 1	16 3. 5
	男性	228	4. 0	47	36	35	3. <u>2</u>	2. 0	12	20	9. 3	3	3. 5 8	38	11	15	74	3. 5 6
性	77112	100.0	6.6	20.6	15.8	15. 4	2.6	3. 5	5. 3	8.8	9.6	1. 3	3. 5	16.7	4.8	6.6	32. 5	2.6
別	女性	229	6	47	34	35	9	4	9	11	22	0	7	36	19	21	82	10
		100.0	2.6	20.5	14.8	15.3	3. 9	1.7	3. 9	4.8	9.6	0.0	3. 1	15.7	8.3	9.2	35.8	4.4
	20~29歳	113	4	14	8	15	4	2	2	11	10	0	3	10	5	5	56	7
	30~39歳	100. 0 127	3.5	12. 4 39	7. 1	13. 3 19	3. 5	1.8	1.8	9. 7	8.8	0.0	2. 7	8. 8 19	4.4	4.4	49. 6	6. 2
	30.039成	100.0	3. 1	30.7	22. 0	15. 0	3. 9	2. 4	0. 0	7. 9	4. 7	0.0	2. 4	15. 0	4.7	8. 7	32. 3	2. 4
	40~49歳	101	6	24	13	12	6	6	5	7	8	1	4	23	6	7	30	4
年		100.0	5. 9	23.8	12.9	11. 9	5. 9	5.9	5.0	6.9	7.9	1.0	4.0	22.8	5.9	6.9	29.7	4.0
齢	50~59歳	60	2	11	12	14	0	1	2	0	10	0	1	13	5	4	19	0
		100.0	3. 3	18.3	20.0	23. 3	0.0	1.7	3.3	0.0	16.7	0.0	1.7	21.7	8.3	6.7	31.7	0.0
	60~69歳	31	1	5	4	3	0	0	3	2	3	1	3	8	5	5	4	1
	= a (B.O.) (100.0	3. 2	16. 1	12. 9	9. 7	0.0	0.0	9. 7	6.5	9.7	3. 2	9. 7	25. 8	16. 1	16. 1	12. 9	3. 2
	70歳以上	29	5 1 7 0	6.9	17.0	8 9 7 C	0	0	9	1	7	1	2	3	3	5 17. 2	6	1
-	10年未満	100. 0 38	1 7. 2	6.9	17. 2 4	27. 6	0.0	0.0	31.0	3. 4	24. 1	3.4	6.9	10.3	10.3	3	20. 7	3.4
居	10 半木個	100.0	5. 3	15. 8	10. 5	26. 3	0. 0	0. 0	2. 6	7. 9	10. 5	0.0	2. 6	21. 1	0.0	7. 9	34. 2	0.0
住	10~19年	100.0	5. 5	32	21	20. 0 7	7	5	2.0	1. 9	10.5	1	2.0	21. 1	8	4	36	2
年		100.0	4. 6	29. 4	19. 3	6. 4	6. 4	4. 6	1.8	7. 3	5. 5	0. 9	2.8	19. 3	7. 3	3. 7	33. 0	1.8
数	20年以上	315	15	57	45	54	8	7	19	20	34	2	12	47	22	30	108	14
		100.0	4.8	18. 1	14.3	17. 1	2. 5	2. 2	6.0	6.3	10.8	0.6	3.8	14.9	7.0	9.5	34. 3	4.4

		調査数	自然環境が良くない	住宅が狭い	住宅の価格・家賃が高い	交通の便が良くない	子育て環境が良くない	教育環境が良くない	齢者・障害者福祉など)福祉環境が良くない(高	ない 商売や仕事の都合が良く	ものが不足しており不便日常生活に必要な施設、	まちになじめない	い まちのイメージが良くな	近くに住むため親や親戚と暮らすため・	人間関係が良くない	すると思えないから今後、まちが繁栄・発展	その他	無回答
市	全体	463	22	95	70	71	15	12	22	31	44	3	16	76	30	37	158	16
		100.0	4.8	20.5	15. 1	15.3	3.2	2.6	4.8	6.7	9.5	0.6	3. 5	16.4	6.5	8.0	34. 1	3.5
	山地部	6	0	0	0	4	0	0	1	0	4	0	0	2	2	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	66. 7	0.0	0.0	16. 7	0.0	66. 7	0.0	0.0	33. 3	33. 3	0.0	16. 7	0
	丘陵部	55	3	2	2	31	3	3	7	3	10	0	2	4	1	14	18	1
		100.0	5. 5	3.6	3. 6	56.4	5. 5	5. 5	12.7	5. 5	18. 2	0.0	3. 6	7.3	1.8	25. 5	32. 7	1.818
居	周辺部 1	76	4	12	6	18	3	2	1	6	9	2	3	16	3	4	25	2
住		100.0	5.3	15.8	7. 9	23. 7	3. 9	2. 6	1.3	7. 9	11.8	2.6	3. 9	21.1	3. 9	5.3	32. 9	2.632
地	中心部	225	13	66	48	11	7	5	12	16	10	1	7	34	19	11	73	8
区		100.0	5.8	29.3	21.3	4.9	3. 1	2. 2	5. 3	7. 1	4.4	0.4	3. 1	15. 1	8.4	4.9	32. 4	3. 556
	周辺部 2	93	2	15	13	6	2	2	1	6	10	0	4	20	5	6	36	4
		100.0	2.2	16. 1	14.0	6. 5	2.2	2. 2	1. 1	6.5	10.8	0.0	4. 3	21.5	5.4	6.5	38. 7	4.301
	わからない	6	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4	0
		100.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33. 3	66. 7	0

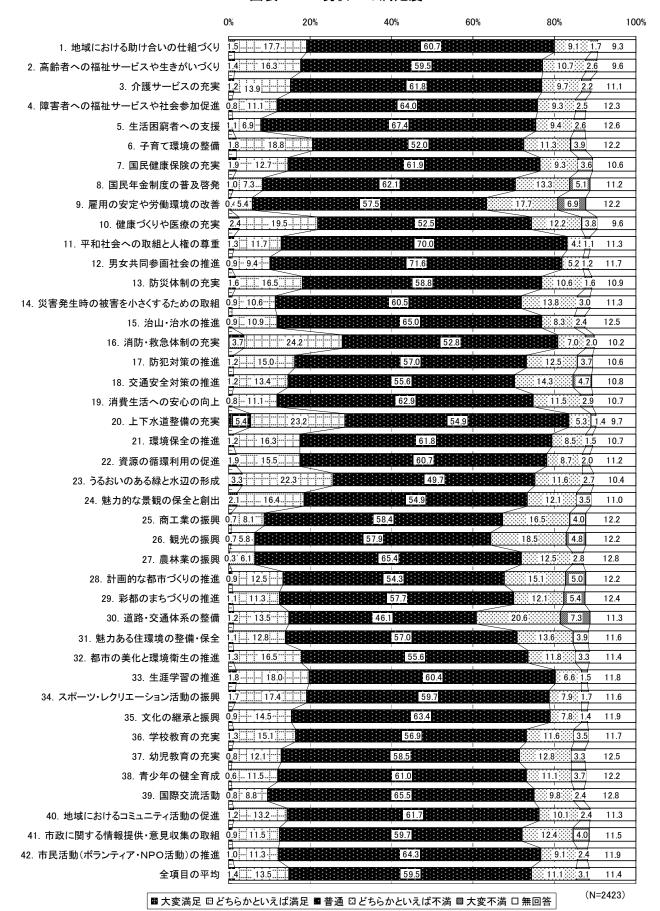
3. 茨木市の現状への満足度と今後の充実への期待度について

(1) 現状への満足度 [問 11-1]

「満足」(「大変満足」「どちらかといえば満足」の合計)の割合が最も高いのは「20. 上下水道整備の充実」で、ついで「16. 消防・救急体制の充実」、「23. うるおいのある 緑と水辺の形成」となっている。

一方、「不満」(「大変不満」「どちらかといえば不満」の合計)の割合が最も高いのは「30. 道路・交通体系の整備」で、ついで「9. 雇用の安定や労働環境の改善」、「26. 観光の振興」となっている。

図表II-18 現状への満足度



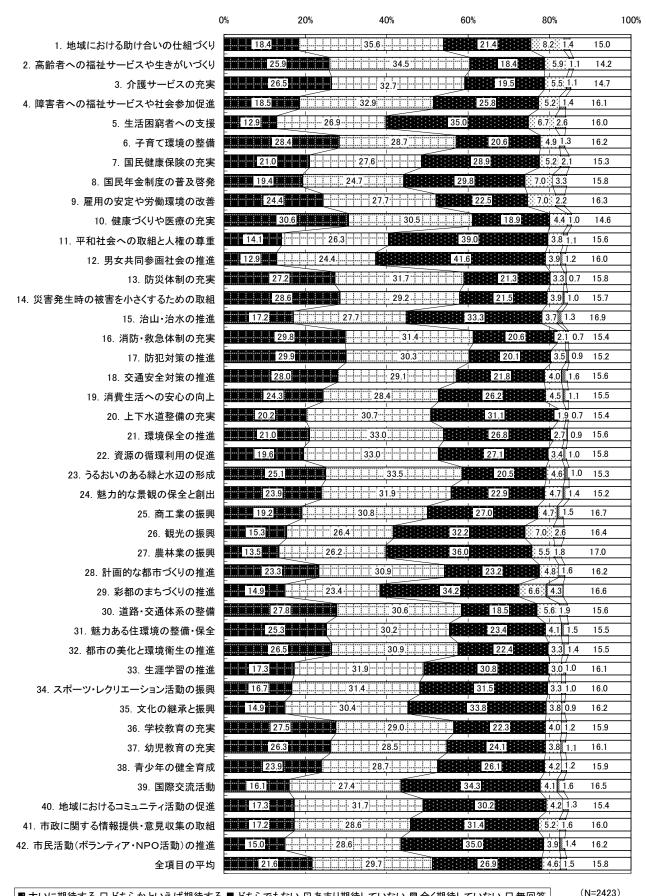
16

(2) 今後の充実への期待度 [問 11-2]

「期待する」(「大いに期待する」「どちらかといえば期待する」の合計)の割合が最も高いのは「16. 消防・救急体制の充実」で、ついで「10. 健康づくりや医療の充実」、「2. 高齢者への福祉サービスや生きがいづくり」となっている。

一方、「期待していない」(「あまり期待していない」と「全く期待していない」の合計)の割合が最も高いのは「29. 彩都のまちづくりの推進」で、ついで「8. 国民年金制度の普及啓発」、「1. 地域における助け合いの仕組づくり」、「26. 観光の振興」となっている。

図表II-19 今後の充実への期待度



|■大いに期待する 口どちらかといえば期待する ■ どちらでもない 🛭 あまり期待していない 🗈 全く期待していない 口無回答

(3) 現状への満足度と今後の充実への期待度のスコア分析

ここでは、現状への満足度と今後の充実への期待度について、それぞれを点数化して 項目ごとの回答の平均スコアを算出し、分析を行うこととする。

回答の平均スコア算出にあたり、満足度と期待度について、それぞれ以下のとおり点数を与えた。

図表II-20 満足度と期待度に与えた点数

現状への満足度	今後の充実への期待度	点数
大変満足	大いに期待する	2
どちらかといえば満足	どちらかといえば期待する	1
普通	どちらでもない	0
どちらかといえば不満	あまり期待していない	-1
大変不満	全く期待していない	-2

まず、項目ごとの満足度、期待度についての回答者全員の回答に上記の点数を与えて、 回答の平均スコアを算出し、それぞれについて、点数が高いものから順位付けした。

■満足度・期待度の平均スコアを見る際の留意点

現状への満足度・今後の充実への期待度は、全ての回答者に尋ねているため、項目によっては、<u>項目に直接関係しない回答者が多数含まれることで、結果的に満足度や期</u>待度が低くなる場合があることに、留意する必要がある。

(例)「27.農林業の振興」・・・農林業に従事していない回答者のスコアが低くなる傾向にある「29.彩都のまちづくりの推進」・・・彩都に居住していない回答者のスコアが低くなる傾向にある

満足度の回答平均スコアを順位付けした結果は、以下のとおりである。

図表II-21 満足度の回答平均スコアの順位

順位	項目	順位	項目
1	20.上下水道整備の充実	22	42.市民活動(ボランティア・NPO活動)の推進
2	16.消防・救急体制の充実	23	36.学校教育の充実
3	33.生涯学習の推進	24	4.障害者への福祉サービスや社会参加促進
4	23.うるおいのある緑と水辺の形成	25	17.防犯対策の推進
5	34.スポーツ・レクリエーション活動の振興		39.国際交流活動
6	1.地域における助け合いの仕組づくり	27	19.消費生活への安心の向上
7	11.平和社会への取組と人権の尊重	28	5.生活困窮者への支援
8	21.環境保全の推進		37.幼児教育の充実
9	22.資源の循環利用の促進		38.青少年の健全育成
10	35.文化の継承と振興	31	31.魅力ある住環境の整備・保全
11	13.防災体制の充実	32	41.市政に関する情報提供・意見収集の取組
12	10.健康づくりや医療の充実	33	14.災害発生時の被害を小さくするための取組
13	12.男女共同参画社会の推進	34	18.交通安全対策の推進
14	6.子育て環境の整備		29.彩都のまちづくりの推進
15	2.高齢者への福祉サービスや生きがいづくり	36	28.計画的な都市づくりの推進
16	3.介護サービスの充実	37	27.農林業の振興
17	24.魅力的な景観の保全と創出	38	8.国民年金制度の普及啓発
18	40.地域におけるコミュニティ活動の促進	39	25.商工業の振興
19	32.都市の美化と環境衛生の推進	40	30.道路・交通体系の整備
20	7.国民健康保険の充実	41	26.観光の振興
21	15.治山・治水の推進	42	9.雇用の安定や労働環境の改善

図表II-22 期待度の回答平均スコアの順位

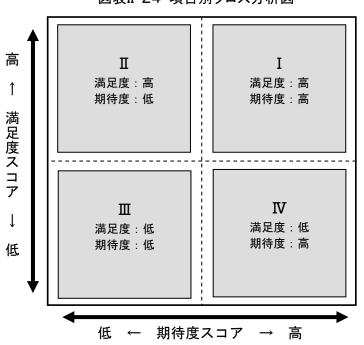
順位	項目	順位	項目
1	16.消防・救急体制の充実		22.資源の循環利用の促進
2	17.防犯対策の推進	23	9.雇用の安定や労働環境の改善
3	10.健康づくりや医療の充実	24	25.商工業の振興
4	13.防災体制の充実	25	4.障害者への福祉サービスや社会参加促進
5	14.災害発生時の被害を小さくするための取組	26	33.生涯学習の推進
6	6.子育て環境の整備	27	1.地域における助け合いの仕組づくり
7	36.学校教育の充実		7.国民健康保険の充実
8	18.交通安全対策の推進		34.スポーツ・レクリエーション活動の振興
9	32.都市の美化と環境衛生の推進	30	40.地域におけるコミュニティ活動の促進
10	3.介護サービスの充実		15.治山・治水の推進
11	2.高齢者への福祉サービスや生きがいづくり	32	35.文化の継承と振興
12	23.うるおいのある緑と水辺の形成	33	41.市政に関する情報提供・意見収集の取組
13	30.道路・交通体系の整備	34	39.国際交流活動
14	37.幼児教育の充実	35	42.市民活動(ボランティア・NPO活動)の推進
15	31.魅力ある住環境の整備・保全	36	8.国民年金制度の普及啓発
16	24.魅力的な景観の保全と創出	37	11.平和社会への取組と人権の尊重
17	21.環境保全の推進		26.観光の振興
18	19.消費生活への安心の向上	39	27.農林業の振興
19	38.青少年の健全育成	40	12.男女共同参画社会の推進
20	28.計画的な都市づくりの推進	41	5.生活困窮者への支援
21	20.上下水道整備の充実	42	29.彩都のまちづくりの推進

さらに、項目ごとに、各項目の平均スコアと、 $1\sim42$ の全ての項目のスコアの平均値を、満足度、期待度についてそれぞれ計算し、期待度と満足度との差を、値の大きいものから順位付けした。

図表II-23 期待度-満足度の順位付け

順位	項目	順位	項目
1	30.道路・交通体系の整備	22	26.観光の振興
2	9.雇用の安定や労働環境の改善	23	21.環境保全の推進
3	14.災害発生時の被害を小さくするための取組	24	4.障害者への福祉サービスや社会参加促進
4	17.防犯対策の推進	25	8.国民年金制度の普及啓発
5	18.交通安全対策の推進	26	41.市政に関する情報提供・意見収集の取組
6	37.幼児教育の充実	27	22.資源の循環利用の促進
7	28.計画的な都市づくりの推進	28	7.国民健康保険の充実
8	10.健康づくりや医療の充実	29	40.地域におけるコミュニティ活動の促進
9	31.魅力ある住環境の整備・保全	30	39.国際交流活動
10	36.学校教育の充実	31	15.治山・治水の推進
11	32.都市の美化と環境衛生の推進	32	27.農林業の振興
12	25.商工業の振興	33	1.地域における助け合いの仕組づくり
13	13.防災体制の充実	34	42.市民活動(ボランティア・NPO活動)の推進
14	38.青少年の健全育成	35	34.スポーツ・レクリエーション活動の振興
15	6.子育て環境の整備	36	33.生涯学習の推進
16	3.介護サービスの充実	37	35.文化の継承と振興
17	19.消費生活への安心の向上	38	29.彩都のまちづくりの推進
18	2.高齢者への福祉サービスや生きがいづくり	39	5.生活困窮者への支援
19	24.魅力的な景観の保全と創出	40	20.上下水道整備の充実
20	16.消防・救急体制の充実	41	11.平和社会への取組と人権の尊重
21	23.うるおいのある緑と水辺の形成	42	12.男女共同参画社会の推進

また、項目ごとに、満足度と期待度の平均スコアのバランスが視覚的にわかるよう、 図を作成し、項目別のクロス分析を行った。

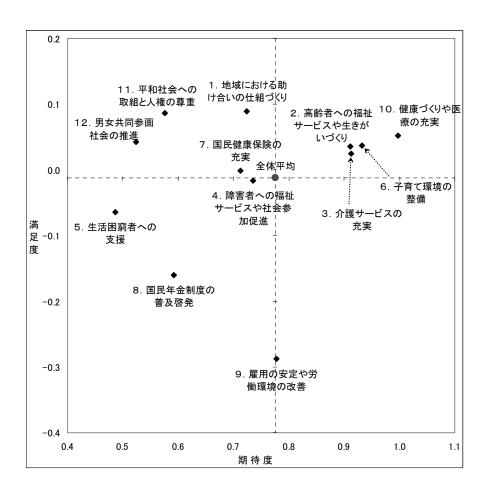


図表II-24 項目別クロス分析図

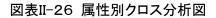
下記の図は、「こころすこやか「福祉充実都市」の実現」を例に、実際の項目別クロス分析図を示したものであり、「1. 地域における助け合いの仕組みづくり」から「42. 市民活動(ボランティア・NPO活動)の推進」までの42項目の平均値を中央に置き、各項目が平均と比較してどのような位置にあるかを示したものである。

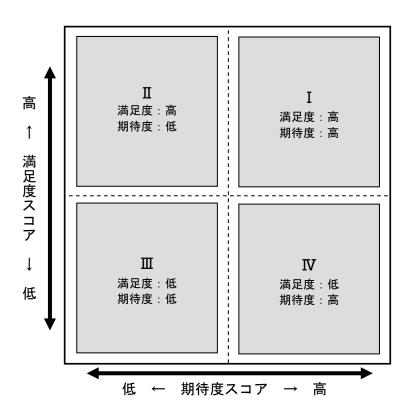
図表Ⅱ-25 項目別クロス分析図の例

(「こころすこやか「福祉充実都市」の実現」の12項目の比較)



さらに、各項目について、属性別の満足度と期待度の平均スコアを算出したうえでクロス分析図を作成し、属性別のクロス分析を行った。



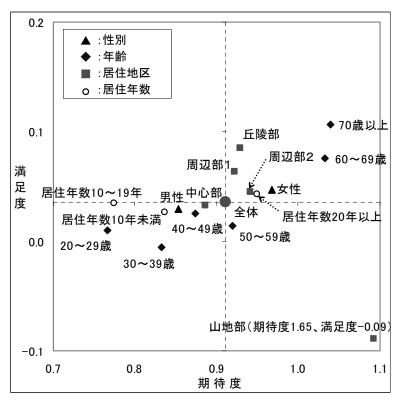


次ページの図は、「2. 高齢者への福祉サービスや生きがいづくり」のスコアについて、市全体の平均値を中央に置き、性別、年齢、居住地区、居住年数別に、位置を比較したものである。

(注)各項目ごとの属性別クロス分析図は、今後の期待度が 42 項目の平均(0.78)を上回るもののみを掲載している。 (以下同様)

図表II-27 属性別クロス分析図の例

(「2.高齢者への福祉サービスや生きがいづくり」の属性別平均スコアの比較)



(注)「山地部」については、値がクロス分析図の範囲を大きく外れるため、実際の位置とは異なる。(以下同様)

なお、回答者数が少ない地域については、回答者の年齢の分布にも影響を受けることを留意する必要がある。例えば、山地部では、回答者が 50 歳以上に偏っていることを考慮して、結果をみる必要がある。

図表II-28 地域別の年代分布

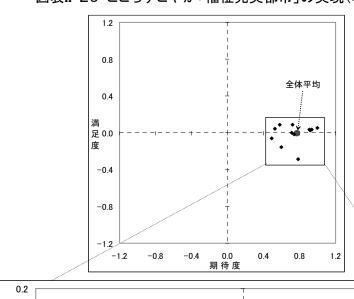
	総数	2 0 2 9 歳	30~39歳	4 0 4 9 歳	5 0 \ 5 9 歳	6 0 \ 6 9 歳	7 0 歳以上	無回答	
山地部	29 100. 0	0	0	0	4 13. 8	14 48. 3	11 37. 9	0, 0	
丘陵部	239	42	0. 0 31	0. 0 32	31	48	54	1	
周辺部 1	100. 0 442	17. 6 61	13. 0 77	13. 4 65	13. 0 60	20. 1 92	22. 6 86	0.4	
中心部	100.0 1139	13. 8 142	17. 4 208	14. 7 208	13. 6 139	20.8 191	19. 5 248	0.2	
周辺部 2	100. 0 490	12. 5 66	18. 3 59	18. 3 107	12. 2 73	16. 8 78	21. 8 106	0. 3	
)티 (스 디타 스	100.0						21. 6	0. 2	

① こころすこやか「福祉充実都市」の実現

「こころすこやか「福祉充実都市」の実現」に含まれる12の項目についてみると、満足度も期待度も高い項目は、「2. 高齢者への福祉サービスや生きがいづくり」、「3. 介護サービスの充実」、「6. 子育て環境の整備」、「10. 健康づくりや医療の充実」である。

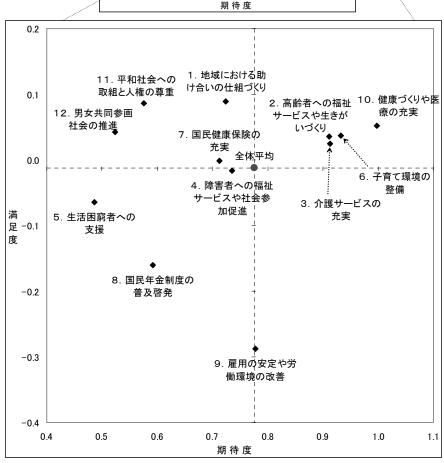
また、満足度が低く、期待度がやや高い項目としては、「9. 雇用の安定や労働環境の改善」がある。

図表II-29 こころすこやか「福祉充実都市」の実現(項目別)



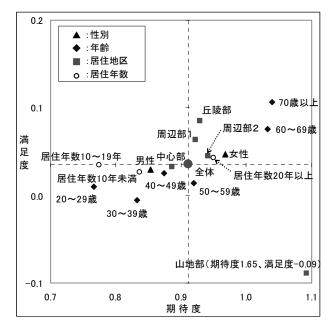
(注)

各項目のスコアを原点(0,0)を中心にして示すと、上の図のとおりとなる。しかし、ここでは各項目の関係を相対的に比較するため、全ての項目のスコアの平均値を中心としてスコアを表示した図を作成し、分析を行っている。(以下同様)



ア. 高齢者への福祉サービスや生きがいづくり

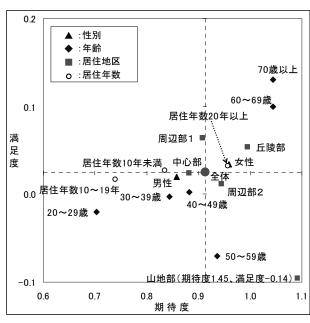
この項目については、全般的な満足度は高いが、60歳以上の回答者や女性の回答者では、期待度も高くなっている。



図表II-30 高齢者への福祉サービスや生きがいづくり(属性別)

イ.介護サービスの充実

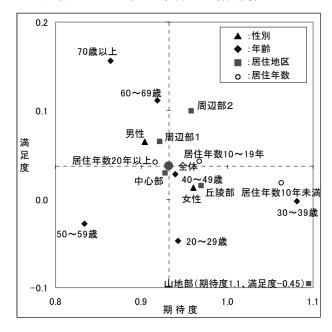
この項目については、60歳以上や丘陵部に住む回答者で満足度、期待度ともに高く、 50歳代の回答者では、満足度が低く、期待度が高い。



図表II-31 介護サービスの充実(属性別)

ウ.子育て環境の整備

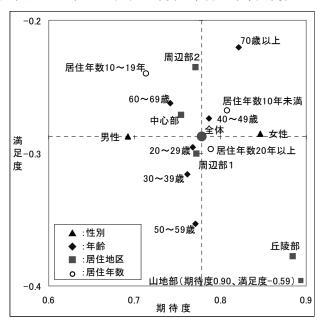
この項目については、全般的に満足度は高いが、20歳代~30歳代や女性、丘陵部では、満足度がやや低く、期待度が高くなっている。



図表II-32 子育て環境の整備(属性別)

エ. 雇用の安定や労働環境の改善

この項目については、全体に満足度がやや低い。

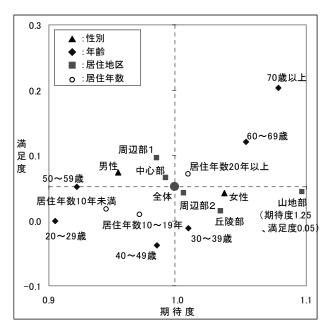


図表II-33 雇用の安定や労働環境の改善(属性別)

オ.健康づくりや医療の充実

この項目については、他の項目と比較して期待度がやや高くなっている。

図表II-34 健康づくりや医療の充実(属性別)



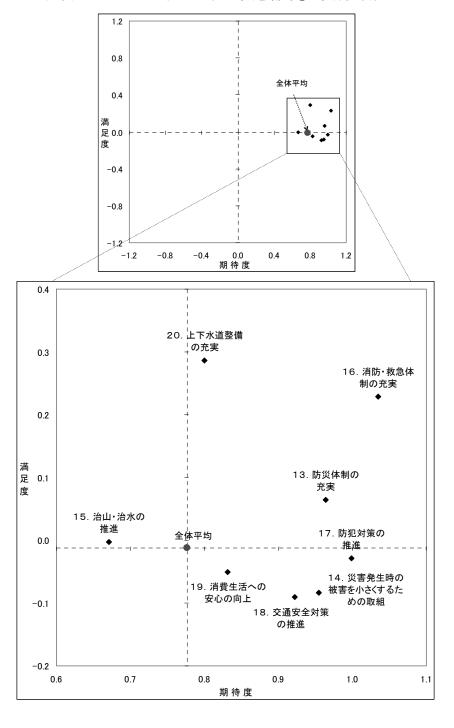
② くらしやすらか「安心実感都市」の実現

「くらしやすらか「安心実感都市」の実現」に含まれる8つの項目についてみると、「15. 治山・治水の推進」を除き、全般的に期待度が高くなっている。

満足度も期待度も高い項目は、「13. 防災体制の充実」、「16. 消防・救急体制の充実」、である。

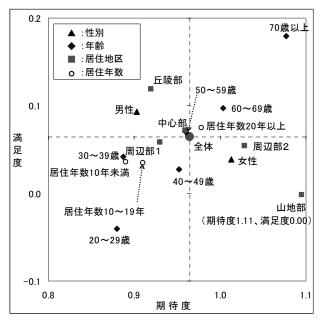
また、満足度が低く、期待度が高い項目としては、「14. 災害発生時の被害を小さくするための取組」、「17. 防犯対策の推進」、「18. 交通安全対策の推進」、「19. 消費生活への安心の向上」がある。

図表II-35 くらしやすらか「安心実感都市」の実現(項目別)



ア. 防災体制の充実

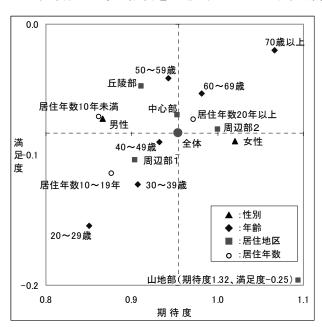
この項目については、他の項目と比較して期待度がやや高くなっている。期待度が高い属性のなかでは、女性の満足度が比較的低くなっている。



図表II-36 防災体制の充実(属性別)

イ.災害発生時の被害を小さくするための取組

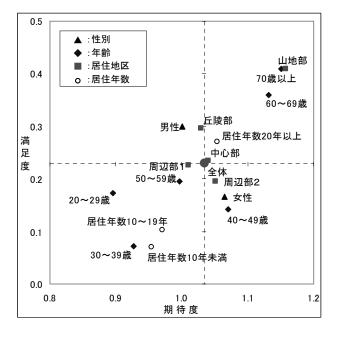
この項目については、全般的に満足度が低い。



図表II-37 災害発生時の被害を小さくするための取組(属性別)

ウ.消防・救急体制の充実

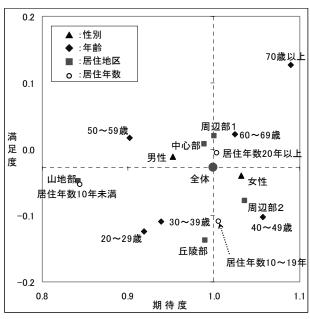
この項目については、60歳以上の回答者で、期待度が比較的高くなっている。



図表II-38 消防・救急体制の充実(属性別)

エ. 防犯対策の推進

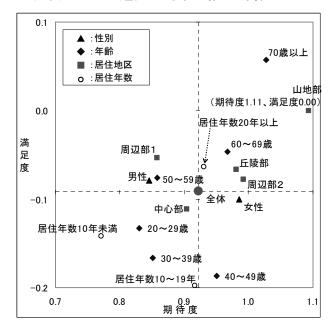
この項目については、60歳以上の年齢の高い回答者で満足度、期待度ともに高くなっている一方、女性や50歳未満の回答者では満足度が低くなっている。



図表II-39 防犯対策の推進(属性別)

オ. 交通安全対策の推進

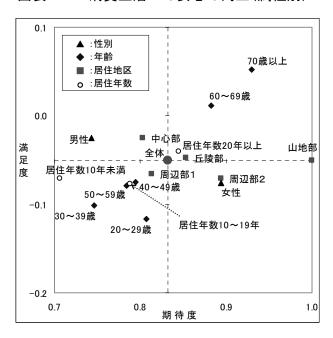
この項目については、60歳以上の回答者のほか、丘陵部や周辺部2での期待度がやや高い。



図表II-40 交通安全対策の推進(属性別)

カ.消費生活への安心の向上

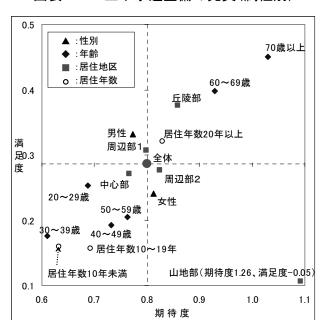
この項目についても、60歳以上の年齢の高い回答者で満足度、期待度ともに高くなっているほか、男性よりも女性のほうが期待度が高い。



図表II-41 消費生活への安心の向上(属性別)

キ.上下水道整備の充実

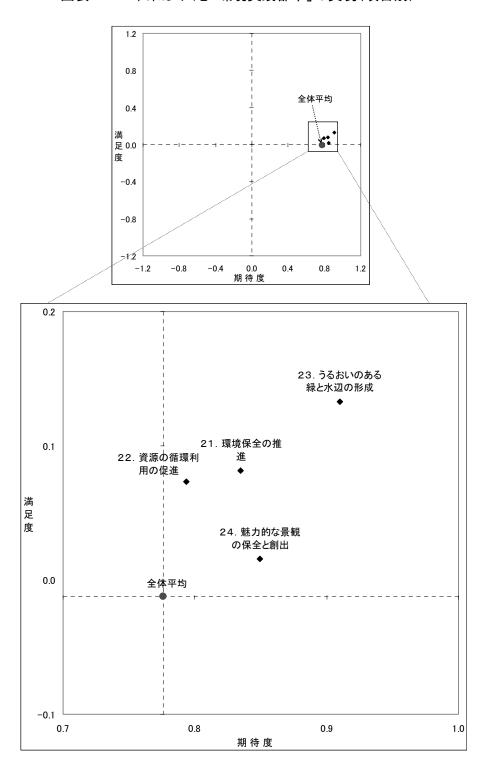
この項目については、全般的に満足度が高く、期待度はやや低めになっている。



図表II-42 上下水道整備の充実(属性別)

③ 未来はぐくむ「環境実践都市」の実現

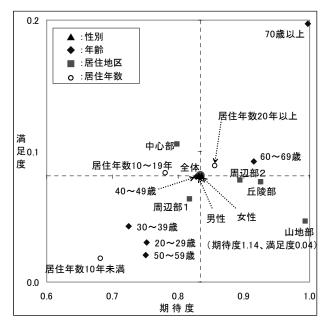
「未来はぐくむ「環境実践都市」の実現」に含まれる4つの項目については、いずれも、満足度・期待度が高い。



図表II-43 未来はぐくむ「環境実践都市」の実現(項目別)

ア.環境保全の推進

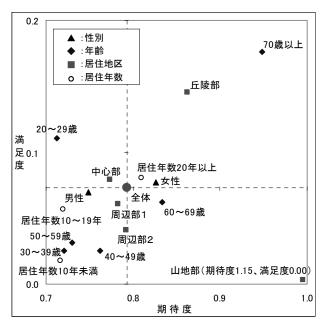
この項目については、全般的に満足度が高い。



図表II-44 環境保全の推進(属性別)

イ. 資源の循環利用の促進

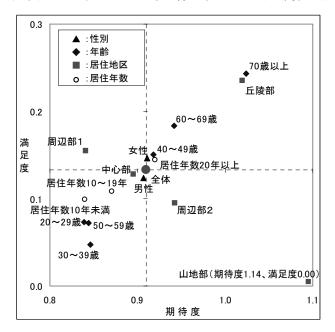
この項目については、全般的に満足度が高いものの、期待度がやや低くなっている。



図表II-45 資源の循環利用の促進(属性別)

ウ. うるおいのある緑と水辺の形成

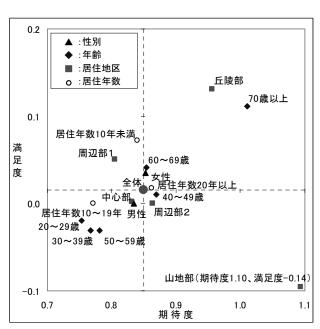
この項目については、全般的に満足度が高いが、中でも、丘陵部と周辺部1で比較的 満足度が高くなっている。



図表II-46 うるおいのある緑と水辺の形成(属性別)

エ. 魅力的な景観の保全と創出

この項目についても、「うるおいのある緑と水辺の形成」と同様、丘陵部と周辺部1で比較的満足度が高くなっている。



図表II-47 魅力的な景観の保全と創出(属性別)

④ 活力あふれる「生活躍動都市」の実現

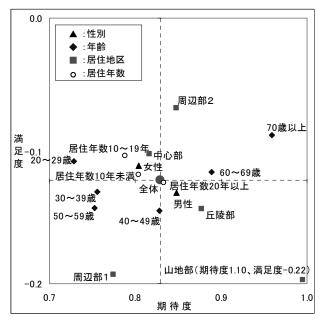
「活力あふれる「生活躍動都市」の実現」については、全般的に満足度が低くなっている。

8.0 全体平均 0.4 満 足 0.0 -0.4 -0.8 -1.2 0.0 期 待 度 -1.2 -0.8 8.0 1.2 0.1 32. 都市の美化と 環境衛生の推進 全体平均 0.0 31. 魅力ある住環 境の整備・保全 29. 彩都のまちづく 満 足 -0.1 度 りの推進 28. 計画的な都市 27. 農林業の振興 づくりの推進 25 商工業の振興 -0.2 30. 道路•交通体 系の整備 26. 観光の振興 -0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 8.0 0.9 1.0 期待度

図表II-48 活力あふれる「生活躍動都市」の実現(項目別)

ア.計画的な都市づくりの推進

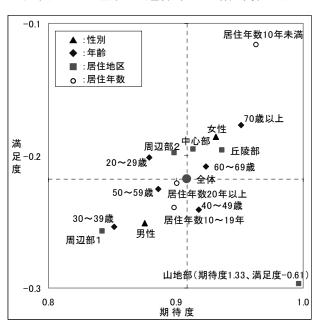
この項目については、周辺部2と丘陵部、山地部で期待度がやや高い傾向がみられる。



図表Ⅱ-49 計画的な都市づくりの推進(属性別)

イ. 道路・交通体系の整備

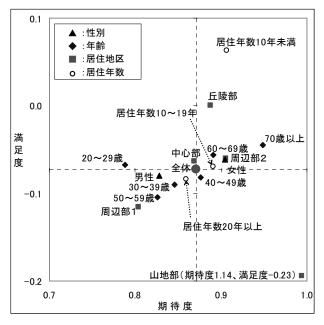
この項目については、属性別にそれほど大きなばらつきは見られないが、全般的に満 足度が低い。



図表II-50 道路·交通体系の整備(属性別)

ウ. 魅力ある住環境の整備・保全

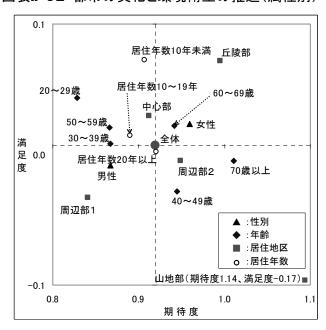
この項目については、丘陵部や居住年数 10 年未満の回答者で満足度がやや高くなっている。



図表II-51 魅力ある住環境の整備・保全(属性別)

エ. 都市の美化と環境衛生の推進

この項目については、丘陵部では満足度、期待度ともに高くなっている一方で、周辺部では満足度が低く、期待度が高くなっている。

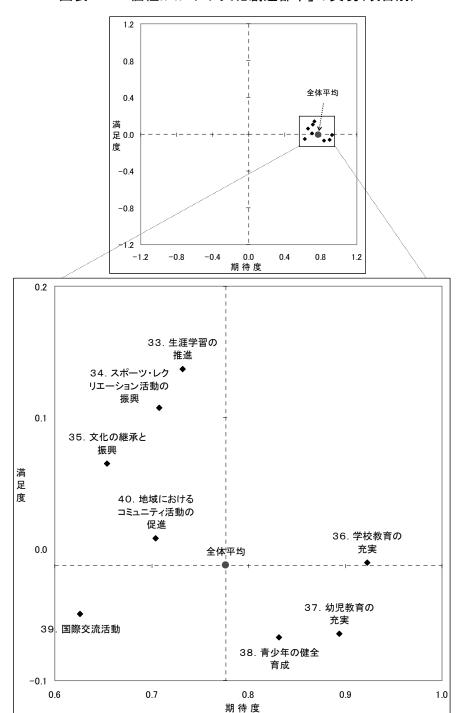


図表II-52 都市の美化と環境衛生の推進(属性別)

⑤ 個性かがやく「文化創造都市」の実現

「個性かがやく「文化創造都市」の実現」に含まれる8つの項目についてみると、「33. 生涯学習の推進」、「34 スポーツ・レクリエーション活動の振興」、「35. 文化の継承と振興」、「40. 地域におけるコミュニティ活動の促進」では、満足度が比較的高く、期待度が低くなっている。

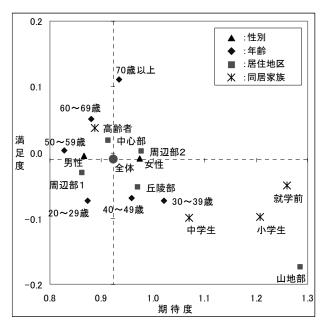
一方、子どもに関係が深い「36. 学校教育の充実」、「37. 幼児教育の充実」、「38. 青少年の健全育成」については、満足度が低く、期待度が高くなっている。



図表II-53 個性かがやく「文化創造都市」の実現(項目別)

ア. 学校教育の充実

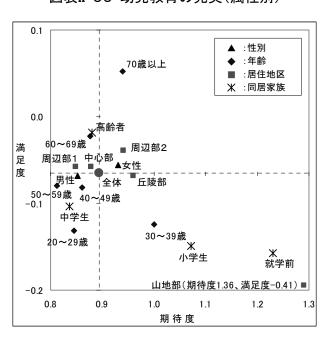
この項目については、子どもと同居する回答者の満足度が低く、期待度が高くなっている。



図表II-54 学校教育の充実(属性別)

イ. 幼児教育の充実

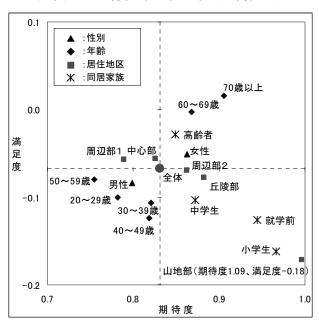
この項目については、同居家族以外の属性ではばらつきがみられないが、就学前と小学生の子どもと同居する回答者の満足度が低く、期待度が高くなっている。



図表II-55 幼児教育の充実(属性別)

ウ. 青少年の健全育成

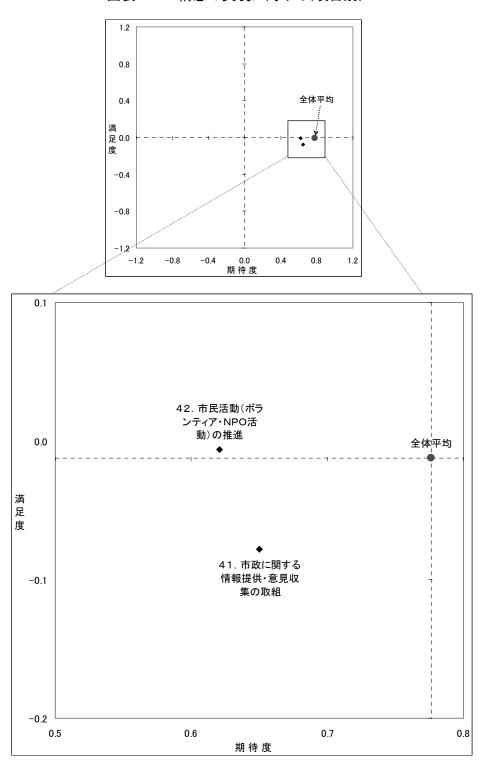
この項目についても、「幼児教育の充実」と同様の傾向がみられ、就学前と小学生の子どもと同居する回答者の満足度が低く、期待度が高くなっている。



図表II-56 青少年の健全育成(属性別)

⑥ 構想の実現に向けて

「構想の実現に向けて」に含まれる2つの項目についてみると、いずれも満足度、期待度ともに低くなっている。

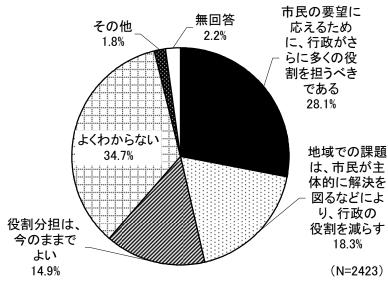


図表II-57 構想の実現に向けて(項目別)

4. 市政における役割分担と市民参画について

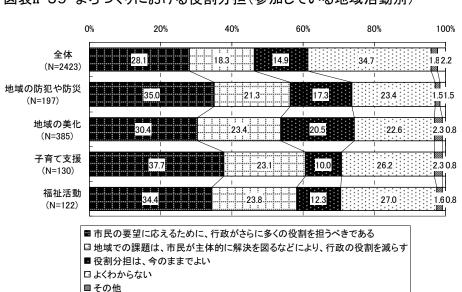
(1) 市民と行政のまちづくりにおける役割分担 [問 12]

市民と行政のまちづくりにおける役割分担のあり方としては、「よくわからない」が34.7%で最も多く、ついで「市民の要望に応えるために、行政がさらに多くの役割を担うべきである」が28.1%、「地域での課題は、市民が主体的に解決を図るなどにより、行政の役割を減らす」が18.3%となっている。



図表II-58 まちづくりにおける役割分担

行政との関わりが深いと考えられる「地域の防犯や防災」、「地域の美化」、「子育て支援」、「福祉活動」に関する地域活動を行っている回答者の回答を見ると、「よくわからない」の割合は大幅に低くなっており、特に地域の防犯や防災、子育て支援、福祉活動では、「市民の要望に応えるために、行政がさらに多くの役割を担うべきである」の割合が高くなっている。



図表II-59 まちづくりにおける役割分担(参加している地域活動別)

□無回答

男女別にみると、男性で「地域での課題は、市民が主体的に解決を図るなどにより、行政の役割を減らす」(23.3%)の割合が女性よりも大幅に高くなっている。

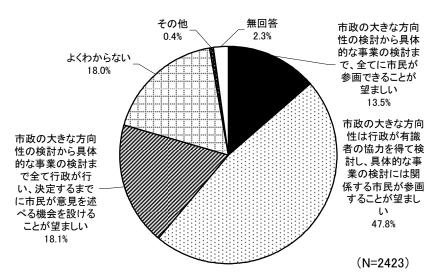
図表II-60 まちづくりにおける役割分担(クロス集計)

		調査数	割を担うべきであるに、行政がさらに多くの役市民の要望に応えるため	り、行政の役割を減らす体的に解決を図るなどによ地域での課題は、市民が主	いと割分担は、今のままでよ	よくわからない	その他	無回答
市	全体	2423 100. 0	680 28. 1	444 18. 3	361 14. 9	841 34. 7	43 1. 8	54 2. 2
	男性	100.0	325	253	170	294	1.0	27
性	74.121	100.0	29. 9	23.3	15. 6	27. 0	1. 7	2. 5
別	女性	1237	319	175	180	515	22	26
	a a a a b	100.0	25. 8	14.1	14. 6	41. 6	1.8	2. 1
	20~29歳	312	88	67	41	104	8	4
	30~39歳	100. 0 379	28. 2 127	21. 5 57	13. 1 41	33. 3 143	2. 6	1. 3
	30 - 3 9 mx	100. 0	33. 5	15. 0	10. 8	37. 7	1.8	1. 1
	40~49歳	420	119	70	88	128	8	7
年		100.0	28.3	16.7	21.0	30. 5	1.9	1.7
齢	50~59歳	311	89	59	40	110	8	5
		100.0	28.6	19.0	12. 9	35. 4	2.6	1.6
	60~69歳	430	108	86	60	162	4	10
	70歳以上	100. 0 516	25. 1 130	20. 0 95	14. 0 83	37. 7 179	0.9	2. 3
	7 0 放以上	100.0	25. 2	18. 4	16. 1	34. 7	1. 2	4. 5
	10年未満	120	42	16. 4	15. 1	45	2	0
居	T O > Clind	100. 0	35. 0	13. 3	12. 5	37. 5	1. 7	0. 0
住	10~19年	369	108	64	61	125	8	3
年		100.0	29.3	17.3	16.5	33. 9	2.2	0.8
数	20年以上	1881	512	354	277	656	31	51
-	71-01-71-4-7-4-11-1-1	100.0	27. 2	18.8	14. 7	34. 9	1.6	2. 7
	現在の場所に住み続けたい	1648	457	304	271 16. 4	557	22	37
	茨木市内で別の場所に引っ越す	100. 0 233	27. 7 70	18. 4 38	28	33. 8 91	1.3	2. 2
居		100. 0	30. 0	16. 3	12. 0	39. 1	1. 3	1. 3
住	いずれは市外に引っ越すかもし	216	64	53	23	64	6	6
意	れない	100.0	29. 6	24. 5	10.6	29. 6	2.8	2.8
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14	5	1	3	2	2	1
	, , , , ,	100.0	35. 7	7. 1	21.4	14. 3	14. 3	7. 1
	わからない	241	61	37	26	105	8	4
		100.0	25. 3	15. 4	10.8	43.6	3. 3	1.7

		調査数	割を担うべきであるに、行政がさらに多くの役市民の要望に応えるため	り、行政の役割を減らす体的に解決を図るなどによ地域での課題は、市民が主	い役割分担は、今のままでよ	よくわからない	その他	無回答
市	全体	2423	680	444	361	841	43	54
		100.0	28. 1	18.3	14. 9	34. 7	1.8	2. 2
	山地部	29	10	3	4	10		0
		100.0	34. 5	10. 3		34. 5	6. 9	0.0
	丘陵部	239	62	56	31	81	2	7
1_		100.0	25. 9	23. 4		33. 9	0.8	2. 9
居	周辺部 1	442	129	88	65	146	5	9
住	II. Notes	100.0	29. 2	19. 9	14. 7	33. 0	1. 1	2.0
地	中心部	1139	327	202	170	396		25
区	TT year day o	100.0	28. 7	17. 7	14. 9	34. 8		2. 2
	周辺部 2	490	126	84	82	175		11
1	1 2 2 2	100.0	25. 7	17. 1	16. 7	35. 7	2. 4	2. 2
	わからない	14	3	1	1	8	1	0
		100.0	21.4	7. 1	7. 1	57. 1	7. 1	0.0

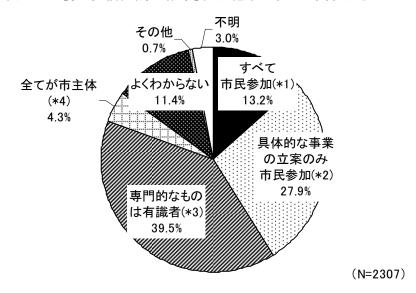
(2) 市政への市民の関わり方 [問 13]

市政への市民の関わり方としては、「市政の大きな方向性は行政が有識者の協力を得て 検討し、具体的な事業の検討には関係する市民が参画することが望ましい」が 47.8%で 最も多い。



図表II-61 市政への市民の関わり方





- (注)前回調査の選択肢は、以下のとおりである。
 - (*1)すべての施策の立案において、市民が参加できるようしていくべきである
 - (*2)具体的な施策の立案については関係する市民が参加できるようにすることが必要だが、市民が身近に考えにくい施策(まちづくりの基本的な方針など)については市が主体となって作成すべきである
 - (*3)専門的な知識が必要なものが行政が有識者の協力を得て立案し、そうでないものは、市民が参加できるようにするべきである
 - (*4)市が主体となってすべての施策を立案することが、行政としての責任である

年齢別にみると、「市政の大きな方向性の検討から具体的な事業の検討まで、全てに市民が参画できることが望ましい」の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなっている。

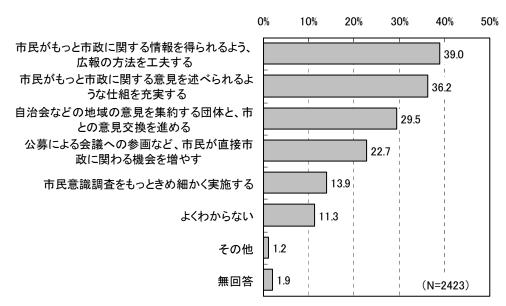
図表II-63 市政への市民の関わり方(クロス集計)

_			28 A 8 +	1 1 1 1 1 1 1	50. 1 > -	L.	7	
		調査数	が望ましいを一できることら具体的な事業の検討まで、ら具体的な事業の検討まで、	ましい おから、おから、おから、おから、おから、おから、おから、おから、おから、おから、	はけることが望まし、市民が意見を述べ、一下民が意見を述べ、決定具体的な事業の検政の大きな方向性	よくわからない	その他	無回答
市台	全体	2423 100. 0	326 13. 5	1158 47. 8	438 18. 1	436 18. 0	10 0. 4	55 2. 3
	男性	100.0	165	535	213	145	3	2. 3
性		100.0	15. 2	49. 2	19. 6	13. 3	0.3	2. 5
別	女性	1237 100. 0	138 11. 2	582 47. 0	210 17. 0	273 22. 1	7 0, 6	27 2. 2
	20~29歳	312	59	142	51	55	3	2. 2
		100.0	18. 9	45. 5	16. 3	17. 6	1.0	0.6
	30~39歳	379	59	187	73	52	2	6
	40~49歳	100. 0 420	15. 6 56	49. 3 233	19. 3 74	13. 7	0.5	1.6
年	40~49成	100.0	13. 3	55, 5	17. 6	11. 7	0.7	1. 2
齢	50~59歳	311	42	147	61	57	0	4
	10.	100.0	13. 5	47. 3	19. 6	18.3	0.0	1. 3
	60~69歳	430	50	210		83	1	10
	70歳以上	100. 0 516	11. 6 44	48. 8 214	17. 7 94	19. 3 136	0.2	2. 3
	7 0 //(2012)	100.0	8.5	41. 5	18. 2	26. 4	0. 2	5. 2
	10年未満	120	19	53	33	14	0	1
居	10 10 10	100.0	15. 8	44. 2	27. 5	11.7	0.0	0.8
住年	10~19年	369 100, 0	53 14. 4	197 53. 4	66 17. 9	46 12. 5	3 0. 8	4 1. 1
数	20年以上	1881	240	883	330	371	7	50
	2 0 1 0 1	100.0	12. 8	46. 9	17. 5	19. 7	0.4	2. 7
	現在の場所に住み続けたい	1648	196	789	306	314	6	37
	# 1. + 4 - 2 11 0 11 2 1 2 1 1 4 4	100.0	11. 9	47. 9	18. 6	19. 1	0.4	2. 2
居	茨木市内で別の場所に引っ越す かもしれない	233 100. 0	39 16. 7	111 47. 6	43 18. 5	36 15. 5	0.4	3 1. 3
	いずれは市外に引っ越すかもし	216	32	116	40	21	0.4	7. 3
意	れない	100.0	14. 8	53. 7	18. 5	9. 7	0.0	3. 2
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14	5	4	3	1	0	1
	1 2 8 30 1	100.0	35.7	28. 6	21. 4	7. 1	0.0	7. 1
	わからない	241	37 15.4	108	36 14 9	53	3	1.7
		100.0	15. 4	44. 8	14. 9	22.0	1. 2	1. 7

		調査数	が望ましいを目できることをてに市民が参画できることら具体的な事業の検討まで、られたの大きな方向性の検討か	しい の大きな方向性は行政が な市民が参画することが望 る市民が参画することが望 のは力を得て検討し、 のは力を得て検討し、 のは力を得て検討し、	いるす討の 機るまで 会まで全か	よくわからない	その他	無回答
市金	全体	2423 100. 0	326 13. 5	1158 47. 8	438 18. 1	436 18. 0	10 0. 4	55 2. 3
	山地部	29 100. 0	1 3. 4	15 51. 7	5	8 27. 6	0.0	0 0.0
	丘陵部	239 100. 0	33 13. 8	119 49. 8	37 15. 5	42 17. 6	1 0.4	7 2. 9
居住	周辺部 1	442 100. 0	70 15. 8	195 44. 1	82 18. 6	82 18. 6	1 0. 2	12 2. 7
地区	中心部	1139 100. 0	147 12. 9	558 49. 0	210 18. 4	195 17. 1	4 0. 4	25 2. 2
	周辺部 2	490 100. 0	55 11. 2	243 49. 6	93 19. 0	86 17. 6	4 0.8	9
	わからない	14 100. 0	2	3	1	8 57. 1	0.0	0.0

(3) 市民が市政に参加するために充実・拡大することが望ましい取り組み [問 14]

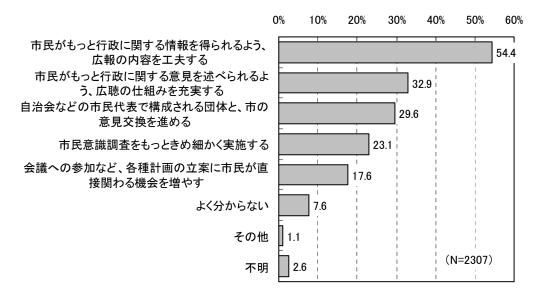
市民が市政に参加するために充実・拡大することが望ましい取り組みとしては、「市民がもっと市政に関する情報を得られるよう、広報の方法を工夫する」が39.0%で最も多く、ついで「市民がもっと市政に関する意見を述べられるような仕組を充実する」が36.2%、「自治会などの地域の意見を集約する団体と、市との意見交換を進める」が29.5%となっている。



図表II-64 市民が市政に参加するための今後の取り組み(複数回答)

前回調査では、「会議への参加など、各種計画の立案に市民が直接関わる機会を増や す」が最下位であったが、今回調査では、順位が上がっている。

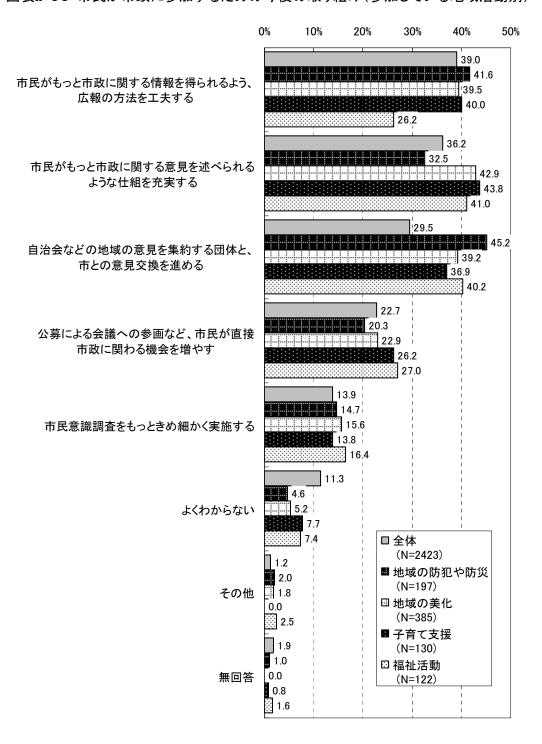
図表II-65 [参考:前回調査結果]市民が市政に参加するための今後の取り組み(複数回答)



参加している地域活動別にみると、いずれの活動でも、「自治会などの地域の意見を集約する団体と、市との意見交換を進める」の割合が全体より高くなっている。

その他特徴がみられるのは、地域の美化、子育て支援、福祉活動の「市民がもっと市政に関する意見を述べられるような仕組みを充実する」の割合が高くなっている点、福祉活動の「市民がもっと市政に関する情報を得られるよう、広報の方法を工夫する」の割合と、防犯・防災の「市民がもっと市政に関する意見を述べられるような仕組みを充実する」の割合が低くなっている点である。

図表II-66 市民が市政に参加するための今後の取り組み(参加している地域活動別)



年齢別にみると、「自治会などの地域の意見を集約する団体と、市との意見交換を進める」の割合は年齢が高くなるにつれて高くなり、「市民がもっと市政に関する情報を得られるよう、広報の方法を工夫する」の割合は年齢が低くなるにつれて高くなっている。

図表II-67 市民が市政に参加するための今後の取り組み(クロス集計)

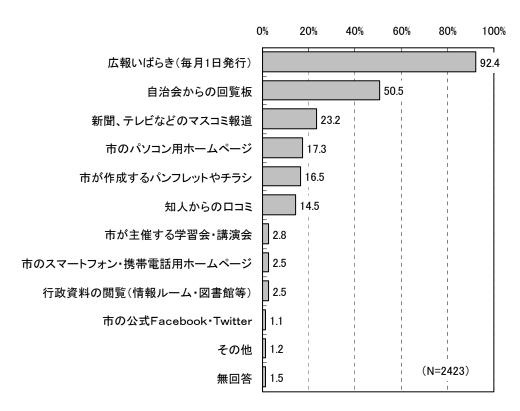
		調査数	の意見交換を進めるを集約する団体と、市と自治会などの地域の意見	関わる機会を増やすなど、市民が直接市政に公募による会議への参画	広報の方法を工夫するる情報を得られるよう、市民がもっと市政に関す	な仕組を充実するる意見を述べられるよう市民がもっと市政に関す	め細かく実施する市民意識調査をもっとき	よくわからない	その他	無回答
市金	全体	2423 100. 0	714 29. 5	549 22. 7	944 39. 0	876 36. 2	337 13. 9	274 11. 3	29 1. 2	46 1. 9
	男性	1088	335	245	440	400	163	90	12	22
性		100.0	30.8	22. 5	40.4	36.8	15.0	8.3	1. 1	2. 0
別	女性	1237 100. 0	351 28. 4	274 22. 2	476 38. 5	442 35. 7	164 13. 3	171 13. 8	16 1. 3	22 1. 8
	20~29歳	312	72	83	139	116	51	35	7. 3	2
		100.0	23. 1	26.6	44. 6	37. 2	16. 3	11. 2	2. 2	0.6
	30~39歳	379	97	92	156	159	69	38	6	2
	10 10 15	100.0	25. 6	24. 3	41. 2	42.0	18. 2	10.0	1.6	0. 5
年	40~49歳	420 100. 0	116 27. 6	126 30. 0	165 39. 3	167 39. 8	60 14. 3	28 6. 7	2 0. 5	8 1. 9
齢	50~59歳	311	89	66	120	125	39	32	5	3
	3 3 3 7 7 7	100.0	28. 6	21. 2	38. 6	40. 2	12.5	10. 3	1. 6	1. 0
	60~69歳	430	144	91	159	143	49	59	4	6
	T 0 # NI I	100.0	33. 5	21. 2	37. 0	33. 3	11.4	13. 7	0.9	1. 4 23
	70歳以上	516 100. 0	181 35. 1	68 13. 2	189 36. 6	143 27. 7	65 12. 6	81 15. 7	4 0. 8	4. 5
	10年未満	120	29	30	56	56	23	4	2	0
居		100.0	24. 2	25. 0	46. 7	46.7	19. 2	3. 3	1.7	0.0
住	10~19年	369	87	123	153	130	47	38	4	4
年数	20年以上	100. 0 1881	23. 6 584	33. 3 374	41. 5 719	35. 2 666	12. 7 263	10. 3 231	1. 1	1. 1
3 3,	20年以上	100. 0	31. 0	19. 9	38. 2	35. 4	14. 0	12. 3	1. 2	2. 2
	現在の場所に住み続けたい	1648	543	350	641	584	203	195	16	31
		100.0	32. 9	21. 2	38. 9	35. 4	12.3	11.8	1.0	1. 9
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	46	60	105	90	41	20	5	3
占仕	かもしれない いずれは市外に引っ越すかもし	100. 0 216	19. 7 49	25. 8 59	45. 1 86	38. 6 90	17. 6 43	8. 6 14	2. 1	1.3
意	れない	100. 0	22. 7	27. 3	39.8	41. 7	19. 9	6.5	2.8	1. 9
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14	2	6	3	6	5	0.0	0	1. 3
		100.0	14.3	42.9	21.4	42. 9	35.7	0.0	0.0	7. 1
	わからない	241	53	50	87	78	38	42	2	4
<u> </u>		100.0	22. 0	20. 7	36. 1	32. 4	15.8	17. 4	0.8	1.7

		調査数	の意見交換を進めるを集約する団体と、市と自治会などの地域の意見	関わる機会を増やすなど、市民が直接市政に公募による会議への参画	広報の方法を工夫するる情報を得られるよう、市民がもっと市政に関す	な仕組を充実するる意見を述べられるよう市民がもっと市政に関す	め細かく実施する市民意識調査をもっとき	よくわからない	その他	無回答
市	全体	2423	714		944	876	337	274	29	46
		100.0	29. 5		39.0	36. 2	13. 9	11.3	1.2	1.9
	山地部	29	12	3	8	9	2	4	1	0
		100.0	41.4	10.3	27. 6	31. 0	6.9	13.8	3. 4	0.0
	丘陵部	239	100	49	86	93	25	22	3	5
l_		100.0	41.8		36.0	38. 9	10. 5	9. 2	1.3	2. 1
居	周辺部 1	442	137	104	153	158	66	53	7	11
住		100.0	31.0	23. 5	34. 6	35. 7	14. 9	12.0	1.6	2. 5
地	中心部	1139	315	260	466	414	153	132	9	19
区		100.0	27.7	22. 8	40.9	36. 3	13. 4	11.6	0.8	1.7
1	周辺部 2	490	132	106	209	173	84	49	8	8
1		100.0	26. 9	21. 6	42.7	35. 3	17. 1	10.0	1.6	1.6
I	わからない	14	2	3	3	5	1	5	1	0
		100.0	14. 3	21.4	21.4	35. 7	7.1	35. 7	7. 1	0.0

5. 市政に関する情報の入手方法について

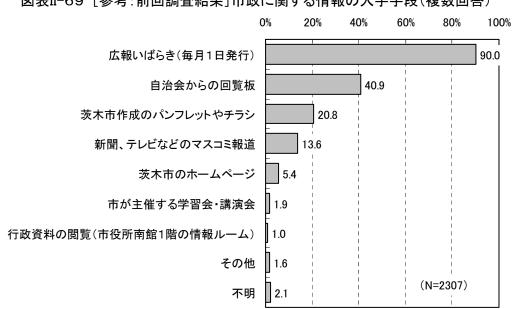
(1) 市政に関する情報の入手手段 [問 15]

情報の入手手段としては「広報いばらき (毎月1日発行)」が92.4%で最も多く、ついで「自治会からの回覧板」が50.5%、「新聞、テレビなどのマスコミ報道」が23.2%となっている。



図表II-68 市政に関する情報の入手手段(複数回答)

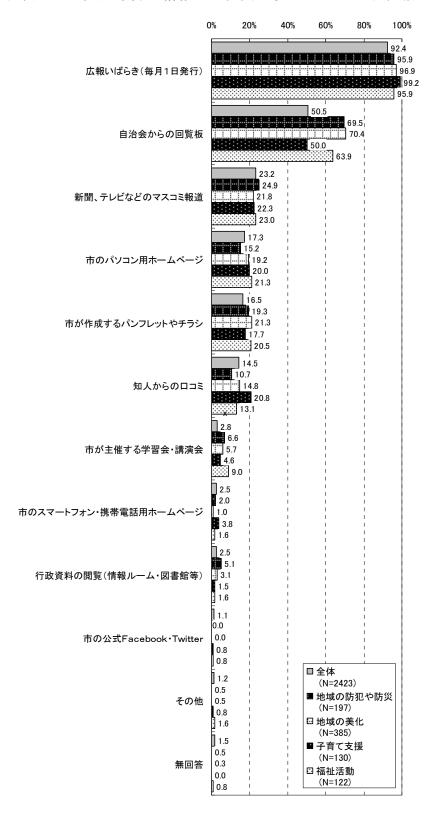
今回調査では、市のホームページに関する項目の割合が前回調査と比較するとやや高くなっている。



図表II-69 [参考:前回調査結果]市政に関する情報の入手手段(複数回答)

参加している地域活動別にみると、防犯・防災、地域の美化、福祉活動では、「自治会からの回覧板」の割合が全体よりも高くなっている。また、子育て支援では「知人からの口コミ」の割合が、福祉活動では「市が主催する学習会・講演会」の割合が全体よりもやや高くなっている。

図表II-70 市政に関する情報の入手手段(参加している地域活動別)



年齢別にみると、20歳代では「広報いばらき」と「自治会からの回覧板」の割合が市全体よりも低くなっている。また、70歳以上では、「市のパソコン用ホームページ」の割合が市全体よりも低くなっている一方で、「新聞、テレビなどのマスコミ報道」と「自治会からの回覧板」の割合が高くなっている。

図表II-71 市政に関する情報の入手手段(クロス集計)

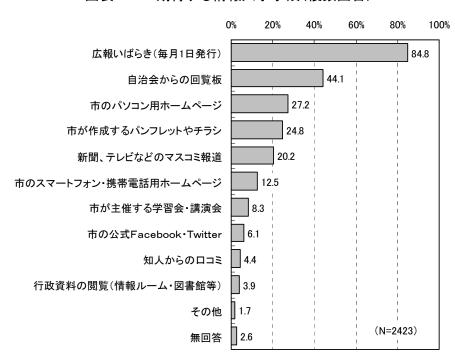
		調査数	発行) 発行) 佐報いばらき(毎月1日	ポージホのパソコン用ホーム	帯電話用ホームページ市のスマートフォン・携	k・T Wit teep oo	コミ報道新聞、テレビなどのマス	演会市が主催する学習会・講	自治会からの回覧板	トやチラシ市が作成するパンフレッ	ルーム・図書館等)行政資料の閲覧(情報	知人からの口コミ	その他	無回答
市	全体	2423 100. 0	2240 92. 4	418 17. 3	60 2, 5	26 1. 1	561 23. 2	68 2. 8	1224 50. 5	400 16. 5	61 2. 5	352 14. 5	30 1. 2	36 1. 5
性	男性	1088 100. 0	994 91. 4	224 20. 6	34 3. 1	13 1. 2	276 25. 4	25 2. 3	543 49. 9	175 16. 1	26 2. 4	144 13. 2	16 1. 5	16 1. 5
別	女性	1237 100, 0	1157 93. 5	177 14. 3	23 1. 9	12 1. 0	265 21. 4	37 3. 0	630 50. 9	204 16, 5	31 2. 5	191 15. 4	11 0. 9	18 1. 5
	20~29歳	312 100. 0	257 82. 4	70 22. 4	1. 5 14 4. 5	10 3. 2	68 21. 8	0.0	79 25. 3	29	2. 5 8 2. 6	55 17. 6	8 2. 6	3 1. 0
	30~39歳	379 100. 0	356 93. 9	85 22. 4	22 5. 8	9 2. 4	63 16. 6	4 1. 1	141 37. 2	43 11. 3	7 1. 8	64 16. 9	9 2. 4	2 0. 5
年	40~49歳	420 100. 0	398 94. 8	105 25. 0	15 3. 6	4 1. 0	75 17. 9	7	196 46. 7	48 11. 4	11 2. 6	52 12. 4	3 0. 7	4 1. 0
	50~59歳	311 100. 0	296 95. 2	59 19. 0	3	1 0. 3	63 20. 3	8 2. 6	171 55. 0	52 16. 7	6 1. 9	46 14. 8	3	4 1. 3
	60~69歳	430 100. 0	413 96. 0	54 12. 6	4 0. 9	0.0	106 24. 7	20 4. 7	286 66. 5	105 24. 4	12 2. 8	55 12. 8	3 0. 7	3 0. 7
	70歳以上	516 100. 0	470 91. 1	34 6. 6	1 0. 2	2 0.4	178 34. 5	27 5. 2	328 63. 6	110 21. 3	15 2. 9	71 13. 8	3 0. 6	17 3, 3
居	10年未満	120 100. 0	108 90. 0	34 28, 3	5 4. 2	2	24 20. 0	1 0. 8	27 22, 5	11 9. 2	3 2. 5	19 15. 8	0.0	1 0.8
住	10~19年	369 100, 0	334 90. 5	71 19. 2	22 6. 0	7	62 16. 8	3 0. 8	139 37. 7	38 10. 3	9 2. 4	53 14. 4	10 2. 7	2 0. 5
年数	20年以上	1881 100. 0	1747 92. 9	301 16. 0	32 1. 7	17 0. 9	467 24. 8	62 3. 3	1035 55. 0	340 18. 1	47 2. 5	272 14. 5	20 1. 1	32 1. 7
	現在の場所に住み続けたい	1648 100. 0	1548 93. 9	255 15. 5	29 1. 8	19 1. 2	405 24. 6	51 3. 1	944 57. 3	295 17. 9	38 2. 3	235 14. 3	18 1. 1	24 1. 5
	茨木市内で別の場所に引っ越す かもしれない	233 100. 0	214 91. 8	52 22. 3	16 6. 9	2 0. 9	46 19. 7	4 1. 7	82 35. 2	28 12. 0	7 3. 0	43 18. 5	5 2. 1	1 0. 4
意	いずれは市外に引っ越すかもし れない	216 100. 0	192 88. 9	54 25. 0	7 3. 2	3 1. 4	45 20. 8	5 2. 3	73 33. 8	32 14. 8	6 2. 8	26 12. 0	4 1. 9	2 0. 9
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14 100. 0	12 85. 7	2 14. 3	2 14. 3	0.0	7. 1	0.0	21. 4	3 21. 4	1 7. 1	3 21. 4	1 7. 1	7. 1
	わからない	241 100. 0	206 85. 5	43 17. 8	4 1. 7	2 0.8	48 19. 9	6 2. 5	90 37. 3	27 11. 2	7 2. 9	36 14. 9	2 0.8	6 2. 5

		調査数	月1日発行) 広報いばらき(毎	ホームページ	ホームページ・携帯電話用	t b 市の公式 r k F T a w c i e	のマスコミ報道新聞、テレビなど	会・講演会市が主催する学習	板自治会からの回覧	フレットやチラシ市が作成するパン	書館等) (情報ルーム・図行政資料の閲覧	知人からの口コミ	その他	無回答
市	全体	2423	2240	418	60	26	561	68	1224	400	61	352	30	36
		100.0	92.4	17.3	2.5	1.1	23. 2	2.8		16. 5	2. 5	14. 5	1.2	1.5
	山地部	29	27	3	0	0	6	0	17	5	0	6	1	0
		100.0	93. 1	10.3	0.0	0.0	20.7	0.0	58. 6	17. 2	0.0	20.7	3. 4	0.0
	丘陵部	239	223	44	1	3	55	8	130	41	4	26	1	4
		100.0	93. 3	18. 4	0.4	1.3	23.0	3. 3	54. 4	17. 2	1.7	10. 9	0.4	1.7
居	周辺部 1	442	406	71	8	5	93	12	244	71	12	68	6	5
住		100.0	91. 9	16. 1	1.8	1.1	21.0	2.7	55. 2	16. 1	2. 7	15. 4	1.4	
地	中心部	1139	1072	199	32	12	265	31	553	190	28	182	13	13
区		100.0	94. 1	17.5	2.8	1.1	23. 3	2. 7	48.6	16. 7	2. 5	16.0	1. 1	1. 1
	周辺部 2	490	440	87	18	6	127	14	249	79	13	59	7	9
		100.0	89. 8	17.8	3. 7	1.2	25. 9	2.9	50.8	16. 1	2. 7	12.0	1.4	1.8
	わからない	14	11	2	0	0	2	1	2	1	2	1	1	1
		100.0	78. 6	14.3	0.0	0.0	14.3	7. 1	14. 3	7. 1	14. 3	7. 1	7. 1	7. 1

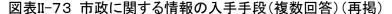
(2) 今後期待する情報入手手段 [問 16]

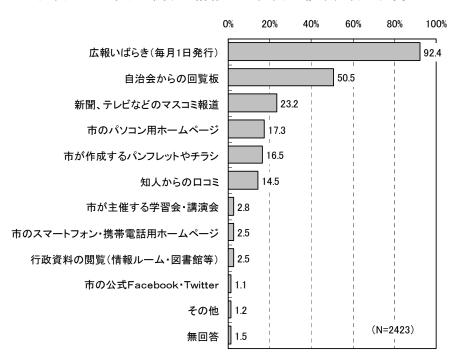
今後期待する情報の入手手段としては「広報いばらき (毎月1日発行)」が84.8%で最も多く、ついで「自治会からの回覧板」が44.1%、「市のパソコン用ホームページ」が27.2%となっている。

現状(下の図表)と比較すると、市が対応できる手段としては、「市のパソコン用ホームページ」や「市が作成するパンフレットやチラシ」の割合が高めになっている。



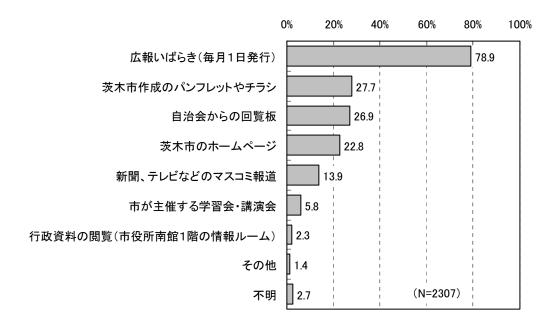
図表II-72 期待する情報入手手段(複数回答)





前回調査では、「自治会からの回覧板」が約3割であったが、今回調査では4割を超えている。

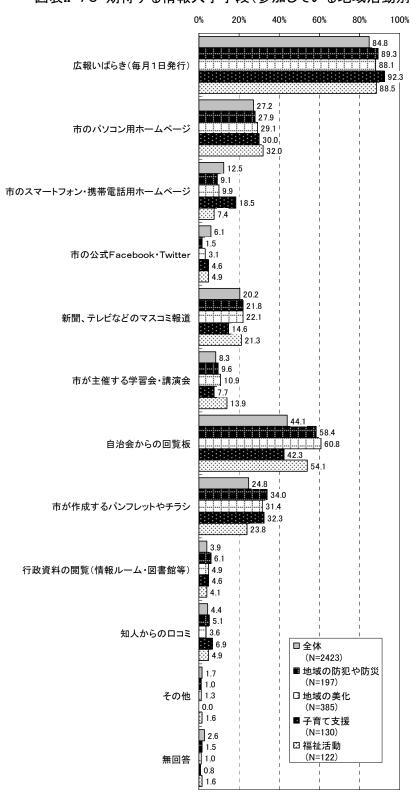
図表II-74 [参考:前回調査結果]今後充実してほしい情報提供手段(複数回答)



参加している地域活動別にみると、「地域の防犯や防災」と「地域の美化」、「福祉活動」では、「自治会からの回覧板」の割合が高くなっている。

また、子育て支援では、「市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ」の割合がや や高くなっている。

図表II-75 期待する情報入手手段(参加している地域活動別)



年齢別にみると、「市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ」「市の公式 Facebook・Twitter」の割合は年齢が低くなるにつれて高くなり、「自治会からの回覧板」の割合は年齢が高くなるにつれて高くなっている。

図表II-76 期待する情報入手手段(クロス集計)

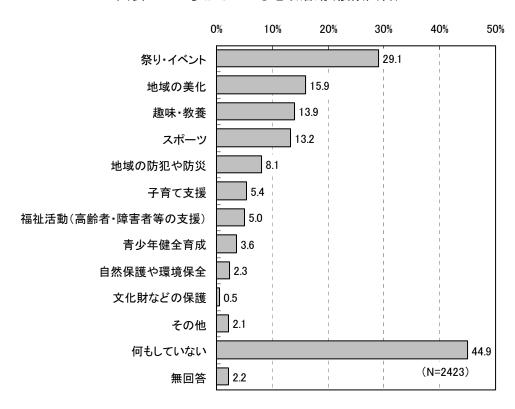
		調査数	発行) 発行 (毎月1	市のパソコン用ホーム	帯電話用ホームページ市のスマートフォン・2	k・T WiF a c e b o	コミ報道新聞、テレビなどのマ	演会市が主催する学習会・	自治会からの回覧板	トやチラシ市が作成するパンフレッ	ルーム・図書館等)行政資料の閲覧(情報	知人からの口コミ	その他	無回答
市	全体	2423	日 2054	660	携 304	o 147	ス 490	講 201	1068	601	95	107	41	62
		100.0	84.8	27. 2	12.5	6.1	20. 2	8.3	44. 1	24.8	3. 9	4.4	1.7	2.6
101	男性	1088	901	353	131	75	249	88	473	271	48	40	17	23
性	7 DI	100.0	82.8	32. 4	12.0	6.9	22. 9	8. 1	43. 5	24. 9	4. 4	3. 7	1.6	2. 1
万门	女性	1237	1067	275	162	69	226	106	551	308	46	63	22	35
-	20~29歳	100. 0 312	86. 3 224	22. 2 103	13. 1 81	5. 6 54	18. 3 65	8. 6 17	44. 5 66	24. 9 57	3. 7	5. 1 26	1.8	2.8
	20~29成	100. 0	71.8	33. 0	26. 0	17. 3		5. 4	21. 2	18.3	2. 2	8.3	2. 6	1.3
	30~39歳	379	321	116	89	38	61	23	107	83	11	17	2.0	7. 3
	30 - 3 9 mx	100.0	84. 7	30. 6	23. 5	10. 0	16. 1	6. 1	28. 2	21. 9	2. 9	4.5	1.8	1.8
	40~49歳	420	356	156	71	29	66	29	139	85	14	8	10	7
年	1 0 1 0 110	100. 0	84. 8	37. 1	16. 9	6.9	15. 7	6. 9	33. 1	20. 2	3. 3	1. 9	2. 4	1.7
齢	50~59歳	311	260	114	34	11	52	33	136	90	14	11	5	5
		100.0	83.6	36.7	10.9	3.5	16.7	10.6	43.7	28. 9	4. 5	3. 5	1.6	1.6
	60~69歳	430	391	98	17	8	87	49	258	130	25	20	3	9
		100.0	90.9	22.8	4.0	1.9	20. 2	11.4	60.0	30. 2	5.8	4. 7	0.7	2. 1
	70歳以上	516	453	53	6	5	152	49	336	145	23	24	7	27
		100.0	87.8	10. 3	1. 2	1.0	29. 5	9.5	65.1	28. 1	4. 5	4. 7	1.4	5.2
	10年未満	120	92	47	29	14	19	5	25	23	3	7	2	2
居	10~19年	100.0	76. 7	39. 2	24. 2	11. 7	15. 8	4. 2	20. 8	19. 2	2. 5	5.8	1.7	1. 7
住年	10~19年	369 100. 0	307 83. 2	118 32. 0	73 19. 8	39 10. 6	63 17. 1	5. 1	111 30. 1	64 17. 3	13 3. 5	15 4. 1	7 1. 9	5 1. 4
数	20年以上	1881	1606	474	19. 8	92	400	174	908	504	78	84	31	54
200	2 0 + & £	100.0	85. 4	25. 2	10.4	4. 9	21.3	9.3	48. 3	26.8	4.1	4.5	1.6	2. 9
	現在の場所に住み続けたい	1648	1447	404	158	90	365	141	846	427	66	60	19	39
	2011 · 30/2/(- L - 7 //2017 / C - 1	100.0	87. 8	24. 5	9. 6	5. 5	22. 1	8.6	51. 3	25. 9	4. 0	3. 6	1. 2	2. 4
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	201	68	41	13	42	22	73	55	8	15	6	4
	かもしれない	100.0	86.3	29. 2	17.6	5.6	18.0	9.4	31. 3	23.6	3.4	6.4	2.6	1.7
	いずれは市外に引っ越すかもし	216	159	96	50	27	36	14	49	44	9	11	6	5
	れない	100.0	73. 6	44. 4	23. 1	12.5	16.7	6.5	22. 7	20.4	4. 2	5. 1	2.8	2.3
问	すぐにでも市外に引っ越したい	14	11	3	3	1	2	0	4	2	0	1	1	_ 1
	1. 1. 8 4.5	100.0	78.6	21. 4	21.4	7. 1	14. 3	0.0	28. 6	14. 3	0.0	7. 1	7. 1	7. 1
	わからない	241 100. 0	172 71. 4	68 28. 2	44 18. 3	12 5. 0	34 14. 1	22 9. 1	64 26. 6	56 23. 2	11 4. 6	17 7. 1	6 2. 5	10 4. 1

		調査数	月1日発行) 広報いばらき (毎	ホームページ市のパソコン用	ホームページン・携帯電話用市のスマートフォ	t b 市の公式 e o 公式 · F T a w c i e	のマスコミ報道新聞、テレビなど	会・講演会市が主催する学習	板自治会からの回覧	フレットやチラシ市が作成するパン	書館等)(情報ルーム・図行政資料の閲覧	知人からの口コミ	その他	無回答
市	全体	2423	2054	660	304	147	490	201	1068	601	95	107	41	62
		100.0	84.8	27. 2	12.5	6. 1	20. 2	8.3		24.8	3.9	4.4	1.7	2.6
	山地部	29	25	4	1	0	5	2	15	12	1	2	0	2
		100.0	86. 2	13. 8	3.4	0.0	17. 2	6.9		41.4		6.9		
	丘陵部	239	210	71	25	17	45	11	118	63	10	8	5	6
		100.0	87. 9	29. 7	10.5	7.1	18.8	4.6	49. 4	26.4		3. 3	2. 1	2. 5
居	周辺部 1	442	372	112	52	25	73	41	209	103		24	11	7
住		100.0	84. 2	25. 3	11.8	5. 7	16. 5	9.3		23.3		5. 4		
	中心部	1139	975	304	156	78	241	99	485	281	49	51	16	26
区		100.0	85.6	26.7	13.7	6.8	21.2	8.7		24.7	4.3	4.5	1.4	2.3
	周辺部 2	490	403	144	62	25	114	45	211	127	19	19	6	15
		100.0	82.2	29.4	12.7	5. 1	23. 3	9.2	43.1	25.9	3.9	3.9	1.2	3. 1
	わからない	14	10	3	1	0	1	2	1	1	0	1	1	1
1		100.0	71.4	21.4	7.1	0.0	7. 1	14.3	7. 1	7. 1	0.0	7.1	7.1	7. 1

6. 地域活動への参加状況について

(1) 参加している地域活動[問 17]

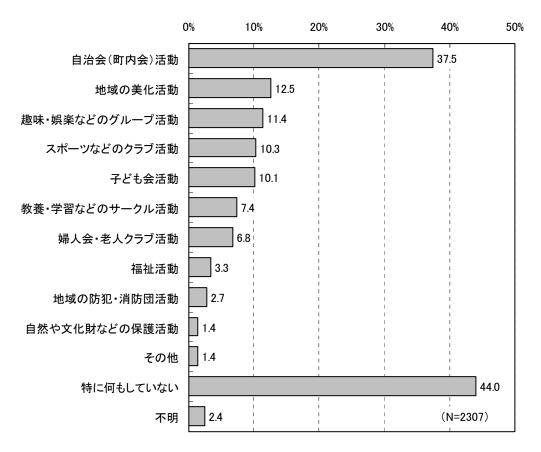
地域活動への参加状況については「何もしていない」が 44.9%で最も多い。 参加している地域活動については、「祭り・イベント」が 29.1%で最も多く、ついで 「地域の美化」が 15.9%、「趣味・教養」が 13.9%、「スポーツ」が 13.2%となっている。



図表II-77 参加している地域活動(複数回答)

前回調査においても、「特に何もしていない」の割合が高く、今回調査同様、約4割であった。

図表II-78 [参考:前回調査結果]参加している地域活動(複数回答)



年齢別にみると、「何もしていない」は年齢が低くなるにつれて割合が高くなっている。また、「趣味・教養」「地域の美化」「福祉活動(高齢者・障害者等の支援)」は年齢が高くなるにつれて割合が高くなっており、「子育て支援」は30歳代の割合が高い。いずれの年代でも参加している割合が高いのは、「祭り・イベント」である。

図表II-79 参加している地域活動(クロス集計)

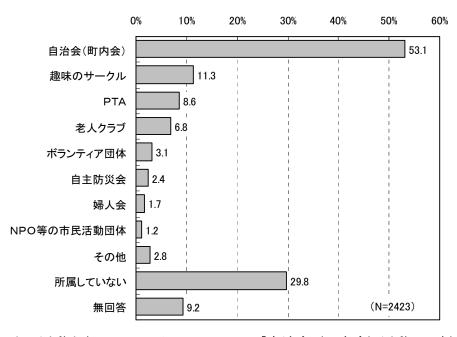
		調査数	趣味・教養	スポーツ	自然保護や環境保全	文化財などの保護	地域の防犯や防災	地域の美化	子育て支援	害者等の支援)福祉活動(高齢者・障	青少年健全育成	祭り・イベント	その他	何もしていない	無回答
市	全体	2423 100, 0	337 13. 9	320 13. 2	56 2. 3	13 0, 5	197 8. 1	385 15. 9	130 5. 4	122 5, 0	87 3. 6	706 29. 1	50 2. 1	1088 44. 9	53 2, 2
	男性	100.0	110	175	34	11	115	172	37	45	47	308	2. 1	502	21
性		100.0	10.1	16. 1	3. 1	1.0	10.6	15.8	3. 4	4. 1	4.3	28. 3	1.8	46. 1	1. 9
別	女性	1237	211	131	17	2	72	198	90	69	35	371	26	543	28
_		100.0	17. 1	10.6	1.4	0.2	5.8	16.0	7. 3	5. 6	2.8	30.0	2. 1	43. 9	2. 3
	20~29歳	312	24	30	2	0. 3	7	16	10	4	5	75	3	192	2
	30~39歳	100. 0 379	7.7	9. 6 43	0.6	0.3	2. 2	5. 1 48	3. 2 57	1. 3	1.6	24. 0 128	1.0	61. 5 187	0.6
	30 - 3 9 mx	100.0	9. 0	11. 3	1. 1	0.3	4.5	12. 7	15. 0	2. 6	1. 3	33. 8	0. 5	49. 3	0. 5
	40~49歳	420	35	62	8	1	31	68	25	12	28	139	8	194	5
年		100.0	8.3	14.8	1. 9	0. 2	7. 4	16. 2	6. 0	2. 9	6. 7	33. 1	1. 9	46. 2	1. 2
齢	50~59歳	311	25	40	4	0	27	54	9	12	16	85	12	142	1
		100.0	8.0	12.9	1.3	0.0	8.7	17.4	2. 9	3.9	5. 1	27.3	3.9	45.7	0.3
	60~69歳	430	89	59	13	2	53	80	14	28	12	144	7	167	7
	= a 18 or 1	100.0	20.7	13. 7	3. 0	0. 5	12.3	18. 6	3. 3	6.5	2.8	33. 5	1.6	38. 8	1.6
	70歳以上	516 100. 0	121	75	23	8	57	110	11 2. 1	50 9. 7	17 3. 3	118	15	184	34
\vdash	10年未満	120	23. 4	14. 5 8	4. 5 1	1.6	11.0	21.3	2. 1	9. 7	3. 3 0	22. 9 35	2.9	35. 7 68	6.6
居	10千木個	100. 0	8.3	6.7	0.8	0.0	1.7	8. 3	11. 7	1.7	0. 0	29. 2	0.8	56. 7	0. 0
住	10~19年	369	32	47	3	2	21	46	40	4	16	129	6	173	3
年		100.0	8. 7	12.7	0.8	0.5	5. 7	12.5	10.8	1. 1	4. 3	35. 0	1.6	46. 9	0.8
数	20年以上	1881	286	255	50	10	170	320	72	110	67	525	41	824	49
		100.0	15. 2	13.6	2. 7	0.5	9.0	17.0	3.8	5.8	3.6	27.9	2. 2	43.8	2.6
	現在の場所に住み続けたい	1648	258	234	41	11	164	301	81	95	59	515	34	677	37
	# 1. + 4 - 4 11 0 12 7 3 11 44 5	100.0	15. 7	14. 2	2. 5	0.7	10.0	18. 3	4. 9	5.8	3.6	31. 3	2. 1	41. 1	2. 2
E	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	19	26	7	2	12	34	25	11	14	73	3	109	1 2
住	かもしれない いずれは市外に引っ越すかもし	100. 0 216	8. 2 23	11. 2 27	3. 0	0.9	5. 2 8	14. 6 18	10. 7 10	4. 7	6.0	31. 3 49	1. 3	46. 8 125	1. 3
	れない	100.0	10.6	12. 5	0. 9	0.0	3. 7	8. 3	4.6	2. 3	2. 3	22. 7	1.4	57. 9	1. 9
	すぐにでも市外に引っ越したい	14	10.0	0	1	0.0	2	0. 0	0	0	2. 3	22.1	0	8	2.
1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	100.0	7. 1	0. 0	7. 1	0. 0	14. 3	0.0	0. 0	0.0	7. 1	14. 3	0. 0	57. 1	14. 3
1	わからない	241	26	22	3	0	7	22	10	5	4	45	7	138	3
		100.0	10.8	9.1	1.2	0.0	2.9	9.1	4. 1	2. 1	1.7	18.7	2.9	57.3	1.2

		調査数	趣味・教養	スポーツ	保全保護や環境	護文化財などの保	災地域の防犯や防	地域の美化	子育て支援	支援) 者・障害者等の 福祉活動(高齢	青少年健全育成	祭り・イベント	その他	何もしていない	無回答
市	全体	2423	337	320	56	13	197	385	130	122	87	706	50	1088	53
		100.0	13.9	13.2	2. 3	0.5	8.1	15.9	5.4	5.0	3.6	29. 1	2. 1	44.9	2.2
	山地部	29	6	2	3	0	3	8	1	4	2	14	0	5	2
		100.0	20.7	6.9	10.3	0.0	10.3	27.6	3.4	13.8	6.9	48.3	0.0	17. 2	6.9
	丘陵部	239	41	31	7	4	17	45	13	1	6	73	10	95	3
		100.0	17.2	13.0	2. 9	1.7	7. 1	18.8	5. 4	6. 7	2.5	30.5	4. 2	39. 7	1.3
	周辺部 1	442	60	62	12	5	46	65	19	1	18	128	7	199	10
住		100.0	13.6	14.0	2. 7	1. 1	10.4	14.7	4.3	4.8	4. 1	29.0	1.6	45.0	2.3
	中心部	1139	156	147	20	1	86	177	65	50	42	331	18	522	22
区		100.0	13.7	12.9	1.8	0.1	7.6	15.5	5. 7	4.4	3.7	29. 1	1.6	45.8	1.9
I	周辺部 2	490	64	66	12	3	38	80	28	24	15	139	13	226	11
I		100.0	13.1	13.5	2. 4	0.6	7.8	16.3	5. 7	4. 9	3. 1	28.4	2.7	46. 1	2.2
I	わからない	14	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	2
I		100.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3

(2) 所属している団体 [問 18]

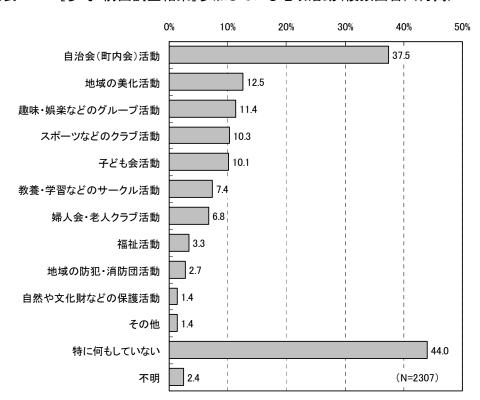
地域で所属している団体は「自治会 (町内会)」が 53.1%で最も多く、ついで「趣味のサークル」が 11.3%となっている。

一方で、「所属していない」とする回答者も約3割にのぼる。



図表II-80 所属団体(複数回答)

前回調査でも、活動を行っている人については、「自治会(町内会)活動」の割合が最も高くなっている。



図表II-81 [参考:前回調査結果]参加している地域活動(複数回答)(再掲)

年齢別にみると、「所属していない」は年齢が低くなるにつれて割合が高くなっている。 30歳代~40歳代では「PTA」が、市全体よりも高くなっている。また、「自治会(町内会)」は、30歳代まででは市全体より割合が低くなっている一方で、60歳代以上では市全体よりも高くなっている。

図表II-82 所属団体(クロス集計)

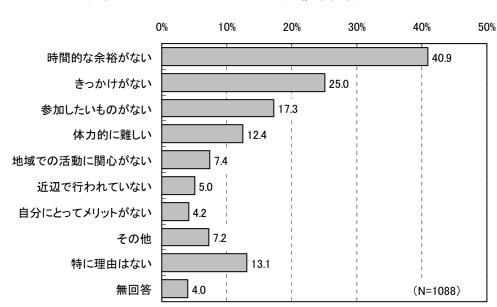
			, ,		, -, ·				fee				1
		調査数	自治会 (町内会)	老人クラブ	婦人会	P T A	ボランティ ア団:	団体 〇等の市民	趣味のサークル	自主防災会	その他	所属していない	無回答
市	全体	2423	1286	165	40	209	体 76	活 動 28	273	58	69	723	222
.,,-		100. 0	53. 1	6.8	1. 7	8. 6	3. 1	1. 2	11. 3	2. 4	2. 8	29. 8	9. 2
	男性	1088	549	68	2	59	32	14	97	41	37	361	90
性	, i = 1	100.0	50. 5	6. 3	0. 2	5. 4	2. 9	1. 3	8. 9	3. 8	3. 4	33. 2	8. 3
	女性	1237	690	86	33	142	36	12	161	12	29	338	120
		100.0	55.8	7.0	2.7	11.5	2. 9	1.0	13.0	1.0	2. 3	27. 3	9.7
	20~29歳	312	47	0	0	4	5	2	12	0	5	193	53
		100.0	15. 1	0.0	0.0	1.3	1.6	0.6	3.8	0.0	1.6	61.9	17.0
	30~39歳	379	140	0	0	81	4	6	19	1	9	148	50
		100.0	36. 9	0.0	0.0	21. 4	1.1	1.6	5.0	0.3	2.4	39. 1	13.2
	40~49歳	420	227	0	4	105	6	3	29	4	14	119	41
年		100.0	54.0	0.0	1.0	25. 0	1.4	0.7	6.9	1.0	3.3	28. 3	9.8
齢	50~59歳	311	187	0	7	10	10	1	27	8	14	84	23
		100.0	60. 1	0.0	2. 3	3.2	3. 2	0.3	8. 7	2. 6	4.5	27.0	7.4
	60~69歳	430	305	31	14	2	21	7	77	16	8	84	17
	The same of	100.0	70.9	7. 2	3. 3	0.5	4. 9	1.6	17. 9	3. 7	1.9	19. 5	4.0
	70歳以上	516	352	129	11	0	23	7	101	26	17	82	32
	e E I VIII	100.0	68. 2	25. 0	2. 1	0.0	4.5	1.4	19.6	5.0	3.3	15. 9	6. 2
	10年未満	120	36	2	0	17	1	0	7	0	1	57	18
居	10 105	100.0	30.0	1. 7	0.0	14. 2	0.8	0.0	5.8	0.0	0.8	47.5	15.0
住年	10~19年	369	158 42. 8	0	0.2	98	4	3	18	2	14	123	46
数	20年以上	100. 0 1881	1066	0. 0 157	0. 3 35	26. 6	1. 1 63	0.8	4. 9 239	0. 5 53	3. 8 53	33. 3 529	12. 5 154
双人	20年以上	100. 0	56. 7	8. 3	1. 9	4. 7	3. 3	1. 2	12. 7	2.8	2.8	28. 1	8. 2
	現在の場所に住み続けたい	1648	1007	148	30	137	62	22	215	48	46	391	124
	がエック物がに圧が形でしてい	1048	61. 1	9. 0	1. 8	8. 3	3.8	1.3	13. 0	2. 9	2.8	23. 7	7.5
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	103	3. 0	1.0	34	4	1. 3	17	4	13	93	17
居	かもしれない	100. 0	44. 2	1. 7	0. 4	14. 6	1.7	0.4	7. 3	1.7	5.6	39. 9	7. 3
	いずれは市外に引っ越すかもし	216	57	3	0	14	2	1	18	2	4	101	36
	れない	100.0	26. 4	1. 4	0.0	6.5	0.9	0.5	8. 3	0.9	1. 9	46. 8	16.7
	すぐにでも市外に引っ越したい	14	2	0	0	1	0	0	1	0	0	7	3
		100.0	14. 3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7. 1	0.0	0.0	50.0	21.4
	わからない	241	85	5	4	17	1	2	14	1	3	110	32
		100.0	35. 3	2. 1	1.7	7.1	0.4	0.8	5.8	0.4	1.2	45.6	13.3

		調査数	会) 自治会(町内	老人クラブ	婦人会	P T A	体ランティア団	IN P O 等の市民	趣味のサークル	自主防災会	その他	所属していない	無回答
市	全体	2423	1286	165	40	209	76	28	273	58	69	723	222
		100.0	53. 1	6.8	1.7	8.6	3. 1	1.2	11.3	2.4	2.8	29.8	9. 2
	山地部	29	20	14	4	0	3	0	4	3	2	1	1
		100.0	69.0	48.3	13.8	0.0	10.3	0.0	13.8	10.3	6.9	3.4	3.4
	丘陵部	239	142	30	8	11	15	1	35	4	9	64	14
		100.0	59. 4	12.6	3. 3	4. 6	6. 3	0.4	14. 6	1. 7	3.8	26.8	5. 9
居	周辺部 1	442	246	16	4	35	12	7	57	13	11	126	39
住		100.0	55. 7	3. 6	0.9	7. 9	2. 7	1.6	12. 9	2. 9	2. 5	28. 5	8.8
地	中心部	1139	594	69	14	108	25	11	118	27	30	351	109
区		100.0	52. 2	6. 1	1.2	9. 5	2. 2	1.0	10.4	2. 4	2.6	30.8	9.6
	周辺部 2	490	250	29	5	49	14	6	50	8	16	148	51
		100.0	51.0	5.9	1.0	10.0	2. 9	1.2	10.2	1.6	3. 3	30. 2	10.4
	わからない	14	0	0	0	0	0	1	0	0	0	12	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	85.7	7.1

(3) 地域活動を何もしていない理由 [問 19]

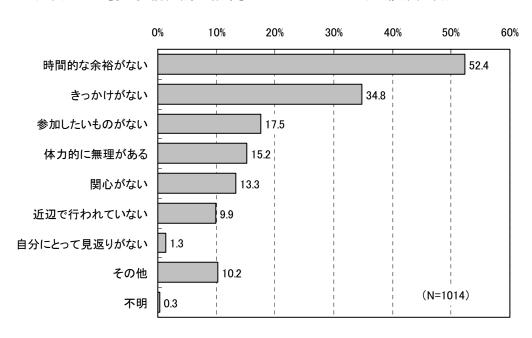
地域活動を何もしていない理由は「時間的な余裕がない」が 40.9% で最も多く、ついで「きっかけがない」が 25.0%、「参加したいものがない」が 17.3% となっている。

一方、「地域での活動に関心がない」や「自分にとってメリットがない」とする回答者 はそれぞれ1割に満たない。



図表II-83 なにもしていない理由(複数回答)

前回調査でも、項目の順位はほぼ同様だが、「関心がない」の割合は今回調査のほうが 低くなっている。



図表II-84 [参考:前回調査結果]なにもしていない理由(複数回答)

年齢別にみると、20歳代~50歳代では「時間的な余裕がない」の割合が高く、70歳以上では「体力的に難しい」の割合が高くなっている。

図表II-85 なにもしていない理由(クロス集計)

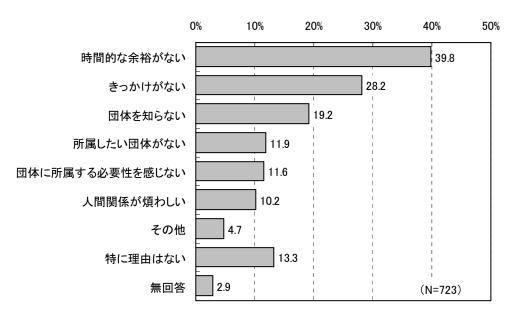
		調査数	時間的な余裕がない	近辺で行われていない	きっかけがない	参加したいものがない	体力的に難しい	ない地域での活動に関心が	がない 自分にとってメリット	その他	特に理由はない	無回答
市生	全体	1088 100. 0	445 40. 9	54 5. 0	272 25. 0	188 17. 3	135 12. 4	80 7. 4	46 4. 2	78 7. 2	143 13. 1	44 4. 0
	男性	502	202	19	140	79	63	33	19	32	56	25
性		100.0	40.2	3.8	27.9	15.7	12.5	6.6	3.8	6. 4	11.2	5.0
別	女性	543	226	35	127	100	61	45	25	43	83	17
_	0.0 0.4	100.0	41.6	6.4	23.4	18. 4	11. 2	8.3	4.6	7. 9	15. 3	3. 1
	20~29歳	192 100. 0	97 50. 5	14 7. 3	66 34. 4	33 17. 2	3 1. 6	21 10. 9	14 7. 3	8 4. 2	20 10. 4	6 3. 1
	30~39歳	187	89	7. 3	52	29	4	10. 9	6	19	26	10
	0 0 0 0 1/100	100. 0	47. 6	3. 7	27.8	15. 5	2. 1	7. 5	3. 2	10. 2	13. 9	5. 3
	40~49歳	194	102	5	46	45	12	21	12	9	24	2
年		100.0	52.6	2.6	23.7	23. 2	6. 2	10.8	6.2	4.6	12.4	1.0
齢	50~59歳	142	77	5	38	25	8	5	3	7	16	10
	60 60#	100.0	54. 2	3.5	26.8	17. 6 27	5. 6 29	3.5	2. 1	4. 9	11. 3	7. 0
	60~69歳	167 100. 0	51 30. 5	11 6. 6	40 24. 0	16. 2	29 17. 4	7 4. 2	3 1. 8	13 7. 8	26 15. 6	5 3. 0
	70歳以上	184	18	12	24. 0	24	74	11	6	22	30	11
	1 0 //5/2/	100. 0	9.8	6.5	14. 1	13. 0	40. 2	6.0	3. 3	12. 0	16.3	6. 0
	10年未満	68	35	2	28	11	0	8	2	3	4	5
居		100.0	51.5	2. 9	41.2	16. 2	0.0	11.8	2. 9	4. 4	5. 9	7.4
住	10~19年	173	87	9	62	32	6	13	7	10	18	2
年数	20年以上	100. 0	50.3	5. 2	35. 8	18.5	3. 5	7. 5 57	4. 0 35	5. 8 65	10.4	1. 2
奴	20年以上	824 100. 0	312 37. 9	43 5. 2	177 21. 5	140 17. 0	125 15. 2	6.9	4. 2	7.9	120 14. 6	4.5
-	現在の場所に住み続けたい	677	252	34	160	111	10.2	41	20	50	94	29
	Sullivo William Control Contro	100. 0	37. 2	5. 0	23. 6	16. 4	15. 8	6. 1	3. 0	7.4	13. 9	4. 3
	茨木市内で別の場所に引っ越す	109	59	5	37	20	7	6	5	12	12	3
	かもしれない	100.0	54. 1	4.6	33. 9	18.3	6.4	5.5	4.6	11.0	11.0	2.8
		125	67	5	35	19	7	12	9	7	15	2
意向	れない すぐにでも市外に引っ越したい	100. 0	53. 6	4. 0	28.0	15. 2 2	5. 6 0	9.6	7.2	5. 6 0	12.0	1.6
l lei	y	100. 0	37. 5	25. 0	12. 5	25. 0	0.0	25. 0	12. 5	0.0	12. 5	12. 5
1	わからない	138	51	8	33	29	8	18	9	8	17	9
L		100.0	37. 0	5. 8	23. 9	21.0	5.8	13. 0	6. 5	5.8	12. 3	6. 5

		調査数	ない時間的な余裕が	いないで行われて	きっかけがない	がないといもの	体力的に難しい	関心がない動に	リットがない自分にとってメ	そ の 他	特に理由はない	無回答
市生	全体	1088	445	54	272	188	135	80	46	78	143	44
		100.0	40.9	5.0	25.0	17.3	12.4	7.4	4.2	7.2	13. 1	4.0
	山地部	5	1	1	0	0	2	0	0	1	1	1
		100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
	丘陵部	95	41	8	25	19	9	8	3	6	7	5
		100.0	43.2	8.4	26.3	20.0	9.5	8.4	3.2	6.3	7.4	5. 3
居	周辺部 1	199	85	11	55	33	25	16	8	9	27	8
住		100.0	42.7	5. 5	27.6	16.6	12.6	8.0	4.0	4.5	13.6	4.0
地	中心部	522	211	20	130	89	66	39	22	47	76	16
区		100.0	40.4	3.8	24. 9	17.0	12.6	7.5	4.2	9.0	14. 6	3. 1
I	周辺部 2	226	92	14	55	39	26	15	10	15	25	11
I		100.0	40.7	6.2	24. 3	17.3	11.5	6.6	4.4	6.6	11. 1	4. 9
I	わからない	10	3	0	3	2	0	0	1	0	3	2
I		100.0	30.0	0.0	30.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	20.0

(4) 地域で団体に所属していない理由 [問 20]

地域で団体に所属していない理由は、「何もしていない理由」と同様、「時間的な余裕がない」が39.8%で最も多く、ついで「きっかけがない」が28.2%となっている。 また、「団体を知らない」も19.2%となっている。

図表II-86 所属していない理由(複数回答)



年齢別にみると、「何もしていない理由」と同様、20歳代~50歳代で「時間的な余裕がない」の割合が高くなっている。

図表II-87 所属していない理由(クロス集計)

		調査数	時間的な余裕がない	団体を知らない	所属したい団体がない	きっかけがない	人間関係が煩わしい	を感じない団体に所属する必要性	その他	特に理由はない	無回答
市金	全体	723 100. 0	288 39. 8	139 19. 2	86 11. 9	204 28. 2	74 10. 2	84 11. 6	34 4. 7	96 13. 3	21 2. 9
	男性	361	151	63	46	106	36	44	15	43	2. 9 8
性	が は	100. 0	41. 8	17. 5	12. 7	29. 4	10. 0	12. 2	4. 2	11. 9	2. 2
	女性	338	127	76	39	92	36	37	16	51	12
		100.0	37.6	22.5	11.5	27. 2	10.7	10.9	4.7	15. 1	3.6
	20~29歳	193	83	44	31	50	19	19	6	32	3
		100.0	43.0	22.8	16. 1	25. 9	9.8	9.8	3. 1	16.6	1.6
	30~39歳	148	61	41	12	44	7	13	6	20	5
	10 10 15	100.0	41. 2	27. 7	8. 1	29. 7	4. 7	8.8	4. 1	13. 5	3. 4
<i>_</i>	40~49歳	119	61	24	13	29	21	17	3	12	0
年齢	50~59歳	100. 0 84	51. 3	20. 2	10. 9	24. 4	17. 6 9	14. 3	2. 5	10. 1	0.0
印图	50~59成	100. 0	52. 4	11. 9	10. 7	29. 8	10. 7	6. 0	4.8	13. 1	1. 2
	60~69歳	84	27	13	7	27	7	14	5	9	3
	0 0 0 0 11/2	100. 0	32. 1	15. 5	8. 3	32. 1	8.3	16. 7	6. 0	10.7	3. 6
	70歳以上	82	5	7	14	26	10	14	10	11	9
		100.0	6. 1	8. 5	17. 1	31.7	12.2	17. 1	12.2	13.4	11.0
	10年未満	57	24	21	7	22	5	5	2	2	2
居		100.0	42.1	36.8	12.3	38. 6	8.8	8.8	3.5	3.5	3. 5
住	10~19年	123	55	27	14	40	9	12	3	18	0
年	o o Fry I	100.0	44. 7	22. 0	11. 4	32. 5	7. 3	9.8	2.4	14. 6	0.0
数	20年以上	529	201	91	65	139	59	64	29	75	19
-	現在の場所に住み続けたい	100. 0 391	38. 0 152	17. 2 65	12. 3 39	26. 3 103	11. 2 37	12. 1 46	5. 5 23	14. 2 54	3. 6 18
	発生の場所に生みがりたい	100. 0	38. 9	16. 6	10. 0	26. 3	9. 5	11.8	5. 9	13. 8	4. 6
	茨木市内で別の場所に引っ越す	93	45	30	16.0	31	9. 3	6	3. 9	13. 6	4.0
居	かもしれない	100. 0	48. 4	32. 3	17. 2	33. 3	8.6	6. 5	1. 1	9. 7	1. 1
	いずれは市外に引っ越すかもし	101	37	20	11	29	15	13	6	14	1
1.	れない	100.0	36.6	19.8	10. 9	28. 7	14. 9	12. 9	5. 9	13. 9	1.0
向	すぐにでも市外に引っ越したい	7	3	3	3	2	1	0	1	0	0
		100.0	42.9	42.9	42.9	28.6	14. 3	0.0	14. 3	0.0	0.0
	わからない	110	40	20	16	34	12	16	3	17	1
		100.0	36.4	18. 2	14. 5	30. 9	10.9	14. 5	2.7	15. 5	0.9

		調査数	ない時間的な余裕が	団体を知らない	がない がない 団体	きっかけがない	しい人間関係が煩わ	い要性を感じな団体に所属する	その他	特に理由はない	無回答
市金	全体	723	288	139	86	204	74	84	34	96	21
-	山地部	100.0	39.8	19. 2	11. 9	28. 2	10. 2	11. 6	4. 7	13. 3	2. 9
	山地市	100. 0	0.0	0. 0	0.0	0. 0	0.0	0. 0	0.0	0.0	100. 0
	丘陵部	64	32	12	10	9	4	6	3	7	2
	工 反即	100.0	50.0	18.8	15. 6	14. 1	6.3	9. 4	4. 7	10. 9	3. 1
居	周辺部 1	126	52	24	16	36	17	11	8	13	2
住	,	100.0	41.3	19.0	12.7	28. 6	13. 5	8.7	6.3	10.3	1.6
地	中心部	351	129	69	41	109	34	49	17	51	11
区		100.0	36.8	19.7	11.7	31. 1	9.7	14.0	4.8	14.5	3. 1
	周辺部 2	148	65	29	17	39	14	13	5	23	3
		100.0	43.9	19.6	11.5	26. 4	9. 5	8.8	3.4	15. 5	2.0
	わからない	12	1	4	1	5	3	2	0	0	2
		100.0	8.3	33. 3	8.3	41.7	25.0	16. 7	0.0	0.0	16. 7

7. 主要な政策分野ごとの取り組みについて

(1) 防災に関する取り組み [問 21]

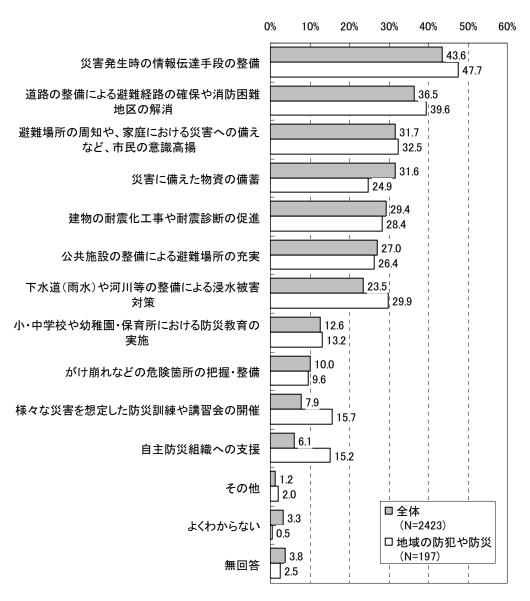
最も重要だと思う防災に関する取り組みは「災害発生時の情報伝達手段の整備」が43.6%で最も多く、ついで「道路の整備による避難経路の確保や消防困難地区の解消」が36.5%、「避難場所の周知や、家庭における災害への備えなど、市民の意識高揚」が31.7%、「災害に備えた物資の備蓄」が31.6%となっている。

0% 20% 40% 60% 43.6 災害発生時の情報伝達手段の整備 道路の整備による避難経路の確保や消防困難 36.5 地区の解消 避難場所の周知や、家庭における災害への備 31.7 えなど、市民の意識高揚 災害に備えた物資の備蓄 31.6 建物の耐震化工事や耐震診断の促進 29.4 27.0 公共施設の整備による避難場所の充実 下水道(雨水)や河川等の整備による浸水被害 23.5 対策 小・中学校や幼稚園・保育所における防災教育 12.6 の実施 10.0 がけ崩れなどの危険箇所の把握・整備 様々な災害を想定した防災訓練や講習会の 7.9 開催 6.1 自主防災組織への支援 その他 1.2 よくわからない 3.3 (N=2423)3.8 無回答

図表II-88 最も重要だと思う防災に関する取り組み(複数回答)

地域で「地域の防犯や防災」に関する活動に参加している回答者の回答をみると、「様々な災害を想定した防災訓練や講習会の開催」と「自主防災組織への支援」の割合が全体を大きく上回っている。

図表II-89 最も重要だと思う防災に関する取り組み(参加している地域活動別)



「小・中学校や幼稚園・保育所における防災教育の実施」の割合は、年齢別にみると、30歳代で高くなっており、同居家族別でみると、就学前と小学生の子どもと同居する回答者で高くなっている。

居住地区別にみると、山地部で「がけ崩れなどの危険箇所の把握・整備」の割合が高くなっている。

図表II-90 最も重要だと思う防災に関する取り組み(クロス集計)

男性		調查数	の解消路の確保や消防困難地区道路の整備による避難経	診断の促進建物の耐震化工事や耐震	策の整備による浸水被害対下水道(雨水)や河川等	の把握・整備がけ崩れなどの危険箇所	段の整備災害発生時の情報伝達手	災害に備えた物資の備蓄	難場所の充実公共施設の整備による避	災訓練や講習会の開催様々な災害を想定した防	実施育所における防災教育の小・中学校や幼稚園・保	ど、市民の意識高揚における災害への備えな避難場所の周知や、家庭	自主防災組織への支援	その他	よくわからない	無回答
野性	市全体															91 3. 8
数性	男性															49
2 0~2 9歳 312 116 116 54 39 118 127 91 19 37 109 18 2 10 100 0 37.2 37.2 17.3 12.5 37.8 40.7 29.2 6.1 11.9 34.9 5.8 0.6 3.2 1 3 0~3 9歳 379 129 131 80 36 169 142 83 21 87 120 13 6 10 10 0 34.0 34.6 21.1 9.5 44.6 37.5 21.9 5.5 23.0 31.7 3.4 1.6 2.6 2 1 10 0 34.0 34.0 34.6 21.1 9.5 44.6 37.5 21.9 5.5 23.0 31.7 3.4 1.6 2.6 2 1 10 0 34.0 34.6 21.1 9.5 44.6 35.5 26.4 8.3 12.6 32.1 6.0 0.5 1.7 2 10 11.4 46.4 35.5 26.4 8.3 12.6 32.1 6.0 0.5 1.7 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			38.5		24. 1	9. 2	42.6	30. 1	25. 7		13. 1	32. 4	7.6		2.8	4. 5
2 0 ~ 2 9歳 312 116 116 54 39 118 127 91 19 37 109 18 2 10 3 0 ~ 3 9歳 379 129 131 80 36 169 142 83 21 87 120 13 6 10 4 0 ~ 4 9歳 420 153 125 109 48 195 149 111 35 53 13.5 25 27 4 0 ~ 4 9歳 420 153 125 109 48 195 149 111 35 56 33 13.5 100 34.6 21.1 9.5 26.4 8.3 12.6 32.1 6.0 0.5 1.7 2 6 0 ~ 6 9歳 311 117 85 76 36 146 90 88 32 31 87 27 13 40 172 100 118 50 187 97 31 44	別 女性	1237				136	554				156	385	58	13		37
30~39歳 379 129 131 80 36 169 142 83 21 87 120 13 6 10 10 140 40 49歳 40~49歳 420 153 125 109 48 195 146 37.5 21.9 5.5 28.0 31.7 3.4 1.6 2.6 2 1 100.0 36.4 29.8 26.0 11.4 46.3 35.5 26.4 8.3 12.6 32.1 6.0 0.5 1.7 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 15															3.0
## 130 ~3 9歳	20~29歳													-		6
## 100.0 34.0 34.6 21.1 9.5 44.6 37.5 21.9 5.5 23.0 31.7 3.4 1.6 2.6 2 4 0 ~ 4 9歳 420 153 125 109 48 195 149 111 35 53 135 25 2 7 7 8	20.20%															1. 9
年	30~39麻													-		8 2. 1
年	4.0~4.9 告															11
齢 5 0~5 9歳 311 117 85 76 36 146 90 88 32 31 87 27 5 13 1 6 0~6 9歳 430 172 100 118 50 187 97 131 47 45 144 31 5 9 7 0歳以上 100.0 40.0 23.3 27.4 11.6 43.5 22.6 30.5 10.9 10.5 33.5 7.2 1.2 2.1 4 7 0歳以上 100.0 34.3 26.9 23.6 5.8 43.0 25.8 26.6 6.4 8.9 30.8 6.0 1.6 5.6 7 敷学前の家族 235 87 82 47 26 97 77 57 19 74 73 11 2 3 水学生の家族 292 91 96 54 30 136 92 84 22 75 86 16 1 9 <td></td> <td>_</td> <td>- 1</td> <td>2. 6</td>														_	- 1	2. 6
60 ~ 69歳 100.0 37.6 27.3 24.4 11.6 46.9 28.9 28.3 10.3 10.0 28.0 8.7 1.6 4.2 1 60 ~ 69歳 430 172 100 118 50 187 97 131 47 45 144 31 5 9 7 7 7 7 7 7 7 7 7																6
60~69歳 430	J. 0 0 0 0 mg													-		1. 9
7 0歳以上 516 177 139 122 30 222 133 137 33 46 159 31 8 29 100.0 34.3 26.9 23.6 5.8 43.0 25.8 26.6 6.4 8.9 30.8 6.0 1.6 5.6 7 ま学前の家族 235 87 82 47 26 97 77 57 19 74 73 11 2 3 100.0 37.0 34.9 20.0 11.1 41.3 32.8 24.3 8.1 31.5 31.1 4.7 0.9 1.3 1 月の学生の家族 292 91 96 54 30 136 92 84 22 75 86 16 1 9 8	60~69歳															17
7 0歳以上 516 177 139 122 30 222 133 137 33 46 159 31 8 29 100.0 34.3 26.9 23.6 5.8 43.0 25.8 26.6 6.4 8.9 30.8 6.0 1.6 5.6 7 第学前の家族 235 87 82 47 26 97 77 57 19 74 73 11 2 3 100.0 37.0 34.9 20.0 11.1 41.3 32.8 24.3 8.1 31.5 31.1 4.7 0.9 1.3 1 月 学生の家族 292 91 96 54 30 136 92 84 22 75 86 16 1 9 8		100.0	40.0	23.3	27.4	11.6	43. 5	22.6	30. 5	10.9	10.5	33. 5	7.2	1.2	2. 1	4.0
就学前の家族	70歳以上	516	177	139	122	30	222		137	33	46	159	31		29	40
100.0 37.0 34.9 20.0 11.1 41.3 32.8 24.3 8.1 31.5 31.1 4.7 0.9 1.3 1 1 1 1 1 1 1 1 1		100.0	34. 3	26.9	23.6	5.8	43.0	25.8	26.6	6.4	8.9	30.8	6.0	1.6	5.6	7.8
同学生の家族	就学前の家族					26						73				3
居中学生の家族 191 80 50 46 16 82 63 60 12 32 58 7 0 5 5																1.3
家中学生の家族 191 80 50 46 16 82 63 60 12 32 58 7 0 5 6 5 100.0 41.9 26.2 24.1 8.4 42.9 33.0 31.4 6.3 16.8 30.4 3.7 0.0 2.6 5 6 5 歳以上の家族 913 346 254 228 90 399 272 239 75 94 317 60 11 33 100.0 37.9 27.8 25.0 9.9 43.7 29.8 26.2 8.2 10.3 34.7 6.6 1.2 3.6 3 B 100.0 37.5 25.0 21.7 14.2 40.0 30.0 25.8 10.8 24.2 34.2 2.5 2.5 2.5 2.1 14.2 40.0 30.0 25.8 10.8 24.2 34.2 2.5 2.5 4.2 1 E 100.0 37.5 25.0 21.7 14.2 40.0 30.0 25.8 10.8 24.2 34.2 2.5 2.5 2.5 4.2 1 E 100.0 35.2 31.4 19.5 11.4														_	- 1	11
族 100.0 41.9 26.2 24.1 8.4 42.9 33.0 31.4 6.3 16.8 30.4 3.7 0.0 2.6 5 6 5歳以上の家族 913 346 254 228 90 399 272 239 75 94 317 60 11 33 1 00.0 37.9 27.8 25.0 9.9 43.7 29.8 26.2 8.2 10.3 34.7 6.6 1.2 3.6 3 居 100.0 37.5 25.0 21.7 14.2 40.0 30.0 25.8 10.8 24.2 34.2 2.5 2.5 2.5 4.2 1 住 10-19年 369 130 116 72 42 173 143 91 22 65 114 20 1 6 年 100.0 35.2 31.4 19.5 11.4 46.9 38.8 24.7 6.0 17.6 30.9 5.4 0.3 1.6 3 要 20年以上 1881 690 551 461 178 817 560 518 152 205 600 123 24 68 要																3.8
6 5歳以上の家族 913 346 254 228 90 399 272 239 75 94 317 60 11 33 100.0 37.9 27.8 25.0 9.9 43.7 29.8 26.2 8.2 10.3 34.7 6.6 1.2 3.6 3 1 0年末満 120 45 30 26 17 48 36 31 13 29 41 3 3 3 5 5 100.0 37.5 25.0 21.7 14.2 40.0 30.0 25.8 10.8 24.2 34.2 2.5 2.5 4.2 1 1 0~1 9年 100.0 35.2 31.4 19.5 11.4 46.9 38.8 24.7 6.0 17.6 30.9 5.4 0.3 1.6 3 数 2 0年以上 1881 690 551 461 178 817 560 518 152 205 600 123 24 68 100.0 36.7 29.3 24.5 9.5 43.4 29.8 27.5 8.1 10.9 31.9 6.5 1.3 3.6 4 1 0~5 3 5 5 1 100.0 36.6 27.9 24.8 8.6 43.8 29.8 27.9 8.7 12.6 32.5 5.9 1.0 3.1 4 至 100.0 38.6 27.9 24.8 8.6 43.8 29.8 27.9 8.7 12.6 32.5 5.9 1.0 3.1 4 全 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1													- 1			10
100.0 37.9 27.8 25.0 9.9 43.7 29.8 26.2 8.2 10.3 34.7 6.6 1.2 3.6 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1	· · ·															5. 2 34
1 0年未満 120 45 30 26 17 48 36 31 13 29 41 3 3 5 100.0 37.5 25.0 21.7 14.2 40.0 30.0 25.8 10.8 24.2 34.2 2.5 2.5 4.2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100歳以上の家族															3. 7
居 100.0 37.5 25.0 21.7 14.2 40.0 30.0 25.8 10.8 24.2 34.2 2.5 2.5 4.2 1 住 10~19年 369 130 116 72 42 173 143 91 22 65 114 20 1 6 7	1.0年表満	10010	0110													3. t
住 1 0~1 9年 369 130 116 72 42 173 143 91 22 65 114 20 1 6 100.0 35.2 31.4 19.5 11.4 46.9 38.8 24.7 6.0 17.6 30.9 5.4 0.3 1.6 3 数 2 0年以上 1881 690 551 461 178 817 560 518 152 205 600 123 24 68 100.0 36.7 29.3 24.5 9.5 43.4 29.8 27.5 8.1 10.9 31.9 6.5 1.3 3.6 4 100.0 36.6 27.9 24.8 8.6 43.8 29.8 27.9 8.7 12.6 32.5 5.9 1.0 3.1 4 数末市内で別の場所に引っ 233 90 74 46 34 113 87 63 10 30 70 16 4 7 居越すかもしれない 100.0 38.6 31.8 19.7 14.6 48.5 37.3 27.0 4.3 12.9 30.0 6.9 1.7 3.0 1 住いずれは市外に引っ越すか 216 71 77 46 31 89 73 53 18 33 68 15 2 6 意しれない 100.0 32.9 35.6 21.3 14.4 41.2 33.8 24.5 33 3 2 4 1 0 0 0 14 5 5 5 1 00.0 35.7 35.7 7.1 0.0 21.4 42.9 21.4 21.4 14.3 28.6 7.1 0.0 0.0 14 5 14 5 5 5 1 00.0 3 10.0 75 59 12 25 72 16 5 14													- 1			1.7
年 100.0 35.2 31.4 19.5 11.4 46.9 38.8 24.7 6.0 17.6 30.9 5.4 0.3 1.6 3 20 年以上 1881 690 551 461 178 817 560 518 152 205 600 123 24 68 100.0 36.7 29.3 24.5 9.5 43.4 29.8 27.5 8.1 10.9 31.9 6.5 1.3 3.6 4 月在の場所に住み続けたい 1648 603 459 409 141 721 491 460 143 208 536 97 17 51 100.0 36.6 27.9 24.8 8.6 43.8 29.8 27.9 8.7 12.6 32.5 5.9 1.0 3.1 4 表示市内で別の場所に引っ 233 90 74 46 34 113 87 63 10 30 70 16 4 7 日本 100.0 38.6 31.8 19.7 14.6 48.5 37.3 27.0 4.3 12.9 30.0 6.9 1.7 3.0 1 日住 いずれは市外に引っ越すか 216 71 77 46 31 89 73 53 18 33 68 15 2 6 意 しれない 100.0 32.9 35.6 21.3 14.4 41.2 33.8 24.5 8.3 15.3 31.5 6.9 0.9 2.8 3 1 でにでも市外に引っ越し 14 5 5 1 1 0 3 6 3 3 2 4 1 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																11
数 2 0 年以上 1881 1891 100.0 690 1551 461 178 100.0 178 36.7 560 518 29.8 518 27.5 152 205 600 123 24 68 100.9 24 68 100.0 36.7 29.3 24.5 9.5 43.4 29.8 27.5 8.1 10.9 31.9 6.5 1.3 3.6 4 10.9 31.9 6.5 4.5 1.3 31.5 6.9 97 17 51.0 31.1 4 10.9 31.9 6.5 4.5 1.3 31.5 6.9 97 17 51.0 10.9 31.9 6.5 4.5 1.3 31.5 6.9 97 17 51.0 10.9 31.9 6.5 4.5 1.3 31.5 6.9 97 17 51.0 10.9 31.9 6.5 4.5 1.3 31.5 6.9 97 17 51.0 10.9 31.9 6.5 11.3 31.1 51.3 31.5 6.9 97 17 31.0 10.9 31.9 6.5 11.3 31.9 6.5 97 18 10.9 11.9 11.9 11.9 11.9 11.9 11.9 11.9																3. 0
現在の場所に住み続けたい 1648 603 459 409 141 721 491 460 143 208 536 97 17 51 70 100.0 36.6 27.9 24.8 8.6 43.8 29.8 27.9 8.7 12.6 32.5 5.9 1.0 3.1 4 表示市内で別の場所に引っ起すか 100.0 38.6 31.8 19.7 14.6 48.5 37.3 27.0 4.3 12.9 30.0 6.9 1.7 3.0 1 全日 いずれは市外に引っ越すか 216 71 77 46 31 89 73 53 18 33 68 15 2 6 10 100.0 32.9 35.6 21.3 14.4 41.2 33.8 24.5 8.3 15.3 31.5 6.9 0.9 2.8 3 1 大にでも市外に引っ越し 14 5 5 1 0 3 6 3 3 3 2 4 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 1 0 0 0 1 1 1 1 0 0 0 1 1 1 1 0 0 0 1 1 1 1 0 0 0 1 1 1 1 0 0 0 1 1 1 1 1 0 0 0 1	数 20年以上	1881	690	551	461	178	817	560	518		205	600	123	24	68	75
100.0 36.6 27.9 24.8 8.6 43.8 29.8 27.9 8.7 12.6 32.5 5.9 1.0 3.1 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5		100.0	36.7	29.3	24.5	9.5	43.4	29.8	27. 5	8. 1	10.9	31. 9	6.5	1.3	3.6	4.0
茨木市内で別の場所に引っ 233 90 74 46 34 113 87 63 10 30 70 16 4 7 歴せかもしれない 100.0 38.6 31.8 19.7 14.6 48.5 37.3 27.0 4.3 12.9 30.0 6.9 1.7 3.0 1 住いずれは市外に引っ越すか 216 71 77 46 31 89 73 53 18 33 68 15 2 6 意しれない 100.0 32.9 35.6 21.3 14.4 41.2 33.8 24.5 8.3 15.3 31.5 6.9 0.9 2.8 3 市 さいでも市外に引っ越し 14 5 5 1 0 3 6 3 3 2 4 1 0 0 たい 100.0 35.7 35.7 7.1 0.0 21.4 42.9 21.4 21.4 14.3 28.6 7.1 0.0 0.0 わからない 241 89 75 49 30 106 75 59 12 25 72 16 5 14	現在の場所に住み続けたい	1648	603	459	409	141	721	491	460	143	208	536	97	17	51	67
居 越すかもしれない 100.0 38.6 31.8 19.7 14.6 48.5 37.3 27.0 4.3 12.9 30.0 6.9 1.7 3.0 1 住 いずれは市外に引っ越すか 216 71 77 46 31 89 73 53 18 33 68 15 2 6 意 ししれない 100.0 32.9 35.6 21.3 14.4 41.2 33.8 24.5 8.3 15.3 31.5 6.9 0.9 2.8 3 向 すぐにでも市外に引っ越し 14 5 5 1 0 3 6 3 3 2 4 1 0 0 0 たい 100.0 35.7 35.7 7.1 0.0 21.4 42.9 21.4 14.3 28.6 7.1 0.0 0.0 14 わからない 241 89 75 49 30 106 75 59 12 25 72 16 5 14																4. 1
住いずれは市外に引っ越すか 216 71 77 46 31 89 73 53 18 33 68 15 2 6 意 しれない 100.0 32.9 35.6 21.3 14.4 41.2 33.8 24.5 8.3 15.3 31.5 6.9 0.9 2.8 3 向 すぐにでも市外に引っ越し 14 5 5 1 0 3 6 3 3 2 4 1 0 0 たい 100.0 35.7 35.7 7.1 0.0 21.4 42.9 21.4 21.4 14.3 28.6 7.1 0.0 0.0 14 かからない 241 89 75 49 30 106 75 59 12 25 72 16 5 14															- 1	4
意もしれない 100.0 32.9 35.6 21.3 14.4 41.2 33.8 24.5 8.3 15.3 31.5 6.9 0.9 2.8 3 向けぐにでも市外に引っ越し 14 5 5 1 0 3 6 3 3 2 4 1 0 0 たい 100.0 35.7 35.7 7.1 0.0 21.4 42.9 21.4 21.4 14.3 28.6 7.1 0.0 0.0 14 わからない 241 89 75 49 30 106 75 59 12 25 72 16 5 14																1.7
向 すぐにでも市外に引っ越し 14 5 5 1 0 3 6 3 3 2 4 1 0 0 たい 100.0 35.7 35.7 7.1 0.0 21.4 42.9 21.4 21.4 14.3 28.6 7.1 0.0 0.0 14 わからない 241 89 75 49 30 106 75 59 12 25 72 16 5 14														_	-	7
たい 100.0 35.7 35.7 7.1 0.0 21.4 42.9 21.4 21.4 14.3 28.6 7.1 0.0 0.0 14 かからない 241 89 75 49 30 106 75 59 12 25 72 16 5 14											15. 3					3. 2
わからない 241 89 75 49 30 106 75 59 12 25 72 16 5 14					_						14.9	_	- 1	~		14. 3
																1 4. 0
100.0 36.9 31.1 20.3 12.4 44.0 31.1 24.5 5.0 10.4 29.9 6.6 2.1 5.8 2	421/2014V.															2. 9

		調査数	の解消路の離保や消防困難地区道路の整備による避難経	診断の促進建物の耐震化工事や耐震	策 の整備による浸水被害対 下水道 (雨水) や河川等	の把握・整備がけ崩れなどの危険箇所	段の整備災害発生時の情報伝達手	災害に備えた物資の備蓄	難場所の充実公共施設の整備による避	災訓練や講習会の開催様々な災害を想定した防	おける 防災 税	の災の 意害周 識へ知	自主防災組織への支援	その他	よくわからない	無回答
市	全体	2423	884	712	1	243	1056	765	655	191	305		149	28	79	91
		100.0	36. 5	29.4		10.0	43.6	31.6	27.0	7. 9	12.6	31. 7	6. 1	1.2	3.3	3.8
	山地部	29	13	5	4	19	11	7	3	4		5	6	2	1	1
	and the land	100.0	44.8	17. 2		65. 5	37.9	24. 1	10. 3	13.8	6. 9		20. 7	6. 9	3. 4	3. 4
	丘陵部	239	96	59	42	45	97	72	66	24	37	85	19	3	4	9
1_		100.0	40. 2	24. 7	17.6	18.8	40.6	30. 1	27.6	10.0	15. 5	35. 6	7.9	1.3	1.7	3.8
居	周辺部 1	442	156	146		66	170	123	123	36	50	116	21	5	24	20
住		100.0	35. 3	33.0		14. 9	38. 5	27.8	27.8	8. 1	11. 3	26. 2	4.8	1. 1	5. 4	4. 5
地		1139	439	338	275	82	527	371	318	87	136	376	56	14	31	34
区		100.0	38. 5	29. 7	24. 1	7. 2	46. 3	32.6	27. 9	7. 6	11. 9	33. 0	4. 9	1. 2	2.7	3. 0
1	周辺部 2	490	150	139	143	25	226	157	127	35	72	165	39	2	17	22
1	1 2 8 3 2 2	100.0	30.6	28. 4	29. 2	5. 1	46. 1	32.0	25. 9	7. 1	14. 7	33. 7	8.0	0.4	3. 5	4. 5
1	わからない	14	4	4	3	1	4	5	1	0	1	5	2	_ 1	0	_ 1
L		100.0	28.6	28.6	21.4	7.1	28.6	35. 7	7. 1	0.0	7. 1	35. 7	14. 3	7. 1	0.0	7. 1

(2) 高齢者福祉に関する取り組み [問 22]

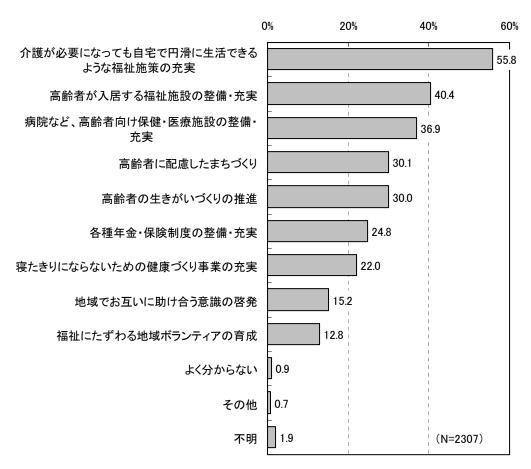
最も重要だと思う高齢者福祉に関する取り組みは「介護が必要になっても、自宅で円滑に生活できるような高齢者サービスの充実(例:家事や介護の援助をするホームヘルパーの派遣、施設での一時的な受入など)」が51.4%で最も多く、ついで「高齢者が入居する福祉施設の整備・充実(例:特別養護老人ホームなど)」が46.5%、「病院など、高齢者向け保健・医療施設の整備・充実」が38.5%となっている。

0% 60% 20% 40% 介護が必要になっても、自宅で円滑に生活でき 51.4 るような高齢者サービスの充実 高齢者が入居する福祉施設の整備・充実 46.5 病院など、高齢者向け保健・医療施設の整備・ 38.5 充実 高齢者に配慮したまちづくり 25.3 高齢者の生きがいづくりの推進 23.0 寝たきりにならないための健康づくり事業の 21.5 充実 地域でお互いに助け合う意識の啓発・体制づくり 16.4 高齢者の生活にふさわしい安全・安心な住まい 16.3 の確保 各種保険制度の整備・充実 15.3 福祉にたずさわる地域ボランティアの育成 9.3 その他 1.4 よくわからない 2.5 (N=2423)無回答 3.1

図表II-91 最も重要だと思う高齢者福祉に関する取り組み(複数回答)

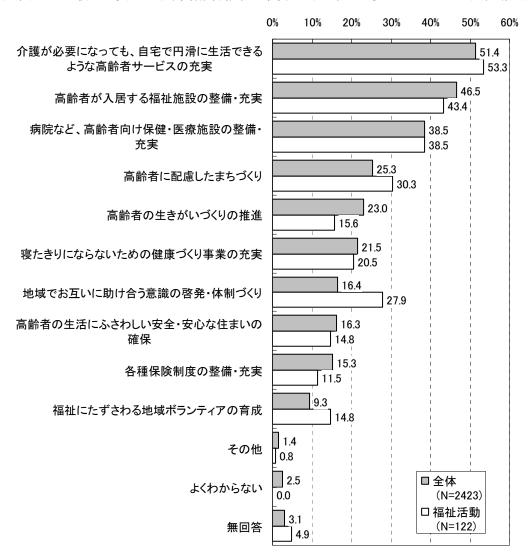
前回調査では、「寝たきりにならないための健康づくり事業の充実」や「地域でお互いに助け合う意識の啓発」よりも、「各種年金・保険制度の整備・充実」のほうが上位になっている。

図表II-92 [参考:前回調査結果]最も重要な「高齢者福祉」の取り組み(複数回答)



地域で「福祉活動」に関する活動に参加している回答者の回答をみると、「地域でお 互いに助け合う意識の啓発・体制づくり」と「福祉にたずさわる地域ボランティアの育 成」の割合が全体を大きく上回っている。

図表II-93 最も重要だと思う高齢者福祉に関する取り組み(参加している地域活動別)



年齢別にみると、20歳代で市全体よりも割合が高い「高齢者の生きがいづくりの推進」 は年齢が高くなるにつれて割合が低くなっており、「病院など、高齢者向け保健・医療施 設の整備・充実」の割合は、年齢が高くなるにつれて高くなっている。

図表II-94 最も重要だと思う高齢者福祉に関する取り組み(クロス集計)

			整高	齢で介	全高	進高	テ福	の地	康寝	医病	各	高	そ	よ	
		調	備齢	者円護	• 齢	一	イ祉	啓域	づた	療院	種	齢	0	₹	無
		查	• 者	サ滑が	安者	者	アに	発で	くき	施な	保	者	他	わ	口
		数	充が	一に必	心の	の	のた	・お	りり	設ど、	険	に		カュ	答
			実入	ビ生要	な生	生	育ず	体互	事に	の	制	配		6	
			居 す	ス活に	住活	き が	成さ	制い	業な のら	整高	度の	慮		ない	
			9 る	のでな 充きっ	まに	ر با درا	わ る	づに く助	充な	備齢 ・者	整整	した		۷,	
			福	実るて	のさ	V・ づ	地	りけ	実い	充向	備	ま			
			祉	よも	確わ	Ź	域	合	た	実け	•	5			
			施	5 \	保し	'n	ボ	- 5	め	保	充	づ			
			設	な自	い	の	ラ	意	の	健	実	<			
			の	高宅	安	推	ン	識	健	•		り			
市生	È 体	2423	1126	1246	396	558	226	397	522	933	370	614	34	61	75
-	男性	100.0	46. 5	51. 4 534	16. 3	23. 0 257	9. 3 105	16. 4 195	21. 5 246	38. 5	15. 3 160	25. 3 257	1. 4 15	2. 5 33	3.1
性	カは	1088 100. 0	477 43. 8	534 49. 1	188 17. 3	23. 6	9. 7	17. 9	22.6	413 38. 0	160	23. 6	1.4	3.0	3. 7
別	女性	1237	605	675	193	287	114	17.9	257	479	190	336	16	25	29
/3 3	ヘル	100.0	48. 9	54.6	15. 6	23. 2	9. 2	14. 5	20.8	38. 7	15. 4	27. 2	1. 3	2. 0	2.3
	20~29歳	312	134	130	59	103	27	53	57	96	58	85	2	17	6
		100.0	42. 9	41.7	18. 9	33.0	8.7	17.0	18.3	30.8	18.6	27. 2	0.6	5.4	1. 9
	30~39歳	379	152	192	50	107	30	58	78	137	79	94	9	16	9
		100.0	40. 1	50. 7	13. 2	28. 2	7. 9	15. 3	20.6	36. 1	20.8	24.8	2.4	4.2	2.4
<i>F</i> -	40~49歳	420	206	228	80	105	38	53	71	146	80	121	3	7	11
年齢	50~59歳	100. 0 311	49. 0 166	54. 3 166	19. 0 54	25. 0 74	9. 0	12. 6 45	16. 9 60	34. 8 130	19. 0 34	28. 8	0.7	1.7	2.6
il BE	3 0 ~ 3 9 kx	100.0	53. 4	53. 4	17. 4	23. 8	11. 9	14. 5	19. 3	41.8	10.9	23. 8	1. 9	2. 9	1.9
	60~69歳	430	216	239	73	85	35	85	105	181	59	83	7	3	12
	0 0 0 3 ms.	100.0	50. 2	55. 6	17. 0	19.8	8. 1	19.8	24. 4	42. 1	13. 7	19. 3	1.6	0.7	2.8
	70歳以上	516	226	270	71	78	55	89	142	220	45	146	5	7	27
		100.0	43.8	52.3	13.8	15. 1	10.7	17. 2	27.5	42.6	8.7	28. 3	1.0	1.4	5.2
	就学前の家族	235	94	121	33	62	26	35	51	89	55	58	1	8	3
l_	1 3/4 (1	100.0	40.0	51.5	14. 0	26. 4	11. 1	14. 9	21.7	37. 9	23. 4	24. 7	0.4	3.4	1.3
	小学生の家族	292	103	151	50	86	31	47	62	95	48	76	8	11	11
居家	中学生の家族	100. 0 191	35. 3	51. 7 107	17. 1 32	29. 5 42	10. 6 19	16. 1 29	21. 2	32. 5 67	16. 4 38	26. 0 48	2.7	3.8	3.8
族	中子生の家族	100.0	44. 5	56. 0	16.8	22. 0	9.9	15. 2	18. 3	35. 1	19. 9	25. 1	1. 0	1.6	4. 7
<i>M</i> /C	65歳以上の家族	913	415	520	129	189	82	163	214	379	129	227	13	17	23
		100.0	45. 5	57. 0	14. 1	20. 7	9. 0	17. 9	23. 4	41. 5	14. 1	24. 9	1.4	1. 9	2.5
	10年未満	120	46	63	13	38	14	16	28	39	24	35	3	4	3
居		100.0	38. 3	52.5	10.8	31. 7	11.7	13. 3	23.3	32. 5	20.0	29. 2	2.5	3.3	2.5
住	10~19年	369	159	177	65	111	33	51	71	111	58	106	5	14	11
年数	o o terror l	100.0	43. 1	48. 0	17. 6	30. 1	8. 9	13. 8	19. 2	30. 1	15. 7	28. 7	1.4	3.8	3.0
纵	20年以上	1881	895	985	310	402	175	317	414	760	273	463	24	42	59
-	現在の場所に住み続けたい	100. 0 1648	47. 6 763	52. 4 867	16. 5 260	21. 4 362	9. 3 160	16. 9 283	22. 0 383	40. 4 658	14. 5 226	24. 6 422	1. 3 18	2. 2	3. 1 50
	元1エツ物別に注外就りだい	1048	46. 3	52. 6	15. 8	22. 0	9. 7	17. 2	23. 2	39. 9	13. 7	25. 6	1. 1	2. 1	3.0
	茨木市内で別の場所に引っ	233	112	123	43	55	19	31	40	80	47	58	8	8	5.0
居	越すかもしれない	100.0	48. 1	52. 8	18. 5	23. 6	8. 2	13. 3	17. 2	34. 3	20. 2	24. 9	3. 4	3. 4	2. 1
住	いずれは市外に引っ越すか	216	105	109	37	63	19	35	45	67	34	52	4	6	7
意	もしれない	100.0	48.6	50. 5	17. 1	29.2	8.8	16. 2	20.8	31.0	15.7	24. 1	1.9	2.8	3. 2
向	すぐにでも市外に引っ越し	14	7	7	1	5	0	2	3	3	1	3	0	0	3
	たい	100.0	50.0	50.0	7. 1	35. 7	0.0	14. 3	21.4	21. 4	7.1	21.4	0.0	0.0	21. 4
	わからない	241	107	109	45	63	21	29	43	95	42	64	2	11	6
		100.0	44. 4	45. 2	18. 7	26. 1	8. 7	12. 0	17.8	39. 4	17.4	26.6	0.8	4.6	2. 5

		調査数	の整備・充実高齢者が入居する福祉施設	な高齢者サービスの充実 宅で円滑に生活できるよう介護が必要になっても、自	安全・安心な住まいの確保高齢者の生活にふさわしい	推進高齢者の生きがいづくりの	ンティアの育成福祉にたずさわる地域ボラ	識の啓発・体制づくり地域でお互いに助け合う意	健康づくり事業の充実寝たきりにならないための	健・医療施設の整備・充実病院など、高齢者向け保	各種保険制度の整備・充実	り高齢者に配慮したまちづく	その他	よくわからない	無回答
市	全体	2423	1126	1246	396	558	226	397	522	933	370	614	34	61	75
<u> </u>		100.0	46. 5		16. 3	23.0	9.3	16. 4	21.5	38. 5	15.3	25.3	1.4	2.5	3. 1
	山地部	29	13	15	6	5	2	7	3	18	3	3	2	1	1
	广庆中	100. 0	44. 8	51. 7	20. 7	17. 2	6. 9	24. 1	10. 3	62. 1	10.3	10. 3	6.9	3. 4	3.4
	丘陵部	239	115	125	38	53	17	45	64	100	39	42	2	5	1 7
	田,山如 4	100. 0	48. 1	52. 3	15. 9	22. 2	7. 1	18. 8 77	26. 8	41.8	16. 3 68	17. 6 98	0.8	2. 1	1. 7
居住	周辺部 1	442 100. 0	177 40. 0	242 54. 8	62 14. 0	110 24. 9	8. 4	17.4	108 24. 4	169 38. 2	15. 4	22. 2	1. 1	14 3. 2	3.8
地	中心部	1139	542	585	14. 0	256	112	17. 4	24. 4	426	160	329	1. 1	27	29
区	一 、	100. 0	47. 6		16. 7	22. 5	9.8	15. 7	21. 2	37. 4	14. 0	28. 9	1. 6	2. 4	2. 5
1	周辺部 2	490	235	245	83	126	52	73	92	190	80	125	5	11	19
) FI AZ FIF Z	100. 0	48. 0	50.0	16. 9	25. 7	10. 6	14. 9	18. 8	38. 8	16. 3	25. 5	1. 0	2. 2	3. 9
	わからない	14	9	9	2	0	2	2	4	2	10.0	3	0	0	1
	2.66	100.0	64. 3	64. 3	14. 3	0. 0	14. 3	14. 3	28. 6	14. 3	7. 1	21. 4	0.0	0.0	7. 1

(3) 子育て支援に関する取り組み [問 23]

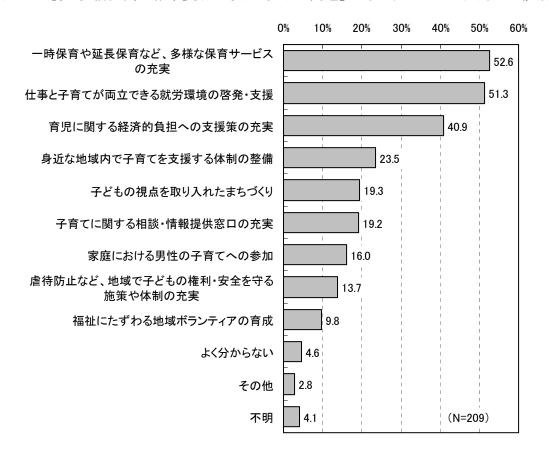
最も重要だと思う子育て支援に関する取り組みは「一時保育や延長保育などを含む多様な保育サービスの充実」が55.6%で最も多く、ついで「仕事と子育てが両立できる就労環境づくりの啓発・支援(例:企業の啓発など)」が45.6%、「育児に要する経済的負担への支援策の充実(例:乳幼児医療費の補助など)」が34.3%となっている。

40% 0% 20% 60% 一時保育や延長保育などを含む多様な保育 55.6 サービスの充実 仕事と子育てが両立できる就労環境づくりの啓 45.6 発•支援 34.3 育児に要する経済的負担への支援策の充実 虐待防止など、地域で子どもの権利・安全を守 22.8 る施策や体制の充実 20.6 子育でに関する相談・情報提供窓口の充実 身近な地域内で子育てを支援する体制の整備 18.6 子育て家庭に配慮したまちづくり 17.8 8.4 家庭における男性の子育てへの参加の促進 特色ある学校園教育の推進 7.5 その他 2.0 6.4 よくわからない (N=2423)7.3 無回答

図表II-95 最も重要だと思う子育て支援に関する取り組み(複数回答)

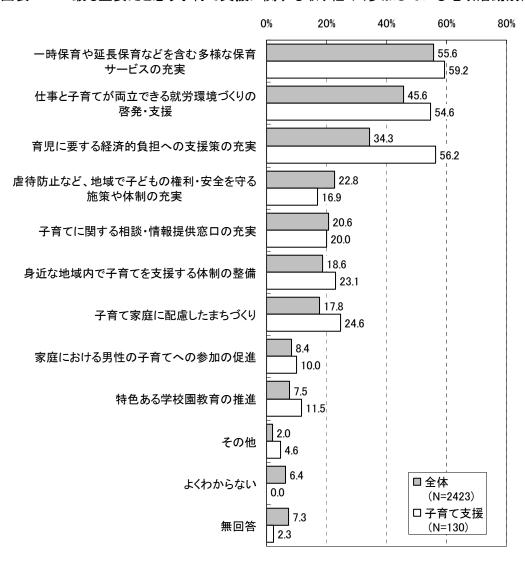
前回調査結果と今回調査結果を比較すると、今回調査では、児童虐待に関する項目が上位になっている。

図表II-96 [参考:前回調査結果]最も重要な「少子化問題」に対応するための取り組み(複数回答)



地域で「子育て支援」に関する活動に参加している回答者の回答をみると、「仕事と 子育てが両立できる就労環境づくりの啓発・支援」と「育児に要する経済的負担への支 援策の充実」の割合が全体を大きく上回っている。

図表II-97 最も重要だと思う子育て支援に関する取り組み(参加している地域活動別)



男女別にみると、「仕事と子育てが両立できる就労環境づくりの啓発・支援」の割合が女性でやや高くなっている。「育児に要する経済的負担への支援策の充実」の割合は、年齢別にみると、30歳代で高くなっており、同居家族別にみると、就学前と小学生の子どもと同居する回答者で高くなっている。

図表II-98 最も重要だと思う子育て支援に関する取り組み(クロス集計)

現性	無回答	よくわからない	その他	施策や体制の充実どもの権利・安全を守る虐待防止など、地域でな	ちづくり子育て家庭に配慮したな	への支援策の充実育児に要する経済的負担	進巻ある学校園教育の労	発・支援 る就労環境づくりの啓	支援する体制の整備身近な地域内で子育てな	てへの参加の促進家庭における男性の子を	報提供窓口の充実子育てに関する相談・は	スの充実を含む多様な保育サービー時保育や延長保育など	調査数		
男性 1088 591 218 90 207 461 93 361 211 231 22 6 別女性 1030 54.3 20.0 8.3 19.0 42.4 8.5 33.2 19.4 21.2 2.0 6 別女性 1237 704 259 10.7 234 596 84 443 206 291 26 20~29歳 100.0 56.9 20.9 8.6 18.9 48.2 6.8 35.8 16.7 23.5 2.1 6 30~39歳 379 215 59 30 56 190 37 216 100 68 12 4 420 240 94 36 81 180 49 150 82 102 12 4 40~49歳 420 240 94 36 81 180 49 150 82 102 12 4 40~4 240<		155		552	431	832	182	1106	451	204	499	1346		全体	市金
世		6. 4 74												甲州·	
女性		6.8												71±	性
2 0 ~ 2 9歳	74 82	74	26	291	206	443	84	596			259	704	1237	女性	别
100.0 58.0 20.5 12.5 20.8 49.7 7.7 41.0 23.7 23.1 1.3 66 100 30 30 30 30 30 30 3		6.0												0.0.0.45	
3 0 ~ 3 9歳 379 215 59 30 56 190 37 216 100 68 12 40 ~ 4 9歳 420 240 94 36 81 180 49 150 82 102 12 年 100.0 57.1 22.4 8.6 19.3 42.9 11.7 35.7 19.5 24.3 2.9 4 160 0 61.4 20.6 93 171 14 106 41 75 6 100.0 61.4 20.6 93 20.3 55.0 4.5 34.1 13.2 24.1 1.9 7 100.0 61.4 20.6 93 20.3 55.0 4.5 34.1 13.2 24.1 1.9 7 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 7.7 4.7 6.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 7.0 61.0 61.6 22.1 60.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 7.0 61.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.6 22.1 61.0 60.0 61.4 20.0 61.0 61.0 61.0 61.0 61.0 61.0 61.0 6		19 6. 1												20~29歳	
年年 100.0 56.7 15.6 7.9 14.8 50.1 9.8 57.0 26.4 17.9 3.2 4 4 0 ~ 4 9歳 420 240 94 36 81 180 49 150 82 102 12 12 150.0 57.1 22.4 8.6 19.3 42.9 11.7 35.7 19.5 24.3 2.9 4 150 150 7.0 100.0 57.1 22.4 8.6 19.3 42.9 11.7 35.7 19.5 24.3 2.9 4 150 150 7.0 100.0 61.4 20.6 9.3 20.3 55.0 4.5 34.1 13.2 24.1 1.9 7 16.0 16.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 100.0 42.4 21.5 8.1 14.9 35.5 5.6 18.0 12.0 24.0 1.4 11 11.5 11.5 11.5 11.5 11.5 11.5 11		15												30~39歳	
年齢 50~59歳 311 191 64 29 63 171 14 106 41 75 6 6 100.0 61.4 20.6 9.3 20.3 55.0 4.5 34.1 13.2 24.1 1.9 7 60 ~69歳 430 265 95 26 101 198 25 119 63 96 7 100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5 7 0歳以上 516 219 111 42 77 183 29 93 62 124 7 100.0 42.4 21.5 8.1 14.9 35.5 5.6 18.0 12.0 24.0 1.4 11	0 2.1	4.0	3. 2			57.0	9.8	50. 1	14.8	7. 9	15.6				
 節 5 0 ~ 5 9歳 311 191 64 29 63 171 14 106 45 34.1 13.2 24.1 1.9 7 6 0 ~ 6 9歳 430 265 95 26 101 198 25 119 63 96 7 7 0歳以上 516 219 111 42 77 183 29 93 62 124 7 100.0 42.4 21.5 8.1 14.9 35.5 5.6 18.0 12.0 24.0 1.4 11 就学前の家族 235 131 36 17 48 102 27 161 80 37 11 市学生の家族 292 139 50 22 49 143 42 161 69 54 11 市学生の家族 190.0 47.6 17.1 7.5 16.8 49.0 14.4 55.1 23.6 18.5 3.8 2 100.0 50.3 19.4 11.5 19.4 48.7 8.9 40.3 20.4 23.0 3.1 3 100.0 55.2 22.6 7.6 18.9 43.0 7.9 28.3 12.4 24.0 2.0 8 100.4 22.6 77 22 12 28 57 7 63 21 25 17.5 20.8 2.5 1 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 東学生の家族 100.0 55.1 21.0 8.3 18.8 44.7 6.3 31.7 16.4 23.6 18.6 3.8 3 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 東京 中学生の家族 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 100.0 55.1 21.0 8.3 18.8 44.7 6.3 31.7 16.4 23.6 1.6 7 東京 中学生の家族 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 東京 中学生の家族 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 東京 中学生の家族 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 東京 中学生の家族 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 5 日本 中学生の家族 日本 中学生の家族 日本 日本 中学生の家族 日本 日本 日		20												40~49歳	_
100.0 61.4 20.6 9.3 20.3 55.0 4.5 34.1 13.2 24.1 1.9 76 60~69歳 430 265 95 26 101 198 25 119 63 96 7 7 7 7 7 7 7 7 7		4.8												5.0 a . 5.0 *	
60~69歳		7. 1												50~59版	四印
100.0 61.6 22.1 6.0 23.5 46.0 5.8 27.7 14.7 22.3 1.6 5.8 5.0		22												60~69歳	
100.0 42.4 21.5 8.1 14.9 35.5 5.6 18.0 12.0 24.0 1.4 11 11 11 11 11 11 1	1 8.1	5. 1													
献学前の家族 235 131 36 17 48 102 27 161 80 37 11 100.0 55.7 15.3 7.2 20.4 43.4 11.5 68.5 34.0 15.7 4.7 (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		57				- 00								70歳以上	
100.0 55.7 15.3 7.2 20.4 43.4 11.5 68.5 34.0 15.7 4.7 67 67 67 67 67 67 67	0 19.2 1	11.0												お学並の実施	
同 小学生の家族 292 139 50 22 49 143 42 161 69 54 11 1		0.4													
家 中学生の家族 191 96 37 22 37 93 17 77 39 44 6 100.0 50.3 19.4 11.5 19.4 48.7 8.9 40.3 20.4 23.0 3.1 3 50.4 20.6 69 173 393 72 258 113 219 18 100.0 55.2 22.6 7.6 18.9 43.0 7.9 28.3 12.4 24.0 2.0 8 100.0 55.2 22.6 7.6 18.9 43.0 7.9 28.3 12.4 24.0 2.0 8 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1	6 16													小学生の家族	
族 100.0 50.3 19.4 11.5 19.4 48.7 8.9 40.3 20.4 23.0 3.1 3.1 6 5歳以上の家族 913 504 206 69 173 393 72 258 113 219 18 100.0 55.2 22.6 7.6 18.9 43.0 7.9 28.3 12.4 24.0 2.0 8 1 0年未満 120 77 22 12 28 57 7 63 21 25 3 居 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 住 1 0~1 9年 369 200 69 33 61 179 52 153 93 70 14 年 100.0 54.2 18.7 8.9 16.5 48.5 14.1 41.5 25.2 19.0 3.8 3 数 2 0年以上 1881 1036 395 157 353 841 119 597 308 443 30 1 現在の場所に住み続けたい 1648 903 338 138 315 718 131 525		2. 1													居
6 5歳以上の家族 913 504 206 69 173 393 72 258 113 219 18 100.0 55.2 22.6 7.6 18.9 43.0 7.9 28.3 12.4 24.0 2.0 8 100.0 55.2 22.6 7.6 18.9 43.0 7.9 28.3 12.4 24.0 2.0 8 10.0 年末満 120 77 22 12 28 57 7 63 21 25 3 E任 10~1 9年 369 200 69 33 61 179 52 153 93 70 14 年 100.0 54.2 18.7 8.9 16.5 48.5 14.1 41.5 25.2 19.0 3.8 3 2 0 年以上 1881 1036 395 157 353 841 119 597 308 443 30 1	6 12	-	-											中学生の家族	冢始
100.0 55.2 22.6 7.6 18.9 43.0 7.9 28.3 12.4 24.0 2.0 8 10年末満 120 77 22 12 28 57 7 63 21 25 3 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 10 1 1 1 10 1 1 1		3. 1 78												6.5歳以上の家族	肰
日本 10年未満 120 77 22 12 28 57 7 63 21 25 3 100.0 64.2 18.3 10.0 23.3 47.5 5.8 52.5 17.5 20.8 2.5 1 1 1 10 50 51 8 1 1 1 1 50 51 8 1 1 1 1 50 51 8 1 1 1 1 50 51 8 1 50 51 8 1 1 1 1 50 51 8 1 50 50 51 8 1 50 50 50 50 50 50 50		8.5												0 3 减终工 0 3 减失	
住 1 0~1 9年 369 200 69 33 61 179 52 153 93 70 14 年 100.0 54.2 18.7 8.9 16.5 48.5 14.1 41.5 25.2 19.0 3.8 3 2 0年以上 1881 1036 395 157 353 841 119 597 308 443 30 1 1 1 1 100.0 55.1 21.0 8.3 18.8 44.7 6.3 31.7 16.4 23.6 1.6 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 4													10年未満	
年		1. 7													
数 2 0 年以上 1881 1036 395 157 353 841 119 597 308 443 30 1 100.0 55.1 21.0 8.3 18.8 44.7 6.3 31.7 16.4 23.6 1.6 7 現在の場所に住み続けたい 1648 903 338 138 315 718 131 525 294 364 33 100.0 54.8 20.5 8.4 19.1 43.6 7.9 31.9 17.8 22.1 2.0 後 茨木市内で別の場所に引っ越す 233 128 35 31 42 131 11 110 50 51 8 100.0 54.9 15.0 13.3 18.0 56.2 4.7 47.2 21.5 21.9 3.4 5		13 3. 5												10~19年	
100.0 55.1 21.0 8.3 18.8 44.7 6.3 31.7 16.4 23.6 1.6 7 18.4 19.1 19.5 19.		140												20年以上	
R 100.0 54.8 20.5 8.4 19.1 43.6 7.9 31.9 17.8 22.1 2.0 66.2 7.9		7. 4													
茨木市内で別の場所に引っ越す 233 128 35 31 42 131 11 110 50 51 8 居 かもしれない 100.0 54.9 15.0 13.3 18.0 56.2 4.7 47.2 21.5 21.9 3.4 8		110												現在の場所に住み続けたい	
居かもしれない 100.0 54.9 15.0 13.3 18.0 56.2 4.7 47.2 21.5 21.9 3.4 5		6. 7												#1++	
		12 5. 2													足
	9 7		3.4	53	39		18	101	40	18.3	51	134	216		住
意れない 100.0 62.0 23.6 8.3 18.5 46.8 8.3 44.4 18.1 24.5 1.4 4		4. 2	1. 4	24. 5	18. 1		8.3	46.8	18.5	8.3	23.6		100.0	れない	意
向 すぐにでも市外に引っ越したい 14 7 5 2 0 3 3 3 2 6 0	0 2		-			_				_		7		すぐにでも市外に引っ越したい	向
		0.0												わから かし	
		8. 7												14711+101EV	

		調査数	スの充実を含む多様な保育サービー時保育や延長保育など	報提供窓口の充実子育てに関する相談・情	てへの参加の促進家庭における男性の子育	支援する体制の整備身近な地域内で子育てを	発・支援る就労環境づくりの啓仕事と子育てが両立でき	進色ある学校園教育の推	への支援策の充実育児に要する経済的負担	ちづくり子育て家庭に配慮したま	施策や体制の充実どもの権利・安全を守る虐待防止など、地域で子	その他	よくわからない	無回答
市	全体	2423	1346	499	204	451	1106	182	832	431	552	48	155	176
	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100.0	55.6	20.6	8.4	18. 6	45.6	7. 5		17.8	22. 8	2.0	6.4	7.3
	山地部	29 100. 0	14 48. 3	5 17. 2	4 13. 8	5 17. 2	11 37. 9	2 6. 9	9 31. 0	6. 9	4 13. 8	3 10. 3	2 6. 9	20. 7
	丘陵部	239	143	39	13. 8	51	105	21	86	43	48	3	9	17
	11/2/10	100. 0	59.8	16. 3	7. 1	21. 3	43. 9	8.8	36. 0	18. 0	20. 1	1. 3	3.8	7. 1
居	周辺部 1	442	219	85	38	81	210	35	146	93	92	6	31	41
住), (1.2 lb) =	100.0	49.5	19. 2	8. 6	18. 3	47. 5	7. 9	33. 0	21.0	20. 8	1. 4	7. 0	9.3
地	中心部	1139	651	238	99	206	523	81	395	207	259	26	79	70
区		100.0	57.2	20.9	8.7	18. 1	45.9	7. 1	34.7	18.2	22. 7	2.3	6.9	6.1
	周辺部 2	490	271	113	41	98	220	38	170	75	126	7	30	35
		100.0	55.3	23. 1	8.4	20.0	44. 9	7.8	34. 7	15.3	25. 7	1.4	6. 1	7. 1
	わからない	14	7	5	3	1	4	0	4	1	5	1	0	1
		100.0	50.0	35.7	21.4	7. 1	28.6	0.0	28.6	7. 1	35.7	7. 1	0.0	7. 1

(4) 産業振興に関する取り組み [問 24]

最も重要だと思う産業振興に関する取り組みは「地域に密着した商店街の活性化」が48.9%で最も多く、ついで「市内で働くことができる場(雇用)の創出」が48.8%、「企業の立地促進」が30.4%となっている。

0% 20% 40% 60% 地域に密着した商店街の活性化 48.9 市内で働くことができる場(雇用)の創出 48.8 企業の立地促進 30.4 中心市街地の活性化によるまちのにぎわい 28.8 創出 農地の保全や担い手の確保、地産地消の推進 26.2 など農林業の振興 大規模なスーパーや商業施設などの立地促進 19.1 新しい事業に挑戦する起業家やベンチャー企業 18.3 への支援 住宅と工場の混在の弊害解消など、土地利用 10.9 に配慮した産業集積の推進 その他 ||1.4 よくわからない 6.3 (N=2423)無回答 3.5

図表II-99 最も重要だと思う産業振興に関する取り組み(複数回答)

年齢別にみると、「大規模なスーパーや商業施設などの立地促進」は、年齢が低いほど 割合が高くなっている。

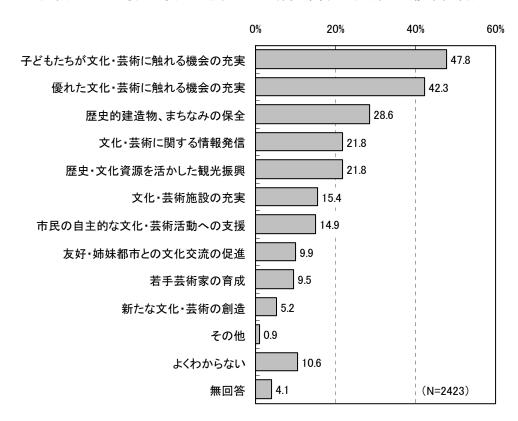
図表II-100 最も重要だと思う産業振興に関する取り組み(クロス集計)

		調査数	活性化地域に密着した商店街の	るまちのにぎわい創出中心市街地の活性化によ	施設などの立地促進 大規模なスーパー や商業	企業の立地促進	チャー企業へに挑戦する起	農林業の振興保、地産地消の推進など農地の保全や担い手の確	場(雇用)の創出市内で働くことができる	慮した産業集積の推進解消など、土地利用に配住宅と工場の混在の弊害!	その他	よくわからない	無回答
市金	全体	2423 100. 0	1184 48. 9	699 28. 8	463 19. 1	736 30. 4	444 18. 3	636 26. 2	1182 48. 8	263 10. 9	34 1. 4	152 6. 3	84 3, 5
	男性	1088	513	349	191	375	233	272	536	135	18	52	38
性		100.0	47.2	32. 1	17.6	34. 5	21.4	25.0	49.3	12. 4	1.7	4.8	3.5
別	女性	1237	616	326	255	325	192	342	596	117	14	95	41
-	0.0.0.15	100.0	49.8	26. 4	20.6	26. 3	15. 5	27. 6	48. 2	9. 5	1. 1	7. 7	3.3
	20~29歳	312	134	93	86	82	69	74	160	33	7 2. 2	21	5
	30~39歳	100. 0 379	42. 9 157	29. 8 107	27. 6 90	26. 3 122	22. 1 75	23. 7 102	51. 3 181	10. 6 51	2. Z	6. 7	1.6
	3 0 - 3 9 mx	100.0	41. 4	28. 2	23. 7	32. 2	19.8	26. 9	47. 8	13. 5	1. 3	5. 0	2. 1
	40~49歳	420	195	108	87	136	75	131	221	49	6	13	12
年		100.0	46. 4	25. 7	20.7	32. 4	17. 9	31. 2	52. 6	11. 7	1. 4	3. 1	2.9
齢	50~59歳	311	163	90	43	102	57	83	167	23	2	26	9
		100.0	52.4	28. 9	13.8	32.8	18.3	26. 7	53. 7	7.4	0.6	8. 4	2.9
	60~69歳	430	233	133	66	137	64	127	209	49	7	26	8
	7.0华以上	100.0	54. 2	30. 9	15. 3	31. 9	14. 9	29. 5	48. 6	11. 4	1.6	6. 0	1.9
	70歳以上	516 100. 0	273 52. 9	155 30. 0	84 16. 3	135 26. 2	92 17. 8	109 21. 1	214 41. 5	49 9. 5	6 1. 2	46 8. 9	38 7. 4
	就学前の家族	235	96	66	66	88	48	58	101	35	3	10	7.4
	加于的少多版	100. 0	40. 9	28. 1	28. 1	37. 4	20. 4	24. 7	43. 0	14. 9	1. 3	4. 3	3. 0
同	小学生の家族	292	118	77	66	86	61	83	132	31	5	20	10
居		100.0	40.4	26.4	22.6	29.5	20.9	28. 4	45. 2	10.6	1.7	6.8	3.4
家	中学生の家族	191	81	43	47	60	37	63	100	25	1	10	5
族		100.0	42.4	22. 5	24.6	31.4	19.4	33.0	52. 4	13. 1	0.5	5. 2	2.6
	65歳以上の家族	913	464	270	136	273	165	255	453	93	13	60	31
\vdash	10年未満	100. 0 120	50. 8 50	29. 6 30	14. 9 42	29. 9 35	18. 1 26	27. 9 21	49. 6 59	10. 2 14	1.4	6. 6	3. 4
居	10平木個	100.0	41.7	25. 0	35. 0	29. 2	21. 7	17. 5	49. 2	11. 7	1. 7	5. 0	2. 5
住	10~19年	369	160	109	79	112	64	89	170	46	7	25	9
年		100.0	43. 4	29. 5	21.4	30. 4	17. 3	24. 1	46. 1	12. 5	1. 9	6. 8	2.4
数	20年以上	1881	947	548	334	567	343	516	923	194	24	120	69
		100.0	50.3	29. 1	17.8	30.1	18.2	27. 4	49. 1	10.3	1.3	6. 4	3.7
	現在の場所に住み続けたい	1648	833	485	311	490	277	442	803	158	14	104	61
	***************************************	100.0	50. 5	29. 4	18. 9	29. 7	16.8	26. 8	48. 7	9.6	0.8	6. 3	3. 7
F	茨木市内で別の場所に引っ越す	233 100. 0	103	72 30. 9	45	65	56	51 21. 9	112 48. 1	36	7	16	9.6
居住	かもしれない いずれは市外に引っ越すかもし	216	44. 2 103	30. 9 60	19. 3 44	27. 9 71	24. 0	21. 9 55	103	15. 5 32	3.0	6. 9	2.6
意	れない	100.0	47. 7	27.8	20. 4	32. 9	21. 8	25. 5	47. 7	14. 8	1. 4	5. 1	2. 3
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14	6	3	4	4	3	20.0	8	2	1	0.1	1
		100.0	42. 9	21. 4	28. 6	28. 6	21. 4	14. 3	57. 1	14. 3	7. 1	0.0	7. 1
	わからない	241	104	61	49	82	46	68	119	25	7	18	6
		100.0	43.2	25.3	20.3	34.0	19. 1	28. 2	49.4	10.4	2.9	7. 5	2.5

		調査数	活性化地域に密着した商店街の	るまちのにぎわい創出中心市街地の活性化によ	施設などの立地促進大規模なスーパー や商業	企業の立地促進	の支援 業家やベンチャー 企業へ新しい事業に挑戦する起	の振興 産地消の推進など など	場(雇用)の創出市内で働くことができる	慮した産業集積の推進解消など、土地利用に配住宅と工場の混在の弊害	その他	よくわからない	無回答
市	全体	2423	1184	699	463	736	444		1182	263	34	152	84
<u> </u>	I to the	100.0	48. 9	28. 8	19. 1	30. 4	18. 3		48.8	10. 9	1. 4	6. 3	3. 5
	山地部	29	10	3	1	10	4		10	3	1	5	2
	and the law	100.0	34. 5	10. 3	3. 4	34. 5	13.8		34. 5	10.3	3. 4	17. 2	6. 9
	丘陵部	239	94	63	49	87	55		110	23	2	12	9
I	In the second se	100.0	39. 3	26. 4	20.5	36. 4	23. 0		46. 0	9.6	0.8	5. 0	3. 8
居	周辺部 1	442	208	121	96	137	75	114	209	48	7	35	15
住		100.0	47.1	27. 4	21.7	31.0	17. 0	25.8	47. 3	10.9	1.6	7. 9	3. 4
地	中心部	1139	601	371	209	341	203	293	564	118	15	62	31
区		100.0	52.8	32. 6	18.3	29. 9	17.8		49. 5	10.4	1. 3	5.4	2. 7
	周辺部 2	490	232	123	92	135	92	122	246	59	5	31	21
		100.0	47.3	25. 1	18.8	27.6			50. 2	12.0	1.0	6.3	4. 3
	わからない	14	5	2	3	2	3	_	4	1	3	2	2
		100.0	35. 7	14. 3	21.4	14. 3	21.4	14. 3	28.6	7. 1	21.4	14.3	14. 3

(5) 文化・芸術に関する取り組み [問 25]

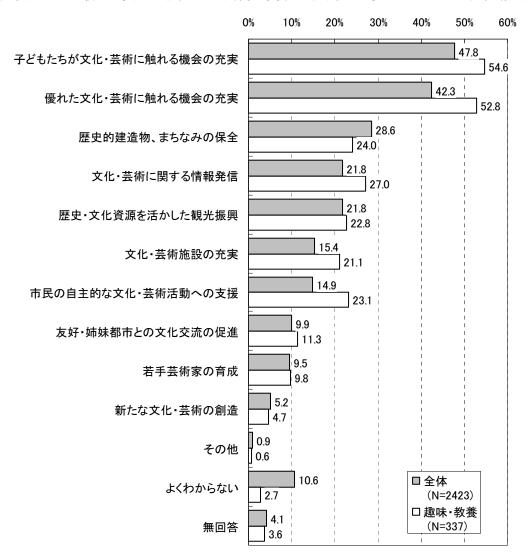
最も重要だと思う文化・芸術に関する取り組みは「子どもたちが文化・芸術に触れる機会の充実」が47.8%で最も多く、ついで「優れた文化・芸術に触れる機会の充実」が42.3%、「歴史的建造物、まちなみの保全」が28.6%となっている。



図表II-101 最も重要だと思う文化・芸術に関する取り組み(複数回答)

地域で「趣味・教養」に関する活動に参加している回答者の回答をみると、全般的に 全体よりも割合が高い傾向がみられる。

図表II-102 最も重要だと思う文化・芸術に関する取り組み(参加している地域活動別)



「子どもたちが文化・芸術に触れる機会の充実」の割合は、年齢別にみると、30 歳代で市全体よりも高くなっており、同居家族別にみると、就学前、小学生、中学生の子どもと同居する回答者で高くなっている。また、「若手芸術家の育成」は、年齢が低いほど割合が高くなっている。

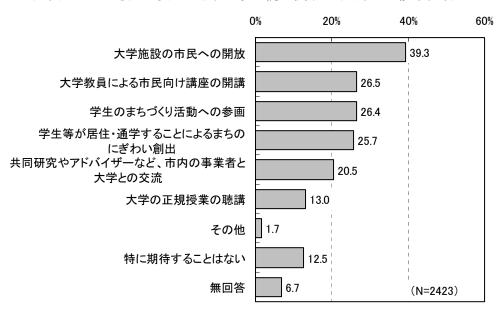
図表II-103 最も重要だと思う文化・芸術に関する取り組み(クロス集計)

		調査数	触れる機会の充実優れた文化・芸術に	援化・芸術活動への支市民の自主的な文	情報発信文化・芸術に関する	実化・芸術施設の充	充実芸術に触れる機会の子どもたちが文化・	若手芸術家の育成	創造新たな文化・芸術の	なみの保全歴史的建造物、まち	かした観光振興歴史・文化資源を活	文化交流の促進友好・姉妹都市との	その他	よくわからない	無回答
市全	全体	2423	1026	362	529	373	1159	229	127	694	529	240	22	258	99
Н	男性	100. 0 1088	42. 3 454	14. 9 173	21. 8 249	15. 4 181	47. 8 472	9. 5 100	5. 2 65	28. 6 327	21. 8 262	9. 9 105	0.9	10. 6 117	4. 1 47
性		100.0	41. 7	15. 9	22. 9	16. 6	43. 4	9. 2	6.0	30. 1	24. 1	9. 7	0.8	10.8	4. 3
別	女性	1237	534	171	260	174	644	118	55	342	241	121	12	135	46
	0.0 0.0 15	100.0	43. 2	13. 8	21.0	14. 1	52. 1	9.5	4.4	27. 6	19. 5	9.8	1.0	10.9	3. 7
	20~29歳	312 100. 0	127 40. 7	46 14. 7	55 17. 6	52 16. 7	165 52. 9	42 13. 5	23 7. 4	69 22. 1	57 18. 3	58 18. 6	0, 6	38 12. 2	4 1. 3
	30~39歳	379	139	38	60	44	230	49	18	121	85	44	4	35	7. 3
		100.0	36. 7	10.0	15.8	11.6	60. 7	12.9	4.7	31. 9	22.4	11. 6	1. 1	9. 2	1.8
	40~49歳	420	179	50	75	54	226	41	29	143	93	41	6	36	10
年齢	50~59歳	100.0	42.6	11. 9 60	17. 9 72	12. 9 45	53. 8	9. 8 27	6. 9	34. 0 97	22. 1 67	9.8	1.4	8. 6 35	2. 4
田口	50~59麻	311 100. 0	135 43. 4	19. 3	23. 2	45 14. 5	136 43. 7	8.7	4. 2	31. 2	21.5	23 7. 4	4 1. 3	11. 3	3. 2
	60~69歳	430	212	72	134	74	192	28	21	120	100	30	3	47	11
		100.0	49.3	16. 7	31.2	17. 2	44. 7	6.5	4. 9	27. 9	23. 3	7. 0	0.7	10.9	2.6
	70歳以上	516	208	91	124	89	186	36	20	128	113	36	3	66	53
\vdash	お公式の字状	100.0	40. 3 80	17. 6	24. 0 36	17. 2	36.0	7. 0 31	3. 9	24. 8 58	21. 9	7. 0 26	0.6	12.8	10. 3
	就学前の家族	235 100. 0	34. 0	26 11. 1	15. 3	24 10. 2	174 74. 0	13. 2	9 3. 8	24. 7	45 19. 1	11. 1	1 0. 4	18 7. 7	2.6
同	小学生の家族	292	95	30	44	22	209	31	18	83	54	33	1	25	14
居	·	100.0	32.5	10.3	15. 1	7.5	71.6	10.6	6.2	28. 4	18.5	11. 3	0.3	8.6	4.8
	中学生の家族	191	75	25	34	24	127	25	11	56	35	22	1	10	7
族	65歳以上の家族	100. 0 913	39. 3 395	13. 1 150	17. 8 220	12. 6 148	66. 5 396	13. 1 66	5. 8 47	29. 3 276	18. 3 200	11. 5 81	0.5	5. 2 107	3. 7
	0 3 成以上の家族	100. 0	43. 3	16. 4	24. 1	16. 2	43. 4	7. 2	5. 1	30. 2	21. 9	8. 9	1.0	11. 7	4. 6
	10年未満	120	50	16	17	15	67	25	6	24	26	10	2	16	2
居		100.0	41.7	13. 3	14. 2	12.5	55. 8	20.8	5.0	20.0	21.7	8.3	1.7	13. 3	1. 7
住年	10~19年	369 100, 0	149 40. 4	40 10. 8	66	41 11. 1	219 59. 3	42 11. 4	29 7. 9	102 27. 6	70 19. 0	40 10. 8	3 0. 8	36 9. 8	9 2. 4
	20年以上	1881	800	303	17. 9 438	302	851	11.4	89	551	420	10. 8	17	205	2. 4 84
200	20101	100.0	42. 5	16. 1	23. 3	16. 1	45. 2	8.3	4. 7	29. 3	22. 3	9. 7	0.9	10. 9	4. 5
	現在の場所に住み続けたい	1648	693	273	367	252	788	143	79	484	374	153	11	165	70
	## 1 -#-1 ### IB=6) 71	100.0	42. 1	16. 6	22. 3	15. 3	47. 8	8.7	4.8	29. 4	22. 7	9. 3	0.7	10.0	4. 2
	茨木市内で別の場所に引っ 越すかもしれない	233 100, 0	97 41. 6	29 12. 4	53 22. 7	35 15. 0	122 52. 4	26 11. 2	14 6, 0	71 30, 5	51 21. 9	33 14. 2	5 2. 1	21 9. 0	3. 0
	いずれは市外に引っ越すか	216	102	26	43	37	105	23	14	56	41	26	2. 1	26	5.0
意	もしれない	100.0	47. 2	12. 0	19. 9	17. 1	48. 6	10.6	6. 5	25. 9	19. 0	12. 0	0.9	12. 0	2. 8
	すぐにでも市外に引っ越し	14	5	0	3	5	5	0	2	3	3	2	0	1	1
	たい	100. 0	35. 7	0.0	21. 4	35. 7	35. 7	0.0	14. 3	21. 4	21. 4	14. 3	0.0	7. 1	7. 1
	わからない	241 100, 0	93 38. 6	29 12. 0	49 20. 3	29 12. 0	109 45. 2	30 12. 4	14 5, 8	59 24. 5	44 18. 3	19 7. 9	3 1, 2	40 16. 6	10 4. 1

		調査数	触れる機会の充実優れた文化・芸術に	援化・芸術活動への支市民の自主的な文	情報発信文化・芸術に関する	実化・芸術施設の充	充実 芸術に触れる機会の 子どもたちが文化・	若手芸術家の育成	創造新たな文化・芸術の	なみの保全歴史的建造物、まち	かした観光振興歴史・文化資源を活	文化交流の促進友好・姉妹都市との	その他	よくわからない	無回答
市	全体	2423	1026	362	529	373		229	127	694	529	240	22	258	99
		100.0	42. 3	14. 9	21.8		-	9. 5		28. 6	21.8	9. 9	0.9	10.6	4. 1
	山地部	29	10	5	8	7	9	3	3	6	10	0	1	4	3
		100.0	34. 5	17.2	27.6		31.0	10.3	10.3		34. 5	0.0	3.4	13.8	10.3
	丘陵部	239	95	43	53	37	111	19	12	79	60	26	0	22	11
		100.0	39. 7	18.0	22.2	15.5	46.4	7.9	5.0	33. 1	25. 1	10.9	0.0	9.2	4.6
居	周辺部 1	442	169	65	81	67	213	48	21	122	105	39	4	58	17
住		100.0	38. 2	14.7	18.3	15. 2	48.2	10.9	4.8	27.6	23.8	8.8	0.9	13. 1	3.8
地	中心部	1139	528	170	245	178	552	105	56	330	236	118	9	109	37
区		100.0	46.4	14.9	21.5	15.6	48.5	9.2	4. 9	29.0	20.7	10.4	0.8	9.6	3. 2
	周辺部 2	490	189	71	128	69	247	48	31	135	101	49	3	52	25
		100.0	38.6	14.5	26.1	14. 1	50.4	9.8	6.3	27.6	20.6	10.0	0.6	10.6	5. 1
	わからない	14	3	1	3	0	2	0	1	2	0	0	3	6	2
		100.0	21. 4	7.1	21.4	0.0	14. 3	0.0	7.1	14. 3	0.0	0.0	21.4	42.9	14.3

(6) 大学連携に関する取り組み [問 26]

最も重要だと思う大学連携に関する取り組みは「大学施設の市民への開放」が39.3%で最も多く、ついで「大学教員による市民向け講座の開講」が26.5%、「学生のまちづくり活動への参画」が26.4%、「学生等が居住・通学することによるまちのにぎわい創出」が25.7%となっている。



図表II-104 最も重要だと思う大学連携に関する取り組み(複数回答)

年齢別にみると、70歳以上では「大学施設の市民への開放」の割合が市全体よりも低くなっている。

図表II-105 最も重要だと思う大学連携に関する取り組み(クロス集計)

		調査数	け講座の開講大学教員による市民向	大学の正規授業の聴講	への参画 学生のまちづくり活動	放大学施設の市民への開	ぎわい創出ることによるまちのに学生等が居住・通学す	者と大学との交流ザーなど、市内の事業共同研究やアドバイ	その他	い特に期待することはな	無回答
市金	全体	2423 100. 0	643 26. 5	316 13. 0	640 26. 4	952 39. 3	623 25. 7	496 20. 5	40 1. 7	303 12. 5	162 6. 7
	男性	1088	278	140	295	414	313	242	22	135	60
性	7.10	100.0	25.6	12.9	27. 1	38. 1	28.8	22. 2	2.0	12.4	5. 5
別	女性	1237	344	166	320	502	282	236	16	159	87
	20~29歳	100. 0 312	27. 8 82	13. 4 53	25. 9 91	40. 6 121	22. 8 92	19. 1 70	1. 3	12. 9 42	7.0
	20 · 23 mg	100. 0	26. 3	17. 0	29. 2	38. 8	29. 5	22. 4	1.6	13. 5	1.6
	30~39歳	379	91	54	86	173	93	66	10	53	8
		100.0	24.0	14. 2	22.7	45.6	24. 5	17.4	2.6	14.0	2. 1
١.	40~49歳	420	134	77	91	202	85	84	6	41	19
年		100.0	31.9	18.3	21.7	48. 1	20. 2	20.0	1.4	9.8	4. 5
節	50~59歳	311	86	44	91	110	66	73	7	38	15
	60~69歳	100. 0 430	27. 7 117	14. 1 42	29. 3 126	35. 4 174	21. 2	23. 5 84	2. 3	12. 2 66	4.8
	00.009版	100.0	27. 2	9.8	29. 3	40. 5	26. 0	19. 5	0.9	15. 3	6.3
	7.0歳以上	516	122	39	139	149	159	107	7	61	83
	. 5 ////	100.0	23. 6	7. 6	26. 9	28. 9	30.8	20. 7	1. 4	11. 8	16. 1
	就学前の家族	235	62	25	59	97	65	56	4	28	8
		100.0	26.4	10.6	25. 1	41.3	27.7	23.8	1.7	11.9	3. 4
	小学生の家族	292	84	41	77	124	58	53	8	38	17
居宮	中学生の字状	100.0	28.8	14. 0	26. 4	42.5	19. 9	18. 2	2. 7	13.0	5.8
多族	中学生の家族	191 100. 0	59 30. 9	29 15. 2	58 30. 4	90 47. 1	42 22. 0	37 19. 4	2 1. 0	14 7. 3	10 5. 2
N/C	65歳以上の家族	913	240	105	253	342	255	19. 4	1.0	110	71
		100.0	26. 3	11.5	27. 7	37. 5	27. 9	21. 1	1. 5	12. 0	7. 8
	10年未満	120	29	16	40	46	40	25	3	15	3
居		100.0	24. 2	13.3	33. 3	38.3	33. 3	20.8	2.5	12.5	2.5
住	10~19年	369	103	60	86	167	85	68	10	41	12
年数	0.0 5 11 1	100.0	27. 9	16. 3	23. 3 500	45. 3	23. 0	18. 4	2.7	11. 1	3. 3
奴	20年以上	1881 100. 0	501 26. 6	231 12. 3	26. 6	716 38. 1	484 25. 7	391 20. 8	26 1. 4	244 13. 0	143 7. 6
	現在の場所に住み続けたい	1648	441	194	461	633	454	334	26	191	121
	Sult of military light of the v	100.0	26.8	11.8	28. 0	38. 4	27. 5	20. 3	1.6	11.6	7. 3
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	64	42	50	95	44	51	3	40	8
	かもしれない	100.0	27.5	18.0	21.5	40.8	18.9	21.9	1.3	17.2	3. 4
	いずれは市外に引っ越すかもし	216	64	34	57	99	54	46	3	18	7
	れない	100.0	29.6	15. 7	26. 4	45.8	25. 0	21. 3	1.4	8.3	3. 2
旧	すぐにでも市外に引っ越したい	14	2	2	4	5	3	2	1	3	1
1	わからない	100. 0 241	14. 3 56	14. 3 36	28. 6 49	35. 7 95	21. 4	14. 3 47	7. 1	21. 4	7. 1
1	47N-014V,	100.0	23. 2	36 14. 9	20. 3	39. 4	20. 3	19. 5	2. 1	19. 1	7. 1

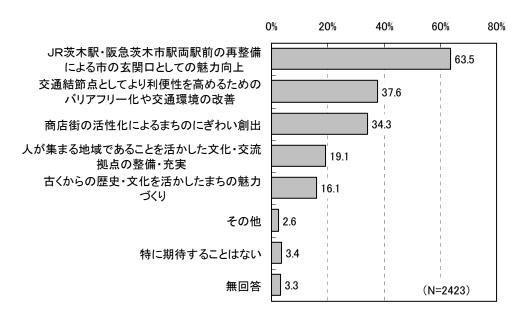
		調査数	け講座の開講大学教員による市民向	大学の正規授業の聴講	への参画学生のまちづくり活動	放大学施設の市民への開	ぎわい創出ることによるまちのに学生等が居住・通学す	大な研学と、や	その他	いちに期待することはな	無回答
市	全体	2423	643	316	640	952	623	496	40	303	162
		100.0		13.0	26. 4	39. 3		20. 5	1. 7	12. 5	6. 7
	山地部	29	8	1	8	8	3	8	0	6	5
	and the land	100.0	27. 6	3. 4	27. 6	27. 6	10.3		0.0	20. 7	17. 2
	丘陵部	239	66	32	70	85	54	66	3	23	21
l_		100.0	27. 6	13.4	29. 3	35.6	22.6	27. 6	1. 3	9.6	8.8
居	周辺部 1	442	92	56	110	165	114	98	11	76	27
住		100.0		12.7	24. 9	37.3	25.8	22. 2	2. 5	17.2	6. 1
地	中心部	1139	337	146	301	478	301	230	18	126	54
区		100.0	29. 6	12.8	26. 4	42.0	26. 4	20. 2	1.6	11.1	4. 7
	周辺部 2	490	126	73	133	186	132	78	5	57	46
		100.0	25. 7	14. 9	27. 1	38.0		15. 9	1.0	11.6	9. 4
	わからない	14	1	1	0	3	2	2	1	6	3
		100.0	7. 1	7. 1	0.0	21.4	14. 3	14. 3	7. 1	42.9	21.4

8. 茨木市のプロジェクトについて

(1) 市中心部の整備 [問 27]

市中心部の整備について期待することは「JR茨木駅・阪急茨木市駅両駅前の再整備による市の玄関口としての魅力向上」が63.5%で最も多く、ついで「交通結節点としてより利便性を高めるためのバリアフリー化や交通環境の改善」が37.6%、「商店街の活性化によるまちのにぎわい創出」が34.3%となっている。

図表Ⅱ-106 市中心部の整備で期待すること(複数回答)



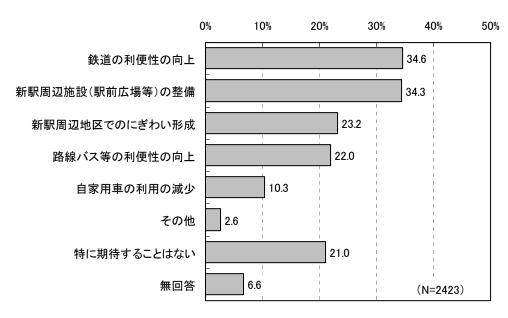
男女別にみると、女性のほうが、「交通結節点としてより利便性を高めるためのバリアフリー化や交通環境の改善」の割合が高くなっている。

図表II-107 市中心部の整備で期待すること(クロス集計)

		調査数	口としての魅力向上 駅前の再整備による市の玄関 JR茨木駅・阪急茨木市駅両	にぎわい創出商店街の活性化によるまちの	備・充実 活かした文化・交流拠点の整 人が集まる地域であることを	したまちの魅力づくり古くからの歴史・文化を活か	化や交通環境の改善を高めるためのバリアフリー交通結節点としてより利便性	その他	特に期待することはない	無回答
市	全体	2423	1538	831	金を 462	391	910	63	82	79
-	男性	100. 0 1088	63. 5 698	34. 3 388	19. 1 227	16. 1 178	37. 6 355	2. 6 36	3. 4 36	3. 3 35
性		100.0	64. 2	35. 7	20. 9	16. 4	32. 6	3. 3	3. 3	3. 2
別	女性	1237 100. 0	778 62. 9	413 33. 4	218 17. 6	196 15. 8	518 41. 9	26 2. 1	43 3. 5	36 2. 9
	20~29歳	312 100. 0	208	99	75	39 12. 5	115	11 3. 5	12 3. 8	5 1. 6
	30~39歳	379	66. 7 232	31. 7 115	24. 0 66	44	36. 9 171	3. 5 9	12	6
	40~49歳	100. 0 420	61. 2 273	30. 3 134	17. 4 76	11. 6 69	45. 1 171	2. 4	3. 2	1.6
年		100.0	65.0	31.9	18. 1	16. 4	40.7	3. 3	2. 1	1.4
齢	50~59歳	311 100. 0	191 61. 4	117 37. 6	53 17. 0	63 20. 3		13 4. 2	11 3. 5	7 2. 3
	60~69歳	430 100. 0	271 63. 0	167 38. 8	94 21. 9	74 17. 2	149 34. 7	3 0. 7	14 3. 3	12 2. 8
	70歳以上	516	331	181	90	92	167	13	23	40
	10年未満	100. 0 120	64. 1 84	35. 1 33	17. 4 29	17. 8 15	32. 4 46	2. 5 5	4. 5	7.8
居住		100.0	70.0	27. 5	24. 2	12. 5	38. 3	4. 2	2. 5	1.7
住年	10~19年	369 100. 0	232 62. 9	114 30. 9	76 20. 6	54 14. 6		12 3. 3	9 2. 4	9 2. 4
数	20年以上	1881 100. 0	1191 63. 3	668 35. 5	350 18. 6	312 16. 6	693 36. 8	46 2. 4	69 3. 7	65 3. 5
	現在の場所に住み続けたい	1648	1050	584	320	274	610	37	54	57
	 	100. 0 233	63. 7 145	35. 4 83	19. 4 41	16. 6 38		2. 2	3. 3	3.5
居	かもしれない	100.0	62. 2	35. 6	17.6	16. 3	36. 9	3. 0	3. 0	1. 7
	いずれは市外に引っ越すかもし れない	216 100. 0	139 64. 4	66 30. 6	53 24. 5	30 13. 9	80 37. 0	8 3. 7	7 3. 2	5 2. 3
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14	9	4	1	2	7	1 7 1	0	7 1
	わからない	100. 0 241	64. 3 156	28. 6 72	7. 1 37	14. 3 35	95	7. 1	0.0	7. 1 6
L		100.0	64. 7	29. 9	15. 4	14. 5	39. 4	3. 3	5. 4	2. 5
		調查数	玄関口としての魅力向上両駅前の再整備による市のJR茨木駅・阪急茨木市駅	のにぎわい創出 商店街の活性化によるまち	の整備・充実と活かした文化・交流拠点	かしたまちの魅力づくり古くからの歴史・文化を活	リー 化や交通環境の改善性を高めるためのバリアフ交通結節点としてより利便	その他	特に期待することはない	無回答
市	全体	2423 100. 0	1538 63. 5	831 34. 3	462 19. 1	391 16. 1	910 37. 6	63 2. 6	82 3. 4	79 3. 3
	山地部	29	11	9	3	8	11	1	3	4
	丘陵部	100. 0 239	37. 9 149	31. 0 73	10. 3 53	27. 6 51	37. 9 89	3. 4	10. 3	13. 8 5
居	周辺部 1	100. 0 442	62. 3 292	30. 5 130	22. 2 75	21. 3 58	37. 2 175	2. 5 10	3. 3 24	2. 1 14
住		100.0	66. 1	29.4	17.0	13.1	39.6	2. 3	5. 4	3. 2
地区	中心部	1139 100. 0	766 67. 3	426 37. 4	218 19. 1	178 15. 6	415 36. 4	32 2. 8	25 2. 2	23 2. 0
Γ	周辺部 2	490	272	169	100	80	187	10	19	25
	わからない	100. 0	55. 5 8	34. 5	20. 4	16. 3 2		2. 0	3. 9	5. 1 3
1		100.0		21. 4	7. 1	14. 3		21.4	7. 1	21. 4

(2) JR新駅の開業 [問 28]

JR新駅(摂津富田駅・茨木駅間、庄一丁目)の整備にあたって期待することは「鉄道の利便性の向上」が34.6%で最も多く、ついで「新駅周辺施設(駅前広場等)の整備」が34.3%、「新駅周辺地区でのにぎわい形成」が23.2%となっている。



図表II-108 JR新駅の整備で期待すること(複数回答)

年齢別にみると、70歳以上で「路線バス等の利便性の向上」の割合が、他の年代と比べて高くなっている。

居住地区別にみると、丘陵部で「路線バス等の利便性の向上」の割合が高くなっている。

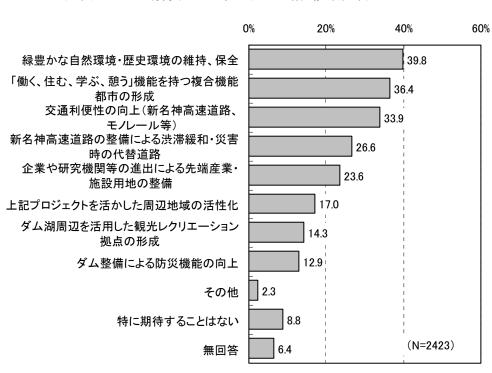
図表II-109 JR新駅の整備で期待すること(クロス集計)

		調査	鉄道の	の路 向線 上バ	広新 場駅 等周	少自 家 用	ぎ新わり	そ の 他	な特 いに 期	無回
		数	利	エハ	受問し	車	形辺	TE	待	答答
		,,,,	便	等	の施	の	成地		す	
			性	の	整設	利	区		ること	
			の	利	備へ	用	で		J.	
			向	便	駅	の	の			
+	^ <i>/</i> /-	0.400	上	性	前	減	に		は	4.50
巾鱼	全体	2423 100. 0	839 34. 6	532 22. 0	830 34. 3	250 10. 3	561 23. 2	63 2. 6	510 21. 0	159 6. 6
	男性	100.0	371	219	387	10. 3	276	45	221. 0	63
性	<i>7</i> 7 II.	100.0	34. 1	20. 1	35. 6	11. 2	25. 4	4. 1	20. 3	5. 8
	女性	1237	441	284	412	119	256	17	275	86
		100.0	35. 7	23.0	33. 3	9.6	20.7	1.4	22. 2	7.0
	20~29歳	312	111	69	110	24	75	13	73	8
		100.0	35. 6	22. 1	35. 3	7.7	24. 0	4. 2	23. 4	2.6
	30~39歳	379	124	70	121	37	95	16	94	17
	4.0.45	100.0	32. 7	18. 5	31. 9	9.8	25. 1	4. 2	24. 8	4. 5
年	40~49歳	420	143	76	142	59	89	12	97	16
齢	50~59歳	100. 0 311	34. 0 111	18. 1	33. 8 110	14. 0 28	21. 2 83	2. 9	23. 1 66	3. 8 16
MI	30.039 mx	100. 0	35. 7	19. 6	35. 4	9. 0	26. 7	2. 9	21. 2	5. 1
	60~69歳	430	148	91	157	42	101	7	89	28
	0 0 0 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	100.0	34. 4	21. 2	36. 5	9.8	23. 5	1.6	20. 7	6. 5
	70歳以上	516	183	144	170	57	103	6	86	70
		100.0	35. 5	27. 9	32. 9	11.0	20.0	1.2	16.7	13.6
	10年未満	120	39	30	38	9	29	5	33	2
居		100.0	32. 5	25.0	31. 7	7.5	24. 2	4. 2	27. 5	1.7
住	10~19年	369	127	61	116	47	96	8	92	10
年数	0.0501	100.0	34. 4	16. 5	31. 4	12.7	26. 0	2. 2	24. 9	2. 7
奴	20年以上	1881 100. 0	653 34. 7	421 22. 4	658 35. 0	191 10. 2	423 22. 5	50 2. 7	378 20. 1	144 7. 7
	現在の場所に住み続けたい	1648	586	351	583	174	386	34	331	119
	ラピューマンのカフト(C 圧 V NOLY) / C V	100.0	35. 6	21. 3	35. 4	10.6	23. 4	2. 1	20. 1	7. 2
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	75	46	78	26	58	5	58	9
居	かもしれない	100.0	32. 2	19. 7	33. 5	11. 2	24. 9	2. 1	24. 9	3. 9
	いずれは市外に引っ越すかもし	216	63	50	67	23	49	13	50	13
	れない	100.0	29. 2	23. 1	31.0	10.6	22.7	6.0	23. 1	6.0
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14	3	2	6	0	4	1	4	1
	1 2 8 2 2	100.0	21. 4	14. 3	42. 9	0.0	28. 6	7. 1	28.6	7. 1
	わからない	241	81	60	73	21	50	9	59	11
Щ		100.0	33. 6	24. 9	30.3	8. 7	20. 7	3. 7	24. 5	4.6

		調査数	鉄道の利便性の向上	の向上路線バス等の利便性	広場等)の整備新駅周辺施設(駅前	少の利用の減	ぎわい形成新駅周辺地区でのに	その他	ない特に期待することは	無回答
市全体		2423	839	532	830	250	561	63	510	159
		100.0	34. 6	22.0	34. 3	10.3	23. 2	2.6	21.0	6.6
	山地部	29	5	8	4	3	1	3	10	4
		100.0	17. 2	27.6	13.8	10.3	3. 4	10.3	34. 5	13.8
	丘陵部	239	66	84	73	22	44	9	54	13
		100.0	27.6	35. 1	30.5	9.2	18.4	3.8	22.6	5.4
居	周辺部 1	442	155	112	161	35	101	13	89	26
住		100.0	35. 1	25. 3	36. 4	7. 9	22.9	2.9	20. 1	5.9
地	中心部	1139	408	191	419	141	280	26	234	74
区		100.0	35.8	16.8	36.8	12. 4	24.6	2.3	20.5	6.5
	周辺部 2	490	178	110	153	42	115	10	107	34
		100.0	36. 3	22. 4	31. 2	8.6	23.5	2.0	21.8	6.9
	わからない	14	3	4	1	3	4	1	4	1
		100.0	21. 4	o.∕28.6	7. 1	21. 4	28.6	7. 1	28.6	7. 1

(3) 北部地域でのまちづくり [問 29]

北部地域の整備に期待することは「緑豊かな自然環境・歴史環境の維持、保全」が39.8%で最も多く、ついで「「働く、住む、学ぶ、憩う」機能を持つ複合機能都市の形成」が36.4%、「交通利便性の向上(新名神高速道路、モノレール等)」が33.9%となっている。



図表II-110 期待する北部地域の整備(複数回答)

年齢別にみると、「交通利便性の向上 (新名神高速道路、モノレール等)」の割合は、 年代が低いほど高くなっている。

居住地区別にみると、山地部は「上記プロジェクトを活かした周辺地域の活性化」の 割合が高くなっている。

図表Ⅱ-111 期待する北部地域の整備(クロス集計)

			都うっ	地に企	のダ	の光ダ	等神交	代よ新	し上	環緑	そ	特	
		調	市」働	のよ業	向ム	形レム	高通	替る名 道渋神	た記	境豊	の	に	無
		查	の機く	整るや	上整	成ク湖	速利	直 渋 神	周プ	のか	他	期	<u> </u>
		数	形能、	備先研	備	リ周		路滞高	辺ロ	維な		待	答
			成を住	端究	に	エ辺 を	路性	緩速 和道	地ジ城エ	持自		すっ	
			持む、つ	産機業関	よる	シ活	`の モ向	・路	吸上のク	、然 保環		3	
			複学	来 第	防	ョ用	7上	災の	活ト	休 全境		ること	
			合ぶ	施の	災	ンし	レニ	害整	性を	土児		は	
			機、	設進	機	拠た	一新	時備	化活	歴		な	
			能憩	用出	能	点観	ル名	のに	カュ	史		٧١	
市	全体	2423	881	573	312	347	821	645	413	964	55	214	154
		100.0	36.4	23.6	12.9	14. 3	33. 9	26.6	17.0	39.8	2.3	8.8	6.4
	男性	1088	395	284	133	223	370	328	195	412	27	83	60
性		100.0	36. 3	26. 1	12.2	20. 5	34.0	30. 1	17. 9	37. 9	2. 5	7. 6	5. 5
別	女性	1237	450	260	162	106	419	299	200	523	26	123	83
	16	100.0	36. 4	21.0	13. 1	8.6	33. 9	24. 2	16. 2	42. 3	2. 1	9. 9	6. 7
	20~29歳	312	139	72	25	22	128	89	54	120	10	26	8
	0.0 0.045	100.0	44. 6	23. 1	8. 0	7. 1	41.0	28. 5	17. 3	38. 5	3. 2	8. 3	2. 6
	30~39歳	379	134	78	42	42	144	105	70	153	8	39	17
	40~49歳	100. 0 420	35. 4 131	20. 6	11. 1	11. 1	38. 0	27. 7	18. 5 73	40. 4 178	2. 1	10. 3	4. 5 13
年	40~49戚	420 100. 0	31. 2	95 22. 6	45 10. 7	57	163 38. 8	130 31. 0		42. 4	9		3. 1
静	50~59歳	311	118	22. 6 80	33	13. 6 44	38. 8	93	17. 4 64	120	2. 1	8. 1 19	13
四川	50~59成	100.0	37. 9	25. 7	33 10. 6	14. 1	36. 0	29. 9	20. 6	38. 6	4. 2	6. 1	4. 2
	60~69歳	430	170	105	59	79	120	104	76	189	6	37	28
	00-09 mx	100. 0	39. 5	24. 4	13. 7	18. 4	27. 9	24. 2	17. 7	44. 0	1. 4	8.6	6. 5
	70歳以上	516	170	126	97	94	133	112	69	184	8	54	71
		100.0	32. 9	24. 4	18. 8	18. 2	25. 8	21. 7	13. 4	35. 7	1. 6	10. 5	13. 8
	10年未満	120	52	26	8	14	52	34	28	45	2	14	3
居		100.0	43.3	21.7	6.7	11. 7	43.3	28. 3	23. 3	37. 5	1.7	11.7	2.5
住	10~19年	369	121	84	44	40	147	112	61	128	6	37	9
年		100.0	32.8	22.8	11.9	10.8	39.8	30.4	16. 5	34. 7	1.6	10.0	2.4
数	20年以上	1881	690	446	250	285	601	487	318	773	45	158	139
		100.0	36. 7	23.7	13.3	15. 2	32.0	25. 9	16. 9	41.1	2.4	8.4	7.4
	現在の場所に住み続けたい	1648	605	384	231	270	540	436	271	667	34	138	113
		100.0	36. 7	23. 3	14.0	16. 4	32.8	26. 5	16. 4	40. 5	2. 1	8. 4	6. 9
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	79	54	18	25	85	63	50	91	8	25	10
居	かもしれない	100.0	33. 9	23. 2	7. 7	10.7	36. 5	27. 0	21. 5	39. 1	3. 4	10.7	4. 3
	いずれは市外に引っ越すかもし	216	78	56	20	23	78	62	40	92	5	14	14
	れない	100.0	36. 1	25. 9	9. 3	10.6	36. 1	28. 7	18. 5	42.6	2. 3	6. 5	6.5
	すぐにでも市外に引っ越したい	14	6	2	1	2	5	_	1	2	1	3	1
1	1-2.8.8.453	100.0	42. 9	14. 3	7.1	14. 3	35. 7	28. 6	7. 1	14. 3	7. 1	21. 4	7.1
1	わからない	241	89	55	28	15	86	63	44	86	5	27	11
		100.0	36. 9	22.8	11.6	6.2	35. 7	26. 1	18.3	35. 7	2. 1	11. 2	4.6

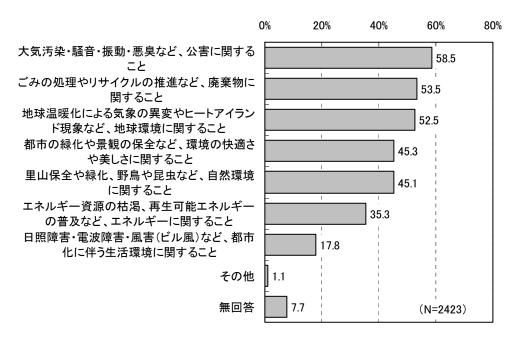
				設出企	能ダ	拠観ダ	レ名交		化か上	史緑	そ	い特	
		調		用に業	のム	点光ム	神通		し記	環豊	の	に	無
		查数	都一く	地よや	向整	のレ湖	ル高利		たプ	境か	他	期待す	回答
		数	市機 `	のる研	上備	形ク周			周口	のな		待	答
				整先究	に	成リ辺)道性		辺ジ	維自		す	1
			形をむ		よ	エを		路緩道	地エ	持然		ること	1
			成持、	産関	る	1活	`向	和路	域ク	、環		Ξ.	1
			つ学	業等	防	シ用	モ上	• の	のト	保境			1
			複ぶ、	・の	災	ョし	ノニ		活を	全・		は	i I
			合 `	施進	機	ンた	新	害備	性活	歴		な	i
市	全体	2423	881	573	312	347	821	645	413	964	55	214	154
		100.0	36. 4	23.6	12.9	14.3	33.9	26.6	17.0	39.8	2.3	8.8	6.4
	山地部	29	9	3	1	6	10	4	13	10	3	2	4
		100.0	31.0	10. 3	3.4	20.7	34. 5	13.8	44.8	34. 5	10.3	6.9	13.8
	丘陵部	239	104	54	25	40	94	61	52	103	9	10	13
		100.0	43.5	22. 6	10.5	16.7	39.3			43. 1	3.8		5.4
居	周辺部 1	442	153	106	58	67	150	133	80	169	10	34	27
住		100.0	34. 6	24.0	13. 1	15. 2	33. 9	30.1	18. 1	38. 2	2.3	7.7	6.1
地	中心部	1139	416	286	153	156	377	299	186	461	24	97	68
区		100.0	36. 5	25. 1	13. 4	13.7	33. 1	26.3		40.5	2. 1	8.5	6.0
	周辺部 2	490	172	106	59	67	161	133	73	193	7	58	35
		100.0	35. 1	21.6	12.0	13.7	32. 9		14. 9	39. 4	1.4	11.8	7.1
	わからない	14		0	3	0	4	3	2	5	0	4	1
		100.0	28.6	0.0	21.4	0.0	28.6	21.4	14.3	35. 7	0.0	28.6	7.1

9. 環境に関する取り組みについて

(1) 「環境」からイメージするもの [問 30]

「環境」という言葉からイメージするものは「大気汚染・騒音・振動・悪臭など、公害に関すること」が 58.5%で最も多く、ついで「ごみの処理やリサイクルの推進など、廃棄物に関すること」が 53.5%、「地球温暖化による気象の異変やヒートアイランド現象など、地球環境に関すること」が 52.5%となっている。

図表II-112「環境」からイメージするもの(複数回答)



年齢別にみると、「地球温暖化による気象の異変やヒートアイランド現象など、地球環 境に関すること」の割合は、年代が低いほど高くなっており、「都市の緑化や景観の保全 など、環境の快適さや美しさに関すること」の割合は、60歳代以上で高くなっている。

図表II-113 「環境」からイメージするもの(クロス集計)

_			_	13 4 17	\U \	1 2 1	2	T >	[BB 33 4-		
		調査数	エネルギーに関することでおれず一に関することではエネルギーの普及など、	、 地球環境に関することとートアイランド現象なヒートアイランド現象な	進など、廃棄物に関することごみの処理やリサイクルの推	など、公害に関すること大気汚染・騒音・振動・悪臭	など、自然環境に関すること里山保全や緑化、野鳥や昆虫	う生活環境に関すること(ビル風)など、都市化に伴日照障害・電波障害・風害	では、環境の快適さや美し すること すること	その他	無回答
市生	全体	242	3 85	5 1273	1297	7 1417	7 109	3 43	1 1097	27	18
	男性	100. 108		_						1. 1 17	
性別		100. 123	39.	7 50.4			6 44.	1 16.	8 45. 4	1. 6 10	6.
73-3		100.	31.	1 55.3	54. 1	60.	1 45.9	9 18.	45.2	0.8	8.
	20~29歳	31: 100.								3 1. 0	1
	30~39歳	379 100.					1			4 1. 1	
左	40~49歳	420	0 17	6 243	238	3 243	3 19	0 7:	2 187	5	2
年齢		100.	1 9	7 165	176	5 193	3 14	4 5	5 137	1. 2	18
	60~69歳	100.								0. 3	
	70歳以上	100. 51	34.	0 49.3			49.3	3 17.		1.6	7.
		100.	31.	6 44.4	53.3	53.	1 39.	7 19.	0 47.9	1.4	15.
居	10年未満	120 100.								3. 3	l .
住年		369 100.					1			2 0. 5	10
数		188	1 64	4 970	1007	7 1092	2 85	4 33	6 866	20	16
	現在の場所に住み続けたい	100. 1648								1. 1 16	
	 	100.								1.0	1
	かもしれない	100.	36.	5 59.7	52. 4	63.5	5 45.9	9 14.	2 44.6	2.1	6.
意	いずれは市外に引っ越すかもしれない	210 100.					1			0. 9	
向	すぐにでも市外に引っ越したい	100.		4 7 6 50.0					5 5 7 35. 7	0.0	
	わからない	24 100.	1 8	5 138	138	3 149	9 10'	7 4	3 118	3	10
		100.	エ 可 エ	どや地	進ご		な里		関ど都		4.
		調	ネ能ネ	`ヒ球	なみ	な大ど気	ど山	う(日生)	す `市	その。	無
		查数		地一温球ト暖	どの、処	`汚 公染	`保 自全		る環のこ境緑	他	回 答
				環ア化 境イに	廃理棄や	害・に騒	然や 環緑	境 にな電	との化 快や		
			関ー源すのの	にラよ 関ンる	物リにサ	関音	境化に	関ど波す、障	適景さ観		
			る普枯	すド気	関イ	る振	関野	る都害	やの		
			こ及渇とな	る現象こ象の	すク るル	こ動と・	す鳥 るや	こ市・ と化風	美保し全		
			ど再 、生	とな異変	この と推	悪臭	こ昆と虫	に害 伴	さな に		
	市全体	2423 100. 0	855 35. 3	1273 52. 5	1297 53. 5	1417 58. 5	1093 45. 1	431 17. 8	1097 45. 3	27 1. 1	187 7. 7
	山地部	29	7	17	14	16	16	4	12	2	4
	丘陵部	100. 0 239	24. 1 76	58. 6 124	48. 3 128	55. 2 138	55. 2 125	13. 8 37	41. 4 106	6.9	13. 8 18
	居 周辺部 1	100. 0 442	31. 8 156	51. 9 212	53. 6 241	57. 7 264	52. 3 208	15. 5 66	44. 4 194	1. 3	7. 5 35
	住	100.0	35. 3	48. 0	54. 5	59. 7	47. 1	14. 9	43. 9	1.6	7. 9
	地中心部区	1139 100. 0	422 37. 1	631 55. 4	604 53. 0	661 58. 0	507 44. 5	233 20. 5	532 46. 7	14 1. 2	83 7. 3
	周辺部 2	490	164	254	269	297	207	75	223	1	37

254

51.8

35. 7

54.9

269

297

207

42.2

223 45.5

164 33. 5

100.0

14 100. 0

490

周辺部2

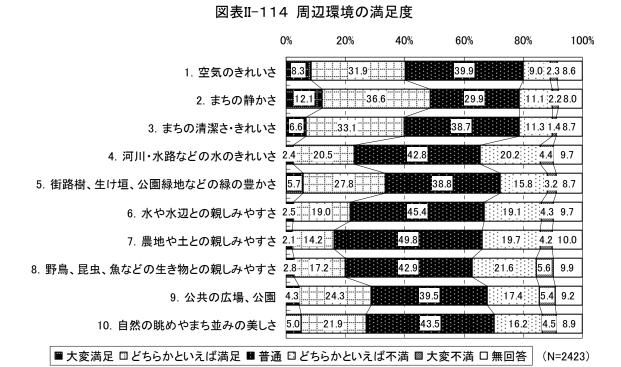
わからない

(2) 周辺環境についての満足度 [問31]

住まいの周辺の環境について「満足」(「大変満足」「どちらかといえば満足」の合計) の割合が最も高いのは「2. まちの静かさ」で、ついで「1. 空気のきれいさ」、「3. まち の清潔さ・きれいさ」となっている。

一方、「不満」(「大変不満」「どちらかといえば不満」の合計)の割合が最も高いのは「8. 野鳥、昆虫、魚などの生き物との親しみやすさ」で、ついで「4. 河川・水路などの水のきれいさ」、「7. 農地や土との親しみやすさ」となっている。

周辺環境のなかでも、生活環境に関する満足度は比較的高いが、自然環境に関する満足度はやや低い結果となっている。



99

(3) 「茨木の自然」からイメージするもの [問 32]

「茨木の自然」からイメージするものは「西河原公園、耳原公園、あさぎ里山公園、若園バラ公園…などの公園」が54.7%で最も多く、ついで「竜王山などの北摂山系」が41.4%、「安威川、高瀬川親水水路、十丁畷水路…などの水辺」が27.0%となっている。

40% 60% 0% 20% 西河原公園、耳原公園、あさぎ里山公園、若園 54.7 バラ公園…などの公園 41.4 竜王山などの北摂山系 安威川、高瀬川親水水路、十丁畷水路 27.0 …などの水辺 25.3 元茨木川緑地 里山の森林 24.7 オオサンショウウオ、ゲンジボタル、ヒメボタル 22.5 …などの生物 棚田などの田園風景 20.6 19.8 青少年野外活動センター キツネノカミソリ…などの植物 3.5 1.9 その他 無回答 7.3 (N=2423)

図表II-115 「茨木の自然」からイメージするもの(複数回答)

年齢別にみると、20歳代では「元茨木川緑地」と「里山の森林」の割合が市全体と比べて低くなっている一方で、70歳以上では「元茨木川緑地」の割合が市全体よりも高くなっている。

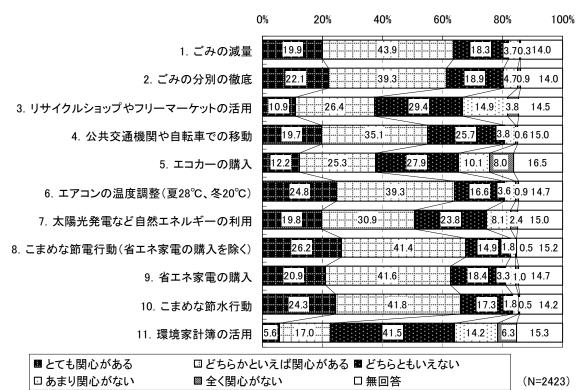
図表II-116「茨木の自然」からイメージするもの(クロス集計)

_									-	- н г /			
		調査数	ど山原 の公公	などの水辺 下畷水路… 下畷水路… 高瀬川親水水路、十	どルサ の、ン 生ヒシ	などの植物キツネノカミソリ…	元茨木川緑地	青少年野外活動センター	里山の森林	棚田などの田園風景	竜王山などの北摂山系	その他	無回答
市全	全体	2423	1325	653	546	86	613	480	599	500	1002	47	177
	HI LuL	100.0	54. 7	27. 0		3.5	25. 3	19.8	24. 7	20.6	41. 4	1.9	7. 3
性	男性	1088 100. 0	562 51. 7	341 31. 3	254 23. 3	47 4. 3	273 25. 1	199 18. 3	272 25. 0	240 22. 1	468 43. 0	17 1. 6	75 6. 9
莂	女性	1237	703	292	270	35	323	265	294	238	494	30	92
	0.0 - 0.0 告	100.0	56. 8	23. 6		2.8	26. 1	21. 4	23. 8	19. 2	39.9	2. 4	7.4
	20~29歳	312 100. 0	193 61. 9	88 28. 2	63 20. 2	8 2. 6	45 14. 4	55 17. 6	38 12. 2	41 13. 1	100 32. 1	10 3. 2	12 3. 8
	30~39歳	379	219	89	74	4	59	89	82	63	121	13	20
	40~49歳	100. 0 420	57. 8 222	23. 5 102	19. 5 87	1. 1 7	15. 6 98	23. 5 109	21. 6 116	16. 6 87	31. 9 182	3. 4	5. 3 21
年	40.549成	100. 0	52. 9	24. 3	20. 7	1. 7	23. 3	26. 0	27. 6	20. 7	43. 3	1. 2	5. 0
齢	50~59歳	311	147	91	74	9	80	65	86	67	145	5	21
	60~69歳	100. 0 430	47. 3 221	29. 3 117	23. 8 127	2. 9 29	25. 7 134	20. 9 67	27. 7 133	21. 5 110	46. 6 202	1.6	6. 8 27
	0 0 0 3 Mgs	100.0	51. 4	27. 2		6. 7	31. 2	15. 6	30. 9	25. 6	47. 0	1. 9	6.3
	70歳以上	516	286	153		28	188	84	125	119	229	6	73
	10年未満	100. 0 120	55. 4 75	29. 7 20	20. 3	5. 4 1	36. 4 15	16. 3 16	24. 2 26	23. 1	44. 4 25	1. 2	14. 1 5
居		100.0	62.5	16. 7	16. 7	0.8	12. 5	13. 3	21.7	19. 2	20.8	6. 7	4.2
住年	10~19年	369	216	99	78	7	73	62	82	52	107	12	15
	20年以上	100. 0 1881	58. 5 1000	26. 8 522	21. 1 433	1. 9 76	19. 8 515	16. 8 391	22. 2 474	14. 1 411	29. 0 847	3. 3 26	4. 1 154
		100.0	53. 2	27.8		4. 0	27. 4	20.8	25. 2	21.9	45.0	1.4	8.2
	現在の場所に住み続けたい	1648 100. 0	904 54. 9	451 27. 4	377 22. 9	64 3. 9	475 28. 8	341 20. 7	424 25. 7	361 21. 9	713 43. 3	26 1. 6	129 7. 8
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	116	66	43	7	38	49	61	49	92	11	12
	かもしれない	100.0	49. 8	28. 3	18. 5	3. 0	16. 3	21. 0	26. 2	21.0	39. 5	4. 7	5. 2
	いずれは市外に引っ越すかもし れない	216 100. 0	125 57. 9	56 25. 9		6 2. 8	38 17. 6	31 14. 4	41 19. 0	29 13. 4	72 33. 3	4 1. 9	16 7. 4
	すぐにでも市外に引っ越したい	14	6	4		0	1	3	1	2	8	1	1
	わからない	100. 0 241	42. 9 131	28. 6 60		0.0	7. 1 48	21. 4	7. 1 54	14. 3	57. 1	7. 1	7. 1
	47/14/20/20	100. 0	54. 4	24. 9		3. 3	19. 9	17. 8	22. 4	18. 3	36. 5	2. 1	5. 4
		調查数	をどの公園、	ど水川 の路	などの生物タル、ヒメボタル… オサンショウウオ、ゲン	などの植物キツネノカミソリ…	元茨木川緑地	青少年野外活動センター	里山の森林	棚田などの田園風景	竜王山などの北摂山系	その他	無回答
市生	全体	2423 100. 0	1325 54. 7	653 27. 0	22. 5	86 3. 5	613 25. 3	19.8	599 24. 7	500 20. 6	1002 41. 4	47 1. 9	177 7. 3
	山地部	29 100. 0	13. 8	5 17. 2		7 24. 1	3. 4	4 13. 8	14 48. 3	18 62. 1	18 62. 1	1 3. 4	4 13. 8
	丘陵部	239	106	58	71	10	28	47	91	73	117	4	17
E	国江中 1	100.0	44. 4	24. 3		4.2	11.7	19. 7	38. 1	30. 5	49.0	1. 7	7.1
居住	周辺部 1	442 100. 0	236 53. 4	111 25. 1	101 22. 9	14 3. 2	73 16. 5	89 20. 1	116 26. 2	88 19. 9	187 42. 3	9 2. 0	36 8. 1
地	中心部	1139	659	322	240	41	355	221	244	213	471	25	77
区	国江州中	100.0	57. 9	28. 3		3.6	31. 2	19. 4	21. 4	18. 7	41.4	2. 2	6.8
	周辺部 2	490 100. 0	271 55. 3	140 28. 6		12 2. 4	142 29. 0	108 22. 0	113 23. 1	89 18. 2	181 36. 9	6 1. 2	35 7. 1
	わからない	14	7	4	2	0	3	0	0	2	4	2	1
		100.0	50.0	28.6	14. 3	0.0	21.4	0.0	0.0	14. 3	28.6	14.3	7.1

(4) 環境負荷の低減や省エネルギーについての関心 [問 33-1]

「関心がある」(「とても関心がある」「関心がある」の合計)の割合が最も高いのは「8. こまめな節電行動(省エネ家電の購入を除く)」で、ついで「10. こまめな節水行動」、「6. エアコンの温度調整(\bar{g} 28 \mathbb{C} 、冬 20 \mathbb{C})」となっている。

一方、「関心がない」(「全く関心がない」「あまり関心がない」の合計)の割合が最も高いのは「11. 環境家計簿の活用」で、ついで「3. リサイクルショップやフリーマーケットの活用」、「5. エコカーの購入」となっている。

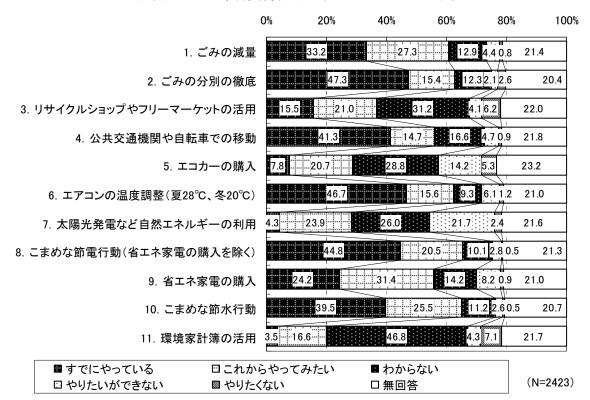


図表Ⅱ-117 環境負荷低減や省エネルギーへの関心

(5) 環境負荷の低減や省エネルギーについての取り組み状況 [問 33-2]

「すでにやっている」の割合が最も高いのは「2. ごみの分別の徹底」で、ついで「6. エアコンの温度調整(夏 28 \mathbb{C} 、冬 20 \mathbb{C})」、「8. こまめな節電行動(省エネ家電の購入を除く)」となっている。

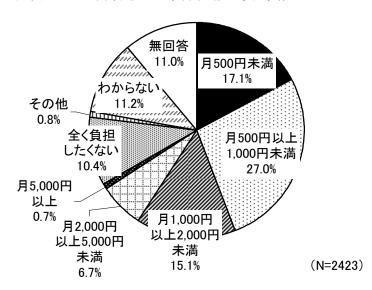
一方、「やりたいができない」の割合が最も高いのは「7. 太陽光発電など自然エネルギーの利用」で、ついで「5. エコカーの購入」、「9. 省エネ家電の購入」となっている。



図表Ⅱ-118 環境負荷低減や省エネルギーへの取組

(6) 許容される環境活動の家計の負担 [問34]

増えても良いと考える環境活動に取り組むための家計の負担は「月 500 円以上 1,000 円未満」が 27.0%で最も多く、ついで「月 500 円未満」が 17.1%、「月 1,000 円以上 2,000 円未満」が 15.1%となっている。



図表II-119 許容される環境活動の家計負担

年齢別にみると、いずれの年代でも、「月 500 円以上 1,000 円未満」の割合が最も高くなっている。また、「全く負担したくない」の割合は、年代が低いほど高くなっている。

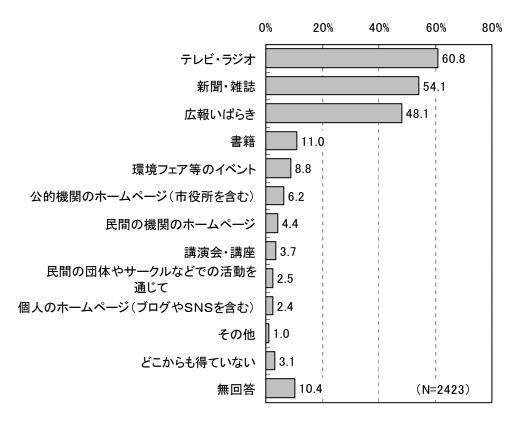
図表II-120 許容される環境活動の家計負担(クロス集計)

			_110.0								
		調査数	月500円未満	月500円以上	月1000円以上	月2000円 5000円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	月5000円以上	全く負担したくない	その他	わからない	無回答
市生	全体	2423	415	654	366	163	16	251	19	272	267
		100.0	17. 1	27.0	15. 1	6.7	0.7	10.4	0.8	11.2	11.0
	男性	1088	168	291	189	93	11	105	8	108	115
性		100.0	15.4	26.7	17.4	8.5	1.0	9.7	0.7	9.9	10.6
别	女性	1237	234	339	160	63	5	136	10	157	133
		100.0	18.9	27.4	12.9	5. 1	0.4	11.0	0.8	12.7	10.8
	20~29歳	312	61	77	46	15	1	45	4	36	27
		100.0	19.6	24.7	14.7	4.8	0.3	14.4	1.3	11.5	8.7
	30~39歳	379	79	105	50	24	0	52	5	38	26
		100.0	20.8	27.7	13.2	6.3	0.0	13.7	1.3	10.0	6.9
	40~49歳	420	83	126	61	34	6	37	2	39	32
年		100.0	19.8	30.0	14.5	8. 1	1.4	8.8	0.5	9.3	7.6
齢	50~59歳	311	51	95	41	19	3	28	1	48	25
		100.0	16.4	30.5	13.2	6.1	1.0	9.0	0.3	15.4	8.0
	60~69歳	430	58	114	73	42	2	40	4	45	52
		100.0	13.5	26.5	17.0	9.8	0.5	9.3	0.9	10.5	12. 1
	70歳以上	516	75	128	86	25	4	44	2	61	91
		100.0	14.5	24.8	16.7	4.8	0.8	8.5	0.4	11.8	17.6
	10年未満	120	21	40	15	4	1	19	2	11	7
居		100.0	17.5	33. 3	12.5	3. 3	0.8	15.8	1.7	9. 2	5.8
住	10~19年	369	84	103	50	28	3	38	1	34	28
年	·	100.0	22.8	27. 9	13.6	7.6	0.8	10.3	0.3	9. 2	7.6
数	20年以上	1881	303	502	293	127	12	189	15	222	218
		100.0	16. 1	26.7	15.6	6.8	0.6	10.0	0.8	11.8	11.6
	現在の場所に住み続けたい	1648	276	459	267	112	13	157	7	169	188
		100.0	16. 7	27. 9	16. 2	6.8	0.8	9. 5	0.4	10.3	11. 4
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	36	64	27	15	1	26	4	30	30
居	かもしれない	100.0	15. 5	27. 5	11.6	6.4	0. 4	11.2	1. 7	12.9	12. 9
	いずれは市外に引っ越すかもし	216	49	52	28	17	0	28	3	25	14
	れない	100.0	22. 7	24. 1	13. 0	7. 9	0.0	13.0	1. 4	11.6	6. 5
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14	4	5	1	1	0.0	2	0	0	1
	7 (1 0 0 10 7 (1 2 3) 7 2 2 0 7 2 1	100. 0	28. 6	35. 7	7. 1	7. 1	0.0	14. 3	0.0	0. 0	7. 1
	わからない	241	40	63	31	13	2	31	3	40	18
		100.0	16.6	26. 1	12. 9	5. 4	0.8	12. 9	1. 2	16. 6	7. 5
		100.0	10.0	20.1	10.0	0. 1	٧. ٥	12.0	1. 2	10.0	0

		調査数	月500円未満	月5000円以上	月1000円 0円 1000 100 100 100 100 100 100 10	5000円 00円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	月5000円以上	全く負担したくない	その他	わからない	無回答
市金	全体	2423	415	654	366	163	16	251	19	272	267
		100.0	17. 1	27.0	15. 1	6. 7	0.7	10.4	0.8	11.2	11.0
	山地部	29	3	5	4	0	0	5	0	6	6
		100.0	10.3	17.2	13.8	0.0	0.0	17. 2	0.0	20.7	20.7
	丘陵部	239	33	66	38	22	3	23	1	28	25
l_		100.0	13.8	27.6	15. 9	9. 2	1. 3	9. 6	0.4	11.7	10.5
居	周辺部 1	442	82	124	72	30	2	47	6	36	43
住		100.0	18. 6	28. 1	16. 3	6.8	0.5	10.6	1.4	8. 1	9. 7
地	中心部	1139	204	316	169	79	8	103	7	133	120
区		100.0	17. 9	27.7	14.8	6. 9	0.7	9. 0	0.6	11.7	10.5
	周辺部 2	490	76	134	73	28	2	62	3	57	55
		100.0	15. 5	27.3	14. 9	5. 7	0.4	12. 7	0.6	11.6	11.2
	わからない	14	4	1	1	0	1	3	0	3	1
		100.0	28. 6	7.1	7. 1	0.0	7. 1	21. 4	0.0	21. 4	7.1

(7) 環境に関する知識や情報の入手先 [問 35]

環境に関する知識や情報の入手先は「テレビ・ラジオ」が 60.8%で最も多く、ついで 「新聞・雑誌」が 54.1%、「広報いばらき」が 48.1%となっている。



図表II-121 環境知識や情報の入手先(複数回答)

年齢別にみると、70歳以上では「広報いばらき」の割合が高いが、20歳代では低く、また、「新聞・雑誌」についても、20歳代~30歳代で、市全体よりも割合が低くなっている。

図表II-122 環境知識や情報の入手先(クロス集計)

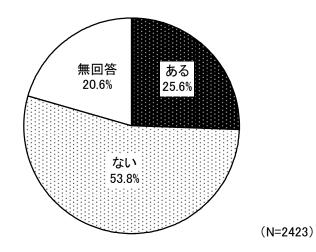
_															
			環	広	講	新	書	テ	~公	ジ民	口個	ど民	そ	ど	
		調	境	報	演	聞	籍	レ	市的	間	グ人	で間	の		無
		查	フ	γ·	会	•		F.	役機	の	やの	のの	他	カュ	口
		数	エ	ば	•	雑		•	所関	機	Sホ	活団		6	答
			ア	6	講	誌		ラ	をの	関	ΝÌ	動体		t	
			等	き	座			ジ	含ホ	の	SA	をや		得	
			の					オ	むし	ホ	をペ	通サ		て	
			1						~ __	1	含丨	じし		٧V	
			ベ						~	A	むジ	てク		な	
			ン						1	~	\sim	ル		V	
			ト						ジ	1	ブ	な			
市	全体	2423	213	1166	90	1312	266	1473	150	106	59	60	25	74	253
		100.0	8.8	48.1	3. 7	54. 1	11.0	60.8	6.2	4.4	2.4	2.5	1.0	3. 1	10.4
Let.	男性	1088	93	502	45	614	132	647	84	66	32	30	19	28	106
性		100.0	8.5	46. 1	4. 1	56. 4	12. 1	59. 5	7. 7	6. 1	2. 9	2.8	1. 7	2.6	9.7
別	女性	1237	112	611	43	648	125	776	61	36	27	27	6	46	129
_	20~29歳	100. 0 312	9. 1 25	49. 4	3. 5	52. 4 126	10. 1 37	62. 7	4. 9 18	2. 9	2. 2	2.2	0. 5	3. 7	10. 4
	20~29成	100.0	8. 0	110 35. 3	17 5. 4	40. 4	11. 9	167 53. 5	5. 8		6.7	8 2. 6	4 1. 3	22 7. 1	27 8. 7
	30~39歳	379	40	145	5. 4 8	164	48	214	25	6. 4 18	17	2. 6	1. 3	21	25
	30~39脉	100.0	10. 6	38. 3	2. 1	43. 3	12. 7	56. 5	6.6	4. 7	4.5	0. 5	0.8	5. 5	25 6. 6
	40~49歳	420	36	162	2. 1	223	56	269	33	23	8	7	7	14	31
年		100.0	8.6	38. 6	1. 9	53. 1	13. 3	64. 0	7. 9	5. 5	1. 9	1.7	1.7	3.3	7. 4
	50~59歳	311	30	153	11.3	190	37	199	13	18	7. 7	6	6	9. 9	25
pa j.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	100.0	9. 6	49. 2	3. 5	61. 1	11. 9	64. 0	4. 2	5. 8	2. 3	1. 9	1. 9	2. 9	8. 0
	60~69歳	430	40	240	23	264	49	274	27	15	4	17	3	5	52
	3 3 3 3 7 7 7	100.0	9. 3	55. 8	5. 3	61.4	11. 4	63. 7	6.3	3. 5	0.9	4. 0	0.7	1. 2	12. 1
	70歳以上	516	37	332	22	324	33	324	32	10	2	18	2	3	79
	1 0 1100	100.0	7. 2	64. 3	4. 3	62. 8	6. 4	62. 8	6. 2	1. 9	0.4	3. 5	0.4	0.6	15. 3
	10年未満	120	13	43	8	43	11	66	6	8	4	2	3	7	7
居		100.0	10.8	35. 8	6.7	35. 8	9. 2	55. 0	5. 0	6. 7	3. 3	1.7	2. 5	5. 8	5. 8
住		369	36	139	7	165	42	216	22	17	12	4	5	17	28
年		100.0	9.8	37.7	1.9	44.7	11.4	58. 5	6.0	4.6	3.3	1. 1	1.4	4.6	7.6
数	20年以上	1881	158	961	74	1085	207	1167	120	79	43	52	17	50	204
		100.0	8. 4	51.1	3.9	57. 7	11.0	62.0	6.4	4.2	2.3	2.8	0.9	2.7	10.8
	現在の場所に住み続けたい	1648	154	867	59	934	164	1015	104	63	33	43	18	34	175
		100.0	9.3	52.6	3.6	56. 7	10.0	61.6	6.3	3.8	2.0	2.6	1. 1	2. 1	10.6
	茨木市内で別の場所に引っ	233	24	96	7	107	31	133	11	14	9	7	1	10	29
	越すかもしれない	100.0	10.3	41.2	3.0	45. 9	13.3	57. 1	4.7	6.0	3. 9	3.0	0.4	4.3	12.4
住		216	13	86	13	110	29	132	17	14	6	5	4	9	14
	もしれない	100.0	6.0	39.8	6.0	50.9	13.4	61.1	7. 9	6.5	2.8	2.3	1.9	4.2	6.5
向	すぐにでも市外に引っ越し	14	2	4	1	5	1	9	0	0	0	1	0	4	1
	たい	100.0	14. 3	28.6	7. 1	35. 7	7. 1	64. 3	0.0	0.0	0.0	7. 1	0.0	28.6	7. 1
	わからない	241	14	81	8	124	34	147	16	10	10	2	2	16	19
		100.0	5.8	33.6	3.3	51.5	14.1	61.0	6.6	4. 1	4.1	0.8	0.8	6.6	7.9

		調査数	環境フェア等のイベント	広報いばらき	講演会・講座	新聞·雑誌	書籍	テレビ・ラジオ	(市役所を含む)公的機関のホームページ	ジーの機関のホームペー	ログやSNSを含む)個人のホームページ(ブ	どでの活動を通じて民間の団体やサークルな	その他	どこからも得ていない	無回答
市	全体	2423	213 8. 8	1166 48. 1	90 3. 7	1312 54. 1	266 11. 0	1473 60. 8	150 6. 2	106	59 2. 4	60 2. 5	25 1. 0	74 3. 1	253 10. 4
\vdash	1 1 Lik \$17	100.0								4. 4					
	山地部	29 100. 0	2 6. 9	16 55. 2	0. 0	15 51. 7	2 6. 9	18 62. 1	0.0	3. 4	0.0	2 6. 9	0.0	0.0	20. 7
	丘陵部	239	16	123	7	130	22	160	11	16	5	10	3	5	19
	11.	100.0	6. 7	51. 5	2. 9	54. 4	9. 2	66. 9	4.6	6. 7	2. 1	4. 2	1.3	2. 1	7. 9
居	周辺部1	442	43	211	14	244	48	269	32	18	11	10	2	16	42
住	7.4.2.4.4	100.0	9. 7	47. 7	3. 2	55. 2	10.9	60. 9	7. 2	4. 1	2. 5	2. 3		3.6	9. 5
地	中心部	1139	98	550	44	632	125	696	71	49	34	17	11	37	113
区		100.0	8.6	48.3	3. 9	55.5	11.0	61.1	6.2	4.3	3.0	1.5	1.0	3.2	9. 9
	周辺部 2	490	48	234	23	262	61	292	33	19	9	18	9	12	52
		100.0	9.8	47.8	4.7	53.5	12.4	59.6	6.7	3. 9	1.8	3.7	1.8	2.4	10.6
	わからない	14	0	5	1	4	2	7	0	1	0	1	0	2	2
		100.0	0.0	35. 7	7. 1	28.6	14. 3	50.0	0.0	7. 1	0.0	7. 1	0.0	14. 3	14.3

(8) 環境に関する学習会に興味があるか [問 36]

環境に関する学習会に興味が「ある」が25.6%、「ない」が53.9%となっている。

図表II-123 環境学習会への興味



図表II-124 環境学習会への興味(クロス集計)

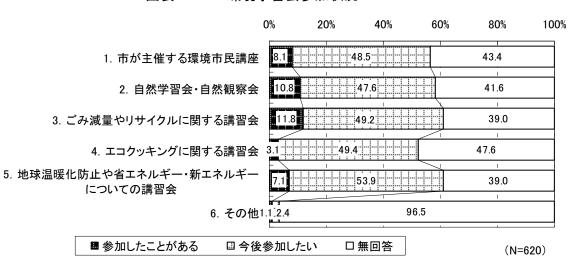
_	致!! 「2」 垛先于日五			-//	
		調査数	ある	ない	無回答
市生	全体	2423	620	1305	498
		100.0	25.6	53. 9	20.6
	男性	1088	286	595	207
性		100.0	26. 3	54.7	19.0
別	女性	1237	314	666	257
		100.0	25. 4	53.8	20.8
	20~29歳	312	68	205	39
		100.0	21.8	65.7	12.5
	30~39歳	379	78	263	38
		100.0	20.6	69.4	10.0
	40~49歳	420	111	255	54
年		100.0	26. 4	60.7	12.9
齢	50~59歳	311	99	162	50
		100.0	31.8	52. 1	16. 1
	60~69歳	430	130	198	102
		100.0	30. 2	46.0	23.7
	70歳以上	516	122	196	198
		100.0	23. 6	38.0	38. 4
	10年未満	120	20	83	17
居		100.0	16. 7	69. 2	14. 2
住	10~19年	369	87	235	47
年		100.0	23. 6	63. 7	12.7
数	20年以上	1881	502	963	416
		100.0	26. 7	51. 2	22. 1
	現在の場所に住み続けたい	1648	438	846	364
		100.0	26. 6	51. 3	22. 1
	茨木市内で別の場所に引っ越す	233	55	133	45
居	かもしれない	100.0	23. 6	57. 1	19. 3
住	いずれは市外に引っ越すかもし	216	61	131	24
	れない	100.0	28. 2	60.6	11.1
向	すぐにでも市外に引っ越したい	14	4	8	2
		100.0	28. 6	57. 1	14. 3
	わからない	241	47	156	38
		100.0	19. 5	64.7	15.8

		調査数	ある	ない	無回答
市生	全体	2423	620	1305	498
		100.0	25.6	53. 9	20.6
	山地部	29	9	7	13
		100.0	31.0	24. 1	44.8
	丘陵部	239	69	115	55
		100.0	28.9	48. 1	23. 0
居	周辺部1	442	118	237	87
住		100.0	26. 7	53.6	19. 7
地	中心部	1139	278	652	209
区		100.0	24. 4	57. 2	18. 3
	周辺部 2	490	132	254	104
		100.0	26. 9	51.8	21. 2
	わからない	14	2	8	4
		100.0	14. 3	57. 1	28. 6

(9) 環境学習会への参加状況について [問 37]

参加したことがある環境学習会で最も割合が高いのは「3. ごみ減量やリサイクルに関する講習会」で、ついで「2. 自然学習会・自然観察会」となっており、身近な環境活動に関連する学習会の割合が高くなっている。

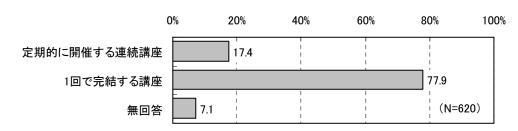
また、今後参加したい環境学習会では、「5. 地球温暖化防止や省エネルギー・新エネルギーについての講習会」(53.9%)で、他の学習会よりもやや割合が高くなっている。



図表Ⅱ-125 環境学習会参加状況

(10) 参加したい環境学習会講座について [問 38]

参加したいと思う環境学習会の形式として、講座の回数は「1回で完結する講座」が 77.9%となっており、「定期的に開催する連続講座」(17.4%)を大幅に上回っている。



図表II-126 講座の回数(複数回答)

図表Ⅱ-127 講座の回数(クロス集計)

		調査数	る連続講座 定期的に開催す	講座 1回で完結する	無回答
市金	全体	620 100. 0	108 17. 4	483 77. 9	44 7. 1
	男性	286	67	200	26
性	74 II.	100.0	23. 4	69. 9	9. 1
別	女性	314	37	269	15
		100.0	11.8	85. 7	4.8
	20~29歳	68	6	59	3
		100.0	8.8	86.8	4.4
	30~39歳	78	10	67	4
		100.0	12.8	85. 9	5. 1
١.	40~49歳	111	15	96	8
年		100.0	13.5	86. 5	7.2
齢	50~59歳	99	18	80	3
		100.0	18. 2	80.8	3. 0
	60~69歳	130	31	94	6
	E o HENT I	100.0	23.8	72. 3	4.6
	70歳以上	122	26	80	17
	10年未満	100.0	21.3	65. 6	13. 9
居	10年木凋		1	18 90. 0	-
住	10~19年	100. 0 87	5.0	90. 0 77	5.0
年	10.2134	100.0	14. 9	88. 5	4.6
数	20年以上	502	92	382	36
200	20千瓜上	100. 0	18.3	76. 1	7. 2
	現在の場所に住み続けたい	438	81	331	34
		100.0	18.5	75. 6	7.8
	茨木市内で別の場所に引っ越す	55	12	47	1
居	かもしれない	100.0	21.8	85. 5	1.8
住	いずれは市外に引っ越すかもし	61	8	52	3
意	れない	100.0	13. 1	85. 2	4. 9
向	すぐにでも市外に引っ越したい	4	1	2	1
		100.0	25.0	50. 0	25. 0
	わからない	47	3	42	2
		100.0	6.4	89. 4	4.3

		調査数	る連続講座定期的に開催す	講座 1回で完結する	無回答
市金	全体	620	108	483	44
		100.0	17.4	77. 9	7. 1
	山地部	9	1	7	1
		100.0	11.1	77.8	11. 1
	丘陵部	69	9	55	5
		100.0	13.0	79. 7	7. 2
居	周辺部 1	118	20	93	8
住		100.0	16.9	78.8	6.8
地区	中心部	278	43	223	18
区		100.0	15.5	80. 2	6. 5
	周辺部 2	132	32	97	8
		100.0	24. 2	73. 5	6. 1
	わからない	2	1	2	0
		100.0	50.0	100.0	0.0

また、開催日・時間帯は「土曜・日曜の昼間」が38.4%で最も多いが、「平日の昼間」も31.8%となっている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 平日の昼間 31.8 13.2 平日の夜間 土曜・日曜の昼間 38.4 土曜・日曜の夜間 6.8 14.0 特に問わない (N=620)6.3 無回答

図表Ⅱ-128 開催日・時間帯(複数回答)

年齢別にみると、60歳代以上では「平日の昼間」、50歳代以下では「土曜・日曜の昼間」の割合が高くなっている。

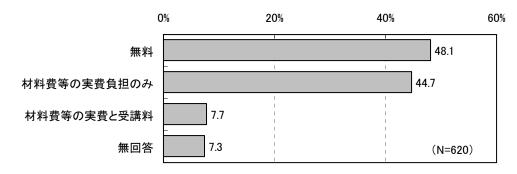
図表II-129 開催日・時間帯(クロス集計)

		調査数	平日の昼間	平日の夜間	の昼間・日曜	の夜間・日曜	特に問わない	無回答
市生	全体	620 100. 0	197 31. 8	82 13. 2	238 38. 4	42 6. 8	87 14. 0	39 6. 3
	男性	286	73	39	116	23	42	22
性	~··-	100.0	25. 5	13. 6	40.6	8. 0	14. 7	7.7
別	女性	314	119	37	118	18	43	14
		100.0	37. 9	11.8	37.6	5. 7	13. 7	4.5
	20~29歳	68	10	18	33	8	8	5
	30~39歳	100. 0 78	14. 7	26. 5	48.5	11.8	11.8	7.4
	30~39成	100. 0	15 19. 2	16. 7	41 52. 6	14. 1	9.0	2.6
	40~49歳	111	23	21	61	14. 1	9.0	6
年	10 10 110	100.0	20. 7	18. 9	55. 0	9. 9	7. 2	5. 4
齢	50~59歳	99	22	13	48	9	14	4
		100.0	22. 2	13. 1	48.5	9. 1	14. 1	4.0
	60~69歳	130	56	11	33	2	30	4
	Ib or I	100.0	43.1	8. 5	25. 4	1.5	23. 1	3. 1
	70歳以上	122	69	4	19	1	18	15
	10年未満	100.0	56. 6	3. 3	15. 6	0.8	14. 8	12. 3
居	10平木個	100. 0	30. 0	20. 0	60. 0	0. 0	0.0	5. 0
住	10~19年	87	18	13	47	13	7	5
年		100. 0	20. 7	14. 9	54. 0		8. 0	5. 7
数	20年以上	502	171	63	176	29	79	30
		100.0	34. 1	12. 5	35. 1	5.8	15. 7	6.0
	現在の場所に住み続けたい	438	155	49	156	27	60	28
	# 1 + +	100.0	35. 4	11. 2	35. 6	6. 2	13. 7	6. 4
居	茨木市内で別の場所に引っ越す かもしれない	55 100. 0	15 27. 3	10 18. 2	31 56. 4	8 14. 5	8 14. 5	2 3. 6
合	いずれは市外に引っ越すかもし	61	14	10. 2	27	14. 5	7	2
	れない	100.0	23. 0	19. 7	44. 3	9.8	11. 5	3. 3
向	すぐにでも市外に引っ越したい	4	1	0	1	0.0	11.0	1
		100.0	25.0	0.0	25. 0	0.0	25. 0	25.0
	わからない	47	8	9	18	1	10	3
		100.0	17.0	19. 1	38. 3	2. 1	21. 3	6.4

		調査数	平日の昼間	平日の夜間	の星間・日曜	の夜間・日曜	特に問わない	無回答
市组	全体	620	197	82	238	42	87	39
		100.0	31.8	13. 2	38. 4	6.8	14.0	6.3
	山地部	9	1	0	3	1	4	1
		100.0	11. 1	0.0	33. 3	11.1	44. 4	11.1
	丘陵部	69	24	10	24	2	10	4
1		100.0	34.8	14. 5	34. 8	2.9	14. 5	5.8
居	周辺部 1	118	36	15	43	10	15	9
住		100.0	30. 5	12.7	36. 4	8.5	12.7	7. 6
地	中心部	278	94	33	110	21	40	14
区		100.0	33.8	11.9	39. 6	7.6	14. 4	5.0
	周辺部 2	132	40	22	55	8	15	7
		100.0	30.3	16.7	41.7	6.1	11.4	5.3
	わからない	2	0	0	0	0	2	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

費用は「無料」が 48.1%で最も多いが、「材料費等の実費負担のみ」とする回答者も 44.7%いる。

図表Ⅱ-130 費用(複数回答)



年齢別にみると、20歳代~30歳代は「無料」の割合が市全体よりも高くなっている。

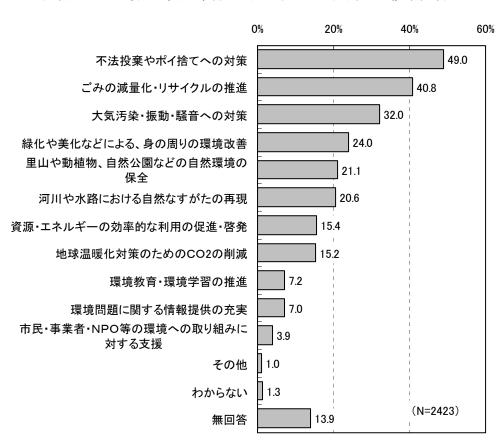
図表Ⅱ-131 費用(クロス集計)

		調査数	料料	実費負担のみ おりゅう	実費と受講料	無回答
市金	全体	620	298	277	48	45
-	男性	100. 0 286	48. 1 134	44. 7 118	7. 7 29	7. 3 25
性	77 II	100. 0	46. 9	41. 3	10. 1	8.7
	女性	314	154	151	18	17
1		100.0	49. 0	48. 1	5. 7	5. 4
	20~29歳	68	45	23	1	5
		100.0	66. 2	33.8	1.5	7.4
	30~39歳	78	47	35	4	2
		100.0	60.3	44. 9	5. 1	2.6
	40~49歳	111	55	62	8	5
年		100.0	49. 5	55.9	7. 2	4. 5
齢	50~59歳	99	40	54	5	5
	2 2 2 2 15	100.0	40. 4	54. 5	5. 1	5. 1
	60~69歳	130	49	60	19	6
	70歳以上	100. 0 122	37. 7 56	46. 2 40	14. 6 10	4. 6 19
	7 0 戚以上	100. 0	45. 9	32. 8	8. 2	15. 6
	10年未満	20	14	32. 6	0. 2	15.0
居	1 0 十八個	100.0	70. 0	20. 0	0.0	10. 0
住	10~19年	87	51	42	6	4
年		100.0	58.6	48. 3	6. 9	4. 6
数	20年以上	502	228	228	41	36
		100.0	45. 4	45. 4	8. 2	7.2
	現在の場所に住み続けたい	438	201	190	40	33
		100.0	45. 9	43. 4	9. 1	7. 5
_	茨木市内で別の場所に引っ越す	55	30	33	3	2
居	かもしれない	100.0	54. 5	60.0	5. 5	3.6
住	いずれは市外に引っ越すかもし	61	30	29	3	3
意向	れない すぐにでも市外に引っ越したい	100.0	49. 2	47. 5	4. 9	4. 9
ĮΗJ	9〜にごもmクトにタ つ越したい 	100.0	-	0.0	25. 0	25. 0
	わからない	47	50. 0 27	21	25. 0	25. 0
	 47/1/2 の / t	100. 0	57. 4	44. 7	0.0	6.4

		調査数	無料	実費負担のみ	実費と受講料	無回答
市生	全体	620	298	277	48	45
		100.0	48. 1	44.7	7.7	7. 3
	山地部	9	5	3	0	1
		100.0	55. 6	33. 3	0.0	11.1
	丘陵部	69	33	32	4	6
		100.0	47.8	46.4	5.8	8. 7
居	周辺部 1	118	58	53	7	11
住		100.0	49. 2	44. 9	5. 9	9.3
地	中心部	278	131	121	26	17
区		100.0	47.1	43.5	9.4	6. 1
	周辺部 2	132	64	64	9	6
		100.0	48. 5	48.5	6.8	4. 5
	わからない	2	2	1	1	0
		100.0	100.0	50.0	50.0	0.0

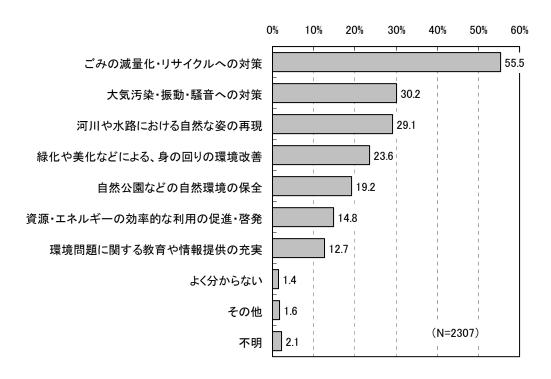
(11) 最も重要な環境づくりに向けての取り組み [問 39]

最も重要だと思う良好な環境づくりに向けての取り組みは「不法投棄やポイ捨てへの対策」が49.0%で最も多く、ついで「ごみの減量化・リサイクルの推進」が40.8%、「大気汚染・振動・騒音への対策」が32.0%となっている。



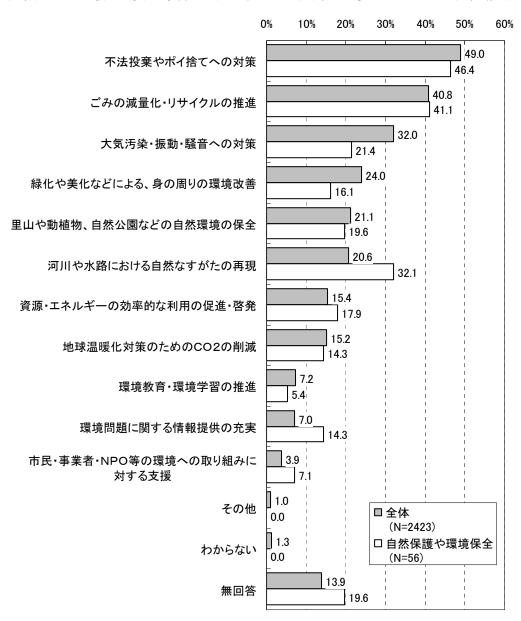
図表II-132 最も重要な環境づくりに向けての取り組み(複数回答)

図表II-133 [参考:前回調査結果]最も重要な「環境問題」に対応するための取り組み(複数回答)



地域で「自然保護や環境保全」に関する活動に参加している回答者の回答をみると、「河川や水路における自然なすがたの再現」や「環境問題に関する情報提供の充実」の割合が、全体よりも高くなっている。

図表II-134 最も重要な環境づくりに向けての取り組み(参加している地域活動別)



居住地区別にみると、山地部で「不法投棄やポイ捨てへの対策」「里山や動植物、自然 公園などの自然環境の保全」の割合が高くなっている。

図表II-135 最も重要な環境づくりに向けての取り組み(クロス集計)

		調査数	ルの推進ごみの減量化・リサイク	の対策大気汚染・振動・騒音へ	対策不法投棄やポイ捨てへの	なすがたの再現河川や水路における自然	などの自然環境の保全里山や動植物、自然公園	身の周りの環境改善緑化や美化などによる、	的な利用の促進・啓発資源・エネルギーの効率	CO2の削減地球温暖化対策のための	供の充実環境問題に関する情報提	進環境教育・環境学習の推	する支援の環境への取り組みに対市民・事業者・NPO等	その他	わからない	無回答
市	全体	2423	989	775	1188	500	512	581	374	368	170	175		25	32	338
-	男性	100. 0 1088	40.8	32. 0 353	49. 0 541	20.6	21. 1 226	24. 0 264	15. 4 185	15. 2 143	7. 0 74	7. 2 87	3. 9 45	1. 0 14	1.3	13. 9 155
性	<i>7</i> 15	100.0	37.9	32. 4	49. 7	24. 1	20.8	24. 3	17. 0	13. 1	6.8	8.0	4. 1	1.3	1. 2	14. 2
別	女性	1237	541	389	603	216	264	302	179	210	88	85	45	11	18	162
		100.0	43.7	31.4	48.7	17.5	21.3	24.4	14.5	17.0	7.1	6.9	3.6	0.9	1.5	13. 1
	20~29歳	312	110	113	143	62	64	79	58	56	24	33	19	7	7	34
年	0 0 0 IB	100.0	35. 3	36. 2	45.8	19.9	20.5	25. 3	18.6	17.9	7.7	10.6	6. 1	2.2	2.2	10.9
	30~39歳	379	145	143	206	61	98	98	64	60	16	29	14	7	4	33
	40~49歳	100.0 420	38. 3 176	37. 7 158	54. 4 208	16. 1 80	25. 9 100	25. 9 102	16. 9 89	15. 8 69	4. 2	7. 7	3. 7	1.8	1.1	8. 7 37
	40-49/10	100.0	41.9	37. 6	49.5	19. 0	23. 8	24. 3	21. 2	16. 4	7.6	8.3	3. 1	0.7	0. 2	8. 8
齢	50~59歳	311	124	94	153	72	61	60	51	43	22	22	16	2	7	44
		100.0	39.9	30.2	49. 2	23. 2	19.6	19.3	16.4	13.8	7. 1	7.1	5. 1	0.6	2.3	14. 1
	60~69歳	430	180	116	206	96	101	111	49	62	37	35	20	3	3	68
	= a lb or l	100.0	41.9	27.0	47. 9	22. 3	23. 5	25.8	11.4	14. 4	8.6	8. 1	4.7	0.7	0.7	15.8
	70歳以上	516	236	130	251	118	76	124	55	69	36	19	11	3	9	107
-	10年未満	100.0 120	45. 7 48	25. 2 47	48. 6 57	22. 9 13	14. 7 28	24. 0 26	10.7	13. 4 21	7.0	3. 7 13	2. 1	0.6	1.7	20. 7
居	1 0 十次间	100.0	40. 0	39. 2	47.5	10.8	23. 3	21. 7	24. 2	17. 5	6.7	10.8	5.8	1.7	0.8	6. 7
住	10~19年	369	158	137	184	72	81	99	74	45	20	30	14	7	1	34
年	•	100.0	42.8	37. 1	49.9	19.5	22.0	26.8	20.1	12.2	5.4	8.1	3.8	1.9	0.3	9. 2
数	20年以上	1881	765	570	927	404	391	450	264	292	139	131	72	16	30	281
-	71-01-71-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7	100.0	40.7	30. 3	49.3	21. 5	20.8	23. 9	14.0	15.5	7.4	7.0	3.8	0.9	1.6	14. 9
	現在の場所に住み続けたい	1648	701	501	817	355	349	395	238	244	108	110	66	12	22	242
	茨木市内で別の場所に引っ	100. 0 233	42. 5 81	30. 4 71	49. 6 119	21. 5	21. 2	24. 0 66	14. 4	14.8	6. 6 16	6. 7 18	4.0	0.7	1.3	14. 7 34
居住意向	越すかもしれない	100.0	34. 8	30. 5	51. 1	18. 0	21. 0	28. 3	18. 5	14. 2	6.9	7. 7	3. 0	1.3	0. 9	14. 6
	いずれは市外に引っ越すか	216	90	85	99	41	43	53	41	41	18	21	10	6	2	18
		100.0	41.7	39. 4	45.8	19.0	19.9	24.5	19.0	19.0	8.3	9. 7	4.6	2.8	0.9	8.3
	すぐにでも市外に引っ越し	14	6	5	8	5	0	1	3	3	2	1	0	1	0	1
	たい	100.0	42.9	35. 7	57. 1	35. 7	0.0	7. 1	21.4	21. 4	14. 3	7. 1	0.0	7. 1	0.0	7. 1
	わからない	241	84	86	115	41	54	57	39	36	20	23	9	3	6	26
		100.0	34. 9	35. 7	47.7	17.0	22.4	23.7	16. 2	14. 9	8. 3	9.5	3. 7	1. 2	2.5	10.8

		調査数	クルの推進ごみの減量化・リサイ	への対策大気汚染・振動・騒音	の対策不法投棄やポイ捨てへ	然なすがたの再現河川や水路における自	全屋などの自然環境の保里山や動植物、自然公	善る、身の周りの環境改緑化や美化などによ	発率的な利用の促進・啓資源・エネルギーの効	のCO2の削減地球温暖化対策のため	提供の充実環境問題に関する情報	推進環境教育・環境学習の	に対する支援等の環境への取り組み市民・事業者・NPO	その他	わからない	無回答
市	全体	2423	989	775	1188			581	374	368	170	175		25	32	338
-	. I . I II . +ra	100.0	40.8	32. 0	49.0			24. 0		15. 2	7.0	7.2	3. 9	1.0	1. 3	13. 9
	山地部	29	10	2	19	7		6		2	1	1	1	0	0	7
	or this day	100.0	34. 5	6. 9	65. 5			20. 7		6. 9	3. 4	3. 4		0.0	0.0	24. 1
	丘陵部	239	81	74	115	48	60	56		41	24	18		2	1	33
1_		100.0	33. 9	31.0	48. 1	20.1	25. 1	23. 4		17. 2	10.0	7. 5		0.8	0.4	13.8
居	周辺部 1	442	179	156	198	94	106	104		73	22	31	21	3	4	60
住		100.0	40.5	35. 3	44.8	21.3		23. 5		16. 5	5.0	7.0		0.7	0.9	13.6
地	中心部	1139	509	366	567	209	235	273	182	172	88	88	36	12	15	147
区		100.0	44.7	32. 1	49.8	18.3	20.6	24.0	16.0	15. 1	7. 7	7.7	3. 2	1.1	1.3	12.9
	周辺部 2	490	180	148	253	125	86	132	65	68	30	34	19	7	10	70
		100.0	36. 7	30.2	51.6	25.5	17.6	26. 9	13. 3	13. 9	6. 1	6.9	3. 9	1.4	2.0	14.3
	わからない	14	8	7	7	1	0	1	2	2	0	1	1	0	0	3
		100.0	57. 1	50.0	50.0	7. 1	0.0	7. 1	14. 3	14. 3	0.0	7. 1	7. 1	0.0	0.0	21.4

【参考資料】アンケート調査票

茨木市のまちづくりに関するアンケート

《ご協力のお願い》

平素から、皆さまには市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。 さて、本市では、まちづくりの基本指針である「第4次茨木市総合計画」に基づいて、皆さまのご協力のもと施策を推進しておりますが、本計画が平成 27 年度に目標年次を迎えるため、これに続く「(仮称)第5次茨木市総合計画」の策定に向けた取り組みを進めているところです。

策定にあたりましては、市民の皆さまが日頃まちづくりについて考えておられることや、まちづくりに対する率直なご意見などをお伺いし、基礎資料として役立てていきたいと考えております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 1 月

茨 木 市

【アンケートの取扱について】

- 1. このアンケートは、20 歳以上の市民の皆さんの中から無作為に選ばれた 5,000 人の方を対象に、調査票をお送りしています。
- 2. 無記名でお答えいただき、すべてのお答えをコンピュータで統計的に処理 したうえで取りまとめますので、各個人のお答えの内容が明らかになるこ とはありません。
- 3. このアンケートの結果を、上記の目的である基礎資料以外に使用すること はありません。

【ご記入にあたって】

このアンケートには、<u>封筒のあて名のご本人</u>がお答えください。

【返送について】

お答えいただいた調査票は、<u>2月12日(火)までに</u>、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

■アンケートに関する問い合わせ先

茨木市 企画財政部 政策企画課

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号(茨木市役所 南館3階) 電話:072-620-1605 FAX:072-623-3025

Eメール: soukei@city.ibaraki.lg.ip

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別・年齢について、あてはまるものにそれぞれ1つだけ〇をつけてください。

【性別】

【年齢】

- 1. 男
- 1. 20~29歳 2. 30~39歳 3. 40~49歳

- 2. 女
- 4. 50~59歳 5. 60~69歳 6. 70歳以上

問2 あなたの家族構成について、あてはまるものに<u>1つだけ</u>0をつけてください。

- 1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ
- 3. 二世代世帯 (親と子)
- 4. 三世代世帯(親と子と孫)
- 5. その他

問3 下記のようなご家族と同居していますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- 就学前(0~6歳)の家族
 小学生の家族

- 中学生の家族
- 4. 65 歳以上の家族(あなた自身を含めて)

問4あなたがお住まいの住宅の種類について、あてはまるものに1つだけ〇をつけてください。

- 持ち家(一戸建て)
- 2. 持ち家(集合住宅) 3. 賃貸(一戸建て)

- 賃貸(集合住宅)
- 5. 社宅・寮
- 6. その他

問5 あなたの職業 (兼業の場合は主なほう) について、あてはまるものに1つだけ〇 をつけてください。

- 1. 給与所得者(会社員、公務員、団体職員等) 2. 自営業、農林漁業
- 3. アルバイト、パート、派遣社員
- 4. 学生

5. 専業主婦(専業主夫)

6. 無職

7. その他

問6 あなたはどの小学校区にお住まいですか。あてはまるものに1つだけ〇をつけて ください。

- 1. 茨木小学校 2. 春日小学校 3. 春日丘小学校 4. 三島小学校

- 5. 中条小学校 6. 玉櫛小学校 7. 安威小学校 8. 玉島小学校

- 9. 福井小学校 10. 清溪小学校
- 11. 忍頂寺小学校 12. 大池小学校

- 13. 豊川小学校 14. 中津小学校
- 15. 東小学校 16. 水尾小学校
- 17. 郡山小学校
 18. 太田小学校
- 19. 天王小学校
- 20. 葦原小学校

- 21. 郡小学校
- 22. 庄栄小学校
- 23. 沢池小学校
- 24. 畑田小学校

- 25. 山手台小学校 26. 耳原小学校
- 27. 穂積小学校
- 28. 白川小学校

- 29. 東奈良小学校 30. 西小学校
- 31. 西河原小学校 32. 彩都西小学校

- 33. わからない(町名をご記入ください:
- ⊞T
- 丁目

2	今後0	つ合か	计音点	につ	۱.۱	7
~ .	フロタリ	ᇧᇊ	ᆂᄴᄓ		v	

問7	あなたは茨木市に通算して何年お住まいですか。	あてはまるものに <u>1つだけ</u> 0を
	つけてください。	

- 1. 1年未満
- 2. 1~4年
- 3. 5~9年

- 4. 10~19年
- 5. 20年以上

問8 今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思われますか。あてはまるものに1 つだけ0をつけてください。

現在の場所に住み続けたい

→問9にお答えください

- 茨木市内で別の場所に引っ越すかもしれない
- 3. いずれは市外に引っ越すかもしれない
- →問 10 にお答えください
- 4. すぐにでも市外に引っ越したい
- わからない

→<u>次ページの問 11</u> にお進みください

問9 (問8で「1、現在の場所に住み続けたい」とお答えになった方にお聞きします。) 茨木市内に住み続けたい理由について、最もあてはまるものに3つまで〇をつけてください。

- 1. 自然環境が良い
- 2. 住環境が良い
- 交通の便が良い
- 4. 子育て環境が良い 5. 教育環境が良い
- 福祉環境が良い 6. (高齢者・障害者福祉など)

- 7. 商売や仕事の都合か良い 8. 日常生活に必要な施設、ものがそろい便利
- 9. 住み慣れている
- 10. まちのイメージが良い 11. 親や親戚がいるから

- 12. 人間関係が良い
- 13. 今後もまちが繁栄・発展すると思うから
- 14. その他(具体的に:
-)
- 問 10 (問8で「2. 茨木市内の別の場所に引っ越すかもしれない」、「3. いずれは市外に引 っ越すかもしれない」、「4. すぐにでも市外に引っ越したい」とお答えになった 方にお聞きします。)

その理由について、最もあてはまるものに3つまでOをつけてください。

- 自然環境が良くない
 住宅が狭い
- 3. 住宅の価格・家賃が高い

- 交通の便が良くない
 子育て環境が良くない
 教育環境が良くない

- 7. 福祉環境が良くない

- (高齢者・障害者福祉など) 8. 商売や仕事の都合が良くない
- 11. まちのイメージが良くない 12. 親や親戚と暮らすため・近くに住むため

9. 日常生活に必要な施設、ものが不足しており不便 10. まちになじめない

- 13. 人間関係が良くない 14. 今後、まちが繁栄・発展すると思えないから
- 15. その他(具体的に:

)

3. 茨木市の現状への満足度と今後の充実への期待度について

問 11 茨木市が推進する各分野の施策について、現状への満足度と、今後の充実への 期待度をお聞きします。満足度と期待度をそれぞれ5段階(2,1,0,-1, -2)で評価し、あてはまるものに1つだけ〇をつけてください。

頂目	
地域における助け合いの仕組づくり 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 2 高齢者への福祉サービスや生きがいづくり 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 3 介護サービスの充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 4 障害者への福祉サービスや社会参加促進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 5 生活困窮者への支援 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 6 子育て環境の整備 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 7 国民健康保険の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 1 くらしやすらか「安心実感都市」の実現 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 11 下列で表し実感都市」の実現	いない 全く期待して
1 地域における助け合いの仕組づくり 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 2 高齢者への福祉サービスや生きがいづくり 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 3 介護サービスの充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 4 障害者への福祉サービスや社会参加促進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 5 生活困窮者への支援 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 5 生活困窮者への支援 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 6 子育て環境の整備 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 7 国民健康保険の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 別女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 1	-2
2 高齢者への福祉サービスや生きがいづくり 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 3 介護サービスの充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 4 障害者への福祉サービスや社会参加促進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 5 生活困窮者への支援 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 5 生活困窮者への支援 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 6 子育て環境の整備 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 7 国民健康保険の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 別女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 1	
3 介護サービスの充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 4 障害者への福祉サービスや社会参加促進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 5 生活困窮者への支援 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 6 子育て環境の整備 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 7 国民健康保険の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 -1 であります でもの	-2
4 障害者への福祉サービスや社会参加促進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 5 生活困窮者への支援 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 6 子育て環境の整備 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 7 国民健康保険の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 1	-2
5 生活困窮者への支援 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 6 子育で環境の整備 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 7 国民健康保険の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
6 子育て環境の整備 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 7 国民健康保険の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
7 国民健康保険の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
8 国民年金制度の普及啓発 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 くらしやすらか「安心実感都市」の実現 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
9 雇用の安定や労働環境の改善 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 くらしやすらか「安心実感都市」の実現 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
10 健康づくりや医療の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 くらしやすらか「安心実感都市」の実現 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
11 平和社会への取組と人権の尊重 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 くらしやすらか「安心実感都市」の実現 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
12 男女共同参画社会の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1 くらしやすらか「安心実感都市」の実現 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
くらしやすらか「安心実感都市」の実現 13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
13 防災体制の充実 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
14 災害発生時の被害を小さくするための取組 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
	-2
15 治山・治水の推進 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
16 消防・救急体制の充実 2 1 O -1 -2 2 1 O -1	-2
17 防犯対策の推進 2 1 O -1 -2 2 1 O -1	-2
18 交通安全対策の推進 2 1 O -1 -2 2 1 O -1	-2
19 消費生活への安心の向上 2 1 0 -1 -2 2 1 0 -1	-2
20 上下水道整備の充実 2 1 O -1 -2 2 1 O -1	-2

			現状/	へ の清	記度		今後の充実への期待度					
	項目	大変満足	いえば満足	普通	いえば不満	大変不満	大いに期待する	いえば期待する	どちらでもない	いないあまり期待して	全く期待して	
未系	とはぐくむ「環境実践都市」の実現											
21	環境保全の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
22	資源の循環利用の促進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
23	うるおいのある緑と水辺の形成	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
24	魅力的な景観の保全と創出	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
活力	力あふれる「生活躍動都市」の実現											
25	商工業の振興	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
26	観光の振興	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
27	農林業の振興	2	1	Ο	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
28	計画的な都市づくりの推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
29	彩都のまちづくりの推進	2	1	Ο	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
30	道路・交通体系の整備	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
31	魅力ある住環境の整備・保全	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
32	都市の美化と環境衛生の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
個性	生かがやく「文化創造都市」の実現											
33	生涯学習の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
34	スポーツ・レクリエーション活動の振興	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
35	文化の継承と振興	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
36	学校教育の充実	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
37	幼児教育の充実	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
38	青少年の健全育成	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
39	国際交流活動	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
40	地域におけるコミュニティ活動の促進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
構想	見の実現に向けて		•		•							
41	市政に関する情報提供・意見収集の取組	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	
42	市民活動(ボランティア・NPO活動)の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2	

4. 市政における役割分担と市民参画について

- 問 12 まちづくりにおける今後の市民と行政の役割分担のあり方についてお聞きします。あなたの考えに最も近いと思われるものに1つだけ〇をつけてください。
 - 1. 市民の要望に応えるために、行政がさらに多くの役割を担うべきである
 - 2. 地域での課題は、市民が主体的に解決を図るなどにより、行政の役割を減らす
 - 3. 役割分担は、今のままでよい
 - 4. よくわからない
 - 5. その他(具体的に:
- 問 13 市政への市民の関わり方についてお聞きします。あなたの考えに最も近いと思 われるものに<u>1つだけ</u>○をつけてください。
 - 市政の大きな方向性の検討から具体的な事業の検討まで、全てに市民が参画できる

)

)

- 1. ことが望ましい
- 2. 市政の大きな方向性は行政が有識者の協力を得て検討し、具体的な事業の検討には 関係する市民が参画することが望ましい
- 3. 市政の大きな方向性の検討から具体的な事業の検討まで全て行政が行い、決定するまでに市民が意見を述べる機会を設けることが望ましい
- 4. よくわからない
- 5. その他 (具体的に:
- 問 14 市民が市政に参加するためには、今後どのような取り組みを充実・拡大することが望ましいと思われますか。あてはまるものに2つまで〇をつけてください。
 - 1. 自治会などの地域の意見を集約する団体と、市との意見交換を進める
 - 2. 公募による会議への参画など、市民が直接市政に関わる機会を増やす
 - 3. 市民がもっと市政に関する情報を得られるよう、広報の方法を工夫する
 - 4. 市民がもっと市政に関する意見を述べられるような仕組を充実する
 - 5. 市民意識調査をもっときめ細かく実施する
 - 6. よくわからない
 - 7. その他(具体的に:)

5. 市政に関する情報の入手方法について

_		KICKI J OIH HV	<i>)</i> / \ .	1/3/AIC 2				
問		あなたは、市政に関 こ <u>3つまで</u> ○をつけ			知る	ことが	多い)ですか。あてはまるもの
	1.	広報いばらき(毎月	1日	発行)	2.	市のバ	パノニ]ン用ホームページ
	3.	市のスマートフォン ムページ	・携	帯電話用ホー	4.	市の公	:式F	acebook · Twitter
	5.	新聞、テレビなどの	マス	コミ報道	6.	市が主	催す	る学習会・講演会
	7.	自治会からの回覧板			8.	市が作	成り	「るパンフレットやチラシ
	9.	行政資料の閲覧(情報	報ルー	ム・図書館等)	10.	知人か	50	
	11.	その他(具体的に:)				
問		あなたは、市政に関 ますか。あてはまる					_	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		広報いばらき(毎月						1ン用ホームページ
	3.	市のスマートフォン ムページ	・携	帯電話用ホー	4.	市の公	:式F	acebook • Twitter
	5.	新聞、テレビなどの	マス:	コミ報道	6.	市が主	催す	る学習会・講演会
	7.	自治会からの回覧板			8.	市が作	成豆	「るパンフレットやチラシ
	9.	行政資料の閲覧(情報	報ルー	ム・図書館等)	10.	知人か	50	
	11.	その他(具体的に:)				
6	· *	なたの地域活動な	\ ⊘ =	全カッドション ニュ	21. 12	7		
		なたの地域活動/ あなたは、地域でも					しし	ますか。あてはまるもの
		<u>すべてに</u> 0をつけて						
	1.	趣味・教養	2.	スポーツ			3.	自然保護や環境保全
	4.	文化財などの保護	5.	地域の防犯や	防災		6.	地域の美化
	7.	子育て支援	8.	福祉活動 (高齢者・障害:	者等の	支援)	9.	青少年健全育成
	10.	祭り・イベント	11.)
	12.	何もしていない	→ <u>F</u>	<u>問 19</u> にもお答	えく	ださい		
問		あなたは、地域でど こOをつけてくださ		うな団体に所	属し	ていま	すカ)。あてはまるもの <u>すべて</u>
		自治会(町内会)		老人クラブ			3.	婦人会
	4.	PTA	5.	ボランティア	'団体		6.	NPO 等の市民活動団体
	7.	趣味のサークル	8.	自主防災会				
	9.	その他(具体的に:)		

10. 所属していない → <u>問20</u>にもお答えください

問 19 (問 17 で「12. 何もしていない」とお答えになった方にお聞きします。) その理由は何ですか。あてはまるものに<u>2つまで</u>Oをつけてください。

時間的な余裕がない
 が立つで行われていない
 参加したいものがない
 体力的に難しい
 地域での活動に関心がない

)

7. 自分にとってメリットがない 8. その他(具体的に:

9. 特に理由はない

問 20 (問 18 で「10. 所属していない」とお答えになった方にお聞きします。) その理由は何ですか。あてはまるものに2つまでOをつけてください。

時間的な余裕がない
 可体を知らない
 所属したい団体がない
 人間関係が煩わしい
 団体に所属する必要性を感じない

7. その他(具体的に:) 8. 特に理由はない

7. 主要な政策分野ごとの取り組みについて

- (1) 防災に関する取り組み
- 問21 市が行う防災に関する取り組みについて、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに3つまでOをつけてください。
 - 1. 道路の整備による避難経路の確保や消防困難地区の解消
 - 2. 建物の耐震化工事や耐震診断の促進
 - 3. 下水道(雨水)や河川等の整備による浸水被害対策
 - 4. がけ崩れなどの危険箇所の把握・整備
 - 5. 災害発生時の情報伝達手段の整備
 - 6. 災害に備えた物資の備蓄
 - 7. 公共施設の整備による避難場所の充実
 - 8. 様々な災害を想定した防災訓練や講習会の開催
 - 9. 小・中学校や幼稚園・保育所における防災教育の実施
 - 10. 避難場所の周知や、家庭における災害への備えなど、市民の意識高揚
 - 11. 自主防災組織への支援
 - 12. その他(具体的に:)
 - 13. よくわからない

(2) 高齢者福祉に関する取り組み

問 22 高齢者福祉に関する取り組みとして、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに3つまで〇をつけてください。

- 1. 高齢者が入居する福祉施設の整備・充実(例:特別養護者人ホームなど)
- 介護が必要になっても、自宅で円滑に生活できるような高齢者サービスの充実
- (例:家事や介護の援助をするホームヘルパーの派遣、施設での一時的な受入など)
- 3. 高齢者の生活にふさわしい安全・安心な住まいの確保
- 4. 高齢者の生きがいづくりの推進(例:就労機会の拡大、交流の場の提供など)
- 5. 福祉にたずさわる地域ボランティアの育成
- 6. 地域でお互いに助け合う意識の啓発・体制づくり
- 7. 寝たきりにならないための健康づくり事業の充実
- 8. 病院など、高齢者向け保健・医療施設の整備・充実
- 9. 各種保険制度の整備・充実
- 10. 高齢者に配慮したまちづくり(例:歩道の段差解消、エレベーターの設置など)
- 11. その他(具体的に:)
- 12. よくわからない

(3) 子育て支援に関する取り組み

問 23 子育て支援のための取り組みとして、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに3つまで〇をつけてください。

- 1. 一時保育や延長保育などを含む多様な保育サービスの充実
- 2. 子育てに関する相談・情報提供窓口の充実
- 3. 家庭における男性の子育てへの参加の促進
- 4. 身近な地域内で子育てを支援する体制の整備
- (例:育児グループ、ファミリーサポートの支援充実など)
- 5. 仕事と子育てが両立できる就労環境づくりの啓発・支援(例:企業の啓発など)
- 6. 特色ある学校園教育の推進
- 7. 育児に要する経済的負担への支援策の充実(例:乳幼児医療費の補助など)
- 8. 子育て家庭に配慮したまちづくり(例:住宅・公園等の整備・充実など)
- 9. 虐待防止など、地域で子どもの権利・安全を守る施策や体制の充実
- 10. その他(具体的に:)
- 11. よくわからない

(4) 産業振興に関する取り組み

問 24 市が行う産業振興に関する取り組みについて、あなたが最も重要だと思われる ものはどれですか。あてはまるものに3つまでOをつけてください。

- 1. 地域に密着した商店街の活性化
- 2. 中心市街地の活性化によるまちのにぎわい創出
- 3. 大規模なスーパーや商業施設などの立地促進
- 4. 企業の立地促進
- 5. 新しい事業に挑戦する起業家やベンチャー企業への支援
- 6. 農地の保全や担い手の確保、地産地消の推進など農林業の振興
- 7. 市内で働くことができる場(雇用)の創出
- 8. 住宅と工場の混在の弊害解消など、土地利用に配慮した産業集積の推進
- 9. その他(具体的に:
- 10. よくわからない

(5) 文化・芸術に関する取り組み

問 25 市が行う文化・芸術に関する取り組みについて、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに3つまでOをつけてください。

)

)

- 1. 優れた文化・芸術に触れる機会の充実
- 2. 市民の自主的な文化・芸術活動への支援
- 3. 文化・芸術に関する情報発信
- 4. 文化・芸術施設の充実
- 5. 子どもたちが文化・芸術に触れる機会の充実
- 6. 若手芸術家の育成
- 7. 新たな文化・芸術の創造
- 8. 歴史的建造物、まちなみの保全
- 9. 歴史・文化資源を活かした観光振興
- 10. 友好・姉妹都市との文化交流の促進
- 11. その他(具体的に:

12. よくわからない

- (6) 大学連携に関する取り組み
- 問 26 大学連携に関する取り組みについて、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに2つまでOをつけてください。
 - 1. 大学教員による市民向け講座の開講
 - 2. 大学の正規授業の聴講
 - 3. 学生のまちづくり活動への参画
 - 4. 大学施設の市民への開放
 - 5. 学生等が居住・通学することによるまちのにぎわい創出
 - 6. 共同研究やアドバイザーなど、市内の事業者と大学との交流
 - 7. その他(具体的に:
 - 8. 特に期待することはない

8. 茨木市のプロジェクトについて

茨木市では現在、以下に挙げる大きなプロジェクトが進行、または検討段階にあります。これらのプロジェクトについて、あなたが期待することをお聞かせください。

)

)

- (1) 市中心部の整備
- 問 27 市中心部の整備について、あなたが期待することは何ですか。あてはまるものに2つまでOをつけてください。
 - 1. JR茨木駅・阪急茨木市駅両駅前の再整備による市の玄関口としての魅力向上
 - 2. 商店街の活性化によるまちのにぎわい創出
 - 3. 人が集まる地域であることを活かした文化・交流拠点の整備・充実
 - 4. 古くからの歴史・文化を活かしたまちの魅力づくり
 - 5. 交通結節点としてより利便性を高めるためのバリアフリー化や交通環境の改善
 - 6. その他(具体的に:
 - 7. 特に期待することはない

- (2) JR 新駅(摂津富田駅・茨木駅間、庄一丁目) 開業(平成30年春開業予定)
- 問 28 JR 新駅の整備にあたって、あなたが期待することは何ですか。あてはまるものに2つまでOをつけてください。
 - 1. 鉄道の利便性の向上
 - 2. 路線パス等の利便性の向上
 - 3. 新駅周辺施設(駅前広場等)の整備
 - 4. 自家用車の利用の減少
 - 5. 新駅周辺地区でのにぎわい形成
 - 6. その他(具体的に:
 - 7. 特に期待することはない
- (3) 北部地域でのまちづくり

北部地域では現在、3つのプロジェクト「彩都(国際文化公園都市)、安威川ダム、新 名神高速道路」が進められています。

)

)

- 問 29 これらのプロジェクトを含め、あなたが北部地域の整備に期待することは何で すか。あてはまるものに3つまでOをつけてください。
 - 1. 「働く、住む、学ぶ、憩う」機能を持つ複合機能都市の形成
 - 2. 企業や研究機関等の進出による先端産業・施設用地の整備
 - 3. ダム整備による防災機能の向上
 - 4. ダム湖周辺を活用した観光レクリエーション拠点の形成
 - 5. 交通利便性の向上(新名神高速道路、モノレール等)
 - 6. 新名神高速道路の整備による渋滞緩和・災害時の代替道路
 - 7. 上記プロジェクトを活かした周辺地域の活性化
 - 8. 緑豊かな自然環境・歴史環境の維持、保全
 - 9. その他 (具体的に:

10. 特に期待することはない

9. 環境に関する取り組みについて

本市では、環境基本計画の策定に向けた取り組みも進めています。以下は、環境基本計画に関する設問です。

問 30 「環境」という言葉から、あなたがイメージするものは何ですか。あてはまる ものすべてにOをつけてください。

- 1. エネルギー資源の枯渇、再生可能エネルギーの普及など、エネルギーに関すること
- 2. 地球温暖化による気象の異変やヒートアイランド現象など、地球環境に関すること
- 3. ごみの処理やリサイクルの推進など、廃棄物に関すること
- 4. 大気汚染・騒音・振動・悪臭など、公害に関すること
- 5. 里山保全や緑化、野鳥や昆虫など、自然環境に関すること
- 6. 日照障害・電波障害・風害(ビル風)など、都市化に伴う生活環境に関すること
- 7. 都市の緑化や景観の保全など、環境の快適さや美しさに関すること
- 8. その他(具体的に:

問 31 あなたは、住まいの周辺の環境について、どの程度満足していますか。満足度を5段階 (2,1,0,-1,-2)で評価し、あてはまるものに1つだけ〇をつけてください。

	(2, 1, 0, -1, -2) (評価は めにはまる)	בונטם	1 2/01	しをフ	ノしくん	-C116
		大変満足	満足 といえらか	普通	不満 と お え ば	大変不満
([答例)空気のきれいさ	2	1	0	-1	-2
1	空気のきれいさ	2	1	0	-1	-2
2	まちの静かさ	2	1	0	-1	-2
3	まちの清潔さ・きれいさ	2	1	Ο	-1	-2
4	河川・水路などの水のきれいさ	2	1	0	-1	-2
5	街路樹、生け垣、公園緑地などの緑の豊かさ	2	1	Ο	-1	-2
6	水や水辺との親しみやすさ	2	1	0	-1	-2
7	農地や土との親しみやすさ	2	1	0	-1	-2
8	野鳥、昆虫、魚などの生き物との親しみやすさ	2	1	0	-1	-2
9	公共の広場、公園	2	1	Ο	-1	-2
10	自然の眺めやまち並みの美しさ	2	1	0	-1	-2

問 32 「茨木の自然」という言葉から、あなたがイメージするものは何ですか。あてはまるもの<u>すべてに</u>〇をつけてください。

- 1. 西河原公園、耳原公園、あさぎ里山公園、若園バラ公園… などの公園
- 2. 安威川、高瀬川親水水路、十丁畷水路… などの水辺
- 3. オオサンショウウオ、ゲンジボタル、ヒメボタル… などの生物
- 4. キツネノカミソリ… などの植物

5. 元茨木川緑地

6. 青少年野外活動センター 7. 里山の森林

8. 棚田などの田園風景

)

)

9. 竜王山などの北摂山系

10. その他(具体的に:

問33あなたは、環境負荷の低減や省エネルギーのための行動に関心がありますか。また、行 動に取り組んでいますか。それぞれあてはまるものに1つだけ〇をつけてください。

				関心					組み		
	項目	とても関心がある	関心がある	えち	あまり関心がない	全く関心がない	すでにやっている	やってみたい これから	わからない	できないが	やりたくない
([回答例)ごみの減量	2	1	0	-1	-2	(1	0	-1	-2
1	ごみの減量	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
2	ごみの分別の徹底	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
3	リサイクルショップやフリーマーケットの活用	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
4	公共交通機関や自転車での移動	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
5	エコカーの購入	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
6	エアコンの温度調整(夏28℃、冬20℃)	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
7	太陽光発電など自然エネルギーの利用	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
8	こまから節形団の省エネ家電の購入を除く)	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
9	省エネ家電の購入	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
10	こまめな節水行動	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
11	環境家計簿の活用	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2

問34 環境活動に取り組むために、あなたはどの程度なら家計の負担が増えてもよい と考えますか。あなたのお考えに近いものに1つだけ〇をつけてください。

(※省エネ家電や太陽光発電機器等の導入などにより、家計の負担が増える場合と、節電などエ ネルギーの節約や節水等により、家計の負担が減る場合が考えられます。)

4	F 11		500	Ш	丰湛	
- 1	100	Н	SUL		不/画	

2. 月500円以上1,000円未満

3. 月1,000円以上2,000円未満 4. 月2,000円以上5,000円未満

5. 月5,000円以上

6. 全く負担したくない

7. その他(具体的に:

) 8. わからない

問35 あなたは、環境に関する知識や情報を何から得ることが多いですか。あてはま るものに3つまで0をつけてください。

1. 環境フェア等のイベント

2. 広報いばらき

3. 講演会・講座

4. 新聞・雑誌

5. 書籍

6. テレビ・ラジオ

7. 公的機関のホームページ(市役所を含む) 8. 民間の機関のホームページ

個人のホームページ

(ブログや SNS を含む)

10. 民間の団体やサークルなどでの 活動を通じて

11. その他(具体的に:

) 12. どこからも得ていない

89	26 :	ななたけ 理接に関する学習会に興味がなりますか なてけまる	±の!-	1つだ							
미	問 36 あなたは、環境に関する学習会に興味がありますか。あてはまるものに <u>1 つだ</u> <u>け</u> ○をつけてください。										
	1.	ある → <u>間37</u> にお進みください 2. ない → <u>間39</u> にお	進みくた	ごさい							
問											
			参加した	参加したい							
	(0	0	0								
	1	(回答例) 市が主催する環境市民講座 1 市が主催する環境市民講座									
	2										
	3										
	4										
	5	地球温暖化防止や省エネルギー・新エネルギーについての講習会									
	6										
問 38 あなたは、どのような形式の学習会であれば参加したいと思いますか。それぞれあてはまるもの <u>すべてに</u> 〇をつけてください。 (1)講座の回数											
	1.										
	(2) 開催日・時間帯										
	1.	平日の昼間 2. 平日の夜間 3. 土曜・日曜の	昼間								
		土曜・日曜の夜間 5. 特に問わない									
	(3)費用										
		無料 2. 材料費等の実費負担のみ									
	3.	材料費等の実費と受講料									
問39 良好な環境づくりに向けて、あなたが最も重要だと思われる取り組みはどれですか。あてはまるものに3つまでOをつけてください。											
	1.	ごみの減量化・リサイクルの推進 2. 大気汚染・振動・	騒音への	の対策							
	3.	. 不法投棄やポイ捨てへの対策									
	4.	河川や水路における自然なすがたの再現									
	5.	里山や動植物、自然公園などの自然環境の保全									
	6.	緑化や美化などによる、身の周りの環境改善									
	7.	資源・エネルギーの効率的な利用の促進・啓発									
	-	資源・エネルギーの効率的な利用の促進・啓発 地球温暖化対策のための CO2 の削減									

) 13. わからない

11. 市民・事業者・NPO 等の環境への取り組みに対する支援

12. その他(具体的に:

10.市政に対するご意見や今後のまちづくりのアイデアについて

問 40 市政に対するご意見や、今後のまちづくりについての具体的なアイデア等がございましたら、ご記入ください。(自由回答)

 	 	 	-

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、無記名で2月12日(火)までにお近くのポストに投函してください。 (切手は不要です)